

那賀 5 町の将来のまちづくりに関する
住民意識調査

報告書

平成 16 年 6 月

那賀5町の将来のまちづくりに関する住民意識調査 報告書

目次

調査の概要	1
1．調査の目的	
2．調査内容	
3．調査方法	
4．回収結果	
5．分析の視点	
6．報告書の見方	
調査結果	3
回答者の属性(問1)	5
生活行動(問2)	7
町の現状に対する評価(問3)	31
行政分野別評価(問4)	58
合併について(問5～10)	63
調査票	78

調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、那賀5町(打田町・粉河町・那賀町・桃山町・貴志川町)の合併に際し、地域住民の生活実態や生活環境に対する評価、合併に対する意識、新市に抱く将来像などを把握することにより、新市建設計画策定のための参考資料とするために行った。

2. 調査内容

回答者の属性 [問1]	(1)居住町	(3)年齢層
	(2)性別	(4)職業
生活行動 [問2]	(1)通勤・通学先	(4)映画・音楽などの娯楽
	(2)日用品の買物	(5)スポーツ・レクリエーション
	(3)耐久消費財の購入	(6)病院や診療所
町の現状に対する評価 [問3]	(1)自然環境の豊かさ	(15)子どもの教育環境
	(2)火災や災害からの安全性	(16)生涯学習活動や芸術・文化活動支援の状況
	(3)犯罪や交通事故からの安全性	(17)生涯学習活動や芸術・文化活動施設整備の状況
	(4)道路の整備状況	(18)スポーツ・レクリエーション活動支援の状況
	(5)交通機関の便利さ	(19)スポーツ・レクリエーション施設整備の状況
	(6)騒音・振動・悪臭等の環境	(20)男女平等意識や女性の社会参画の状況
	(7)ごみの収集・処理の状況	(21)農林業、商工業の振興状況
	(8)下水・排水の処理状況	(22)観光の振興状況
	(9)上水道の整備状況	(23)働きがいのある就業機会の状況
	(10)住宅の整備や開発への取り組み状況	(24)国内外との交流活動
	(11)公園・緑地・広場の整備状況	(25)食品や日常物資の選択の豊かさ
	(12)保健・医療サービスの状況	(26)人情味や地域の連帯感
	(13)福祉サービスの状況	(27)行政情報や催事情報の提供状況
	(14)子育て支援の状況	
行政分野別評価	問4-1 よくやっている行政分野	問4-2 もっとしっかりやって欲しい行政分野
合併について	問5 合併協議に関する周知	
	問6 合併への関心	
	問7 合併への期待	
	問8 合併への不安	
	問9 将来像	
	問10 重点施策	
	問11 自由意見	

3 . 調査方法

調査地域：那賀 5 町(打田町・粉河町・那賀町・桃山町・貴志川町)

調査対象：住民基本台帳に登載されている 18 歳以上の住民

抽出方法：無作為抽出法（コンピュータによる等間隔抽出）

抽出数：14,000

配布・回収方法：郵送法

調査期間：平成 16 年 4 月 23 日(発送)～ 5 月 21 日（回収締切）

4 . 回収結果

発 送 数： 13,899（不着など 101 - 外数）

有効回収数： 6,343

回 収 率： 45.6%（有効回収数 / 発送数）

5 . 分析の視点

各設問の単純集計に加え、居住地・性別・年齢階層・職業のすべての属性に関してクロス集計を行った。

コメントに際しては、主として居住地（町）別および年齢別の分析を行い、必要に応じて性別や職業別に着目して分析を行った。

6 . 報告書の見方

(1) グラフ内の数字は特記のない限り、百分比(%)である。

(2) 集計の百分比(%)は、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出している。このため、百分比の合計値が 100 にならないことがある。

(3) 複数回答の設問の場合は、百分比の合計が 100 を超えることがある。

(4) 選択肢の文言は、図表中では簡略化している場合がある。

(5) 問 11 は別冊にて掲載。

調查結果

はじめに、あなたご自身のことについておたずねします。

問1 あなたご自身のことについて、それぞれの項目ごとにあてはまる番号を選んで1つに印をつけてください。

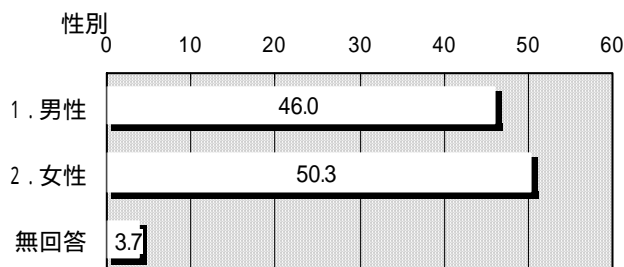
(1)あなたのお住まいは

回収結果による、居住町の割合は、表の上段のとおりである。下段は実際の人口割合であるが、ほぼ一致している。

(単位：%)	打田町	粉河町	那賀町	桃山町	貴志川町
回収結果による割合	19.7	24.1	13.4	11.7	30.4
18歳以上の人口割合 (平成16年1月31日現在)	21.6	23.4	13.0	11.5	30.5

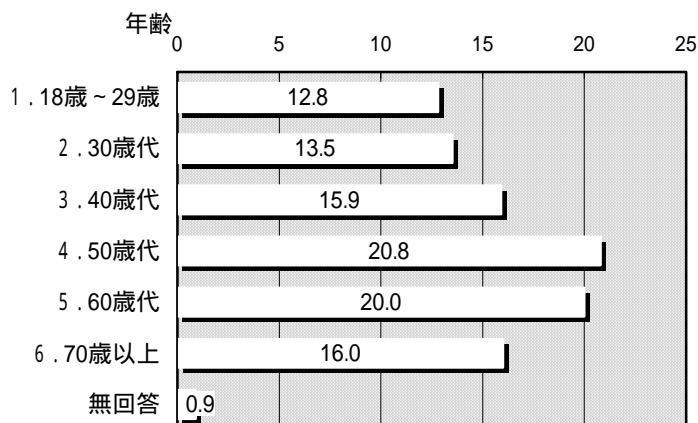
(2)あなたの性別は

女性が50.3%で男性の46.0%よりやや多い。



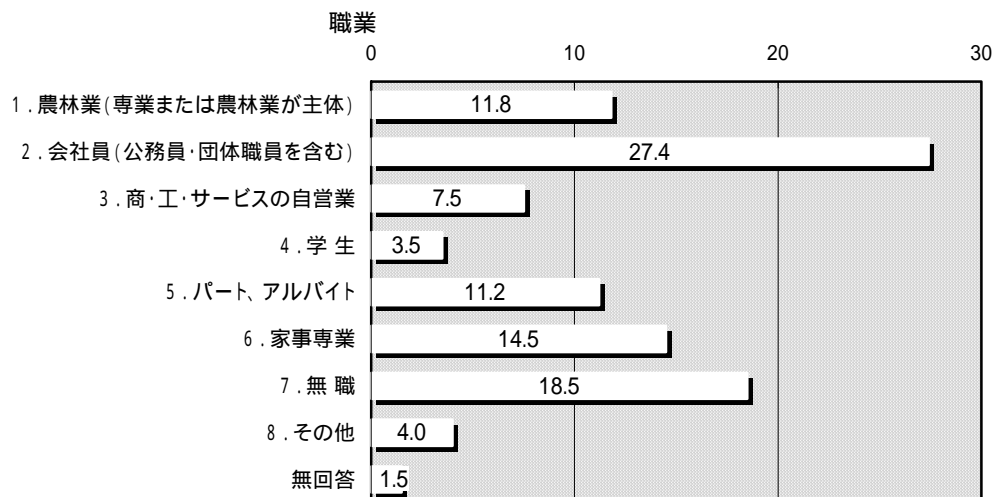
(3)あなたの年齢は

50歳代が20.8%で最も多い。
最も少ない18～29歳の層は12.8%である。



(4)あなたの職業は

会社員（公務員・団体職員を含む）の27.4%が最も多く、約4人に一人の割合である。これに無職（18.5%）、家事専業（14.5%）、農林業（専業または農林業が主体）（11.8%）が次いでいる。



あなたの生活行動の場所や交通手段についておたずねします。

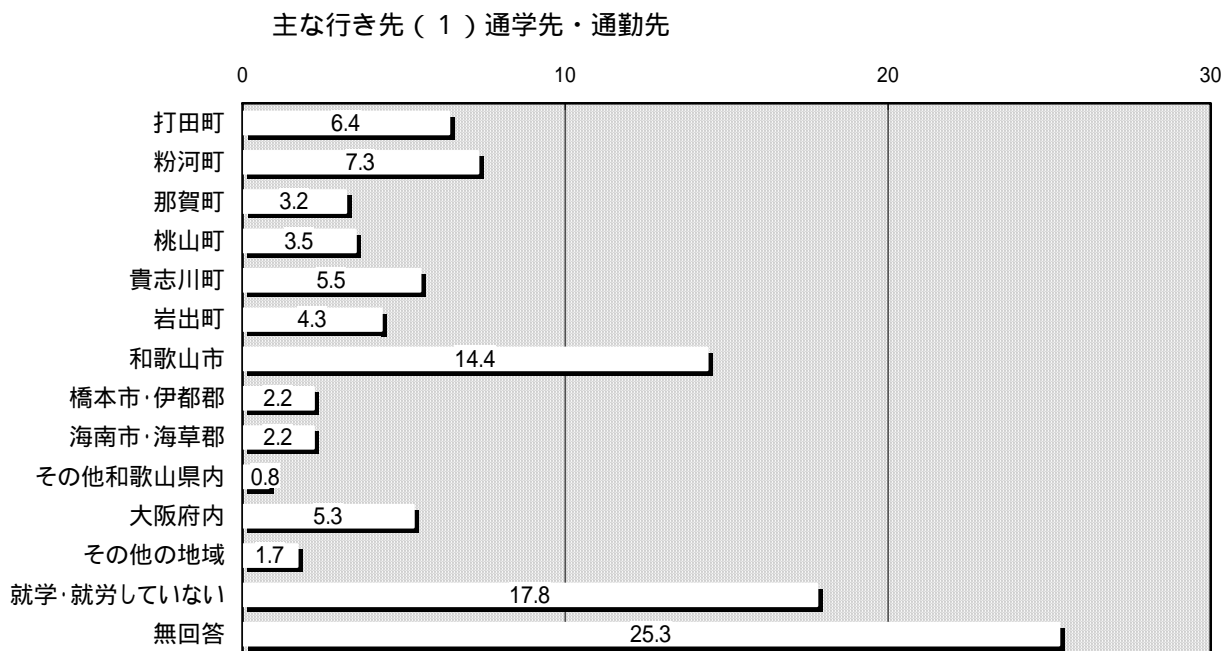
問2 あなたの生活行動のうち(1)～(6)について、主な行き先とその時の交通手段について、それぞれあてはまる番号1つに 印をつけてください。

問2 主な行き先 (1) 通学先・通勤先

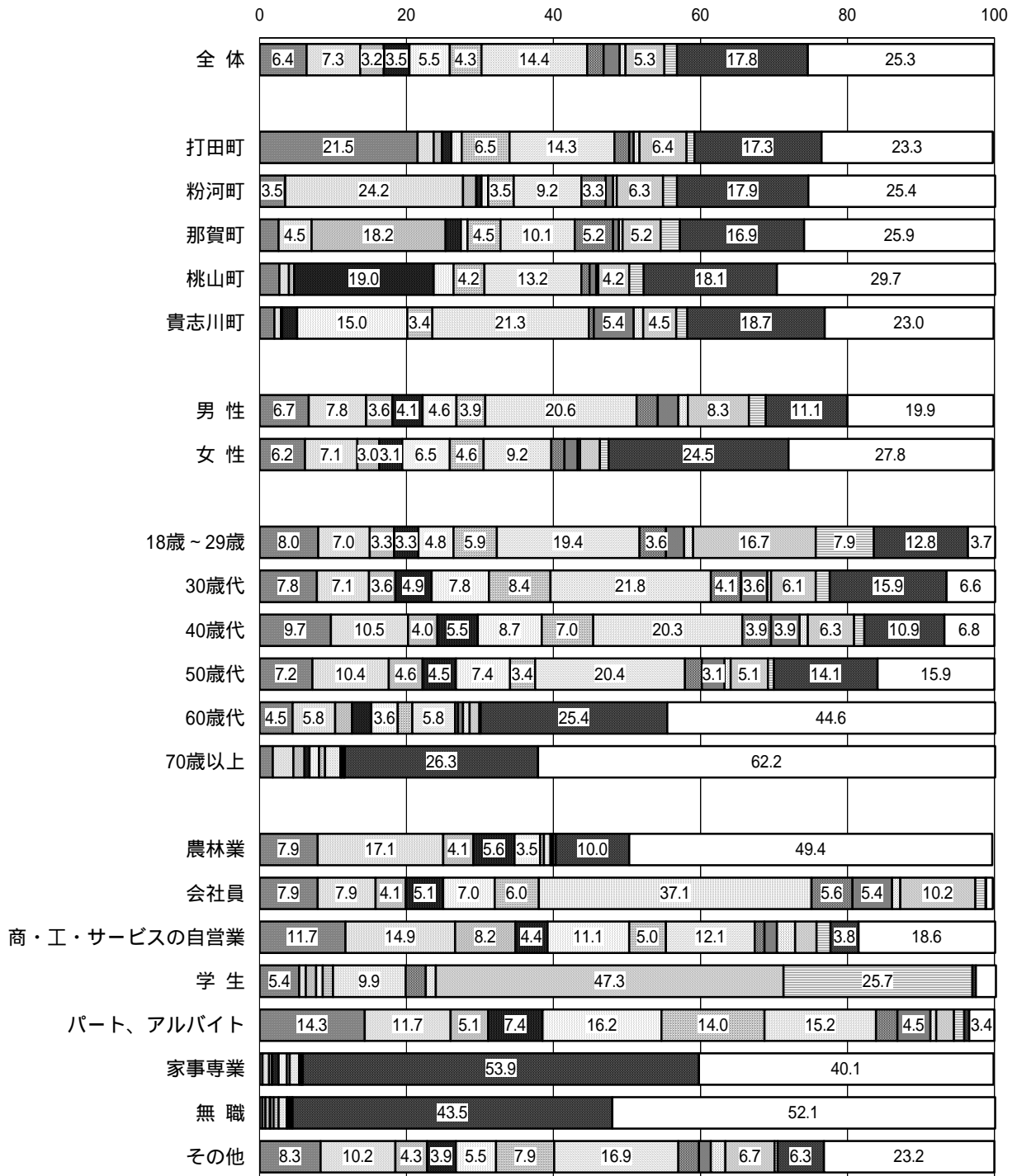
那賀5町を合計すると約26%である。就学・就労していない層と無回答が相当数あり、これらを除いて計算すると、この値は45.6%となり、半数弱が那賀5町内で通勤・通学していることになる。これに次いで和歌山市へ出かける場合が多くなっている。

性別にみると、男性は和歌山市に出かける割合が高い。

職業別にみると、通勤することが通常である会社員では和歌山市に出かける割合が37.1%と最も多い。その一方、商・工・サービスの自営業では和歌山市には12.1%が出かけているに過ぎず、那賀5町内の移動が高くなっている。学生では、大阪府内へ47.3%と半数近くが通学している。



主な行き先(1) 通学先・勤務先



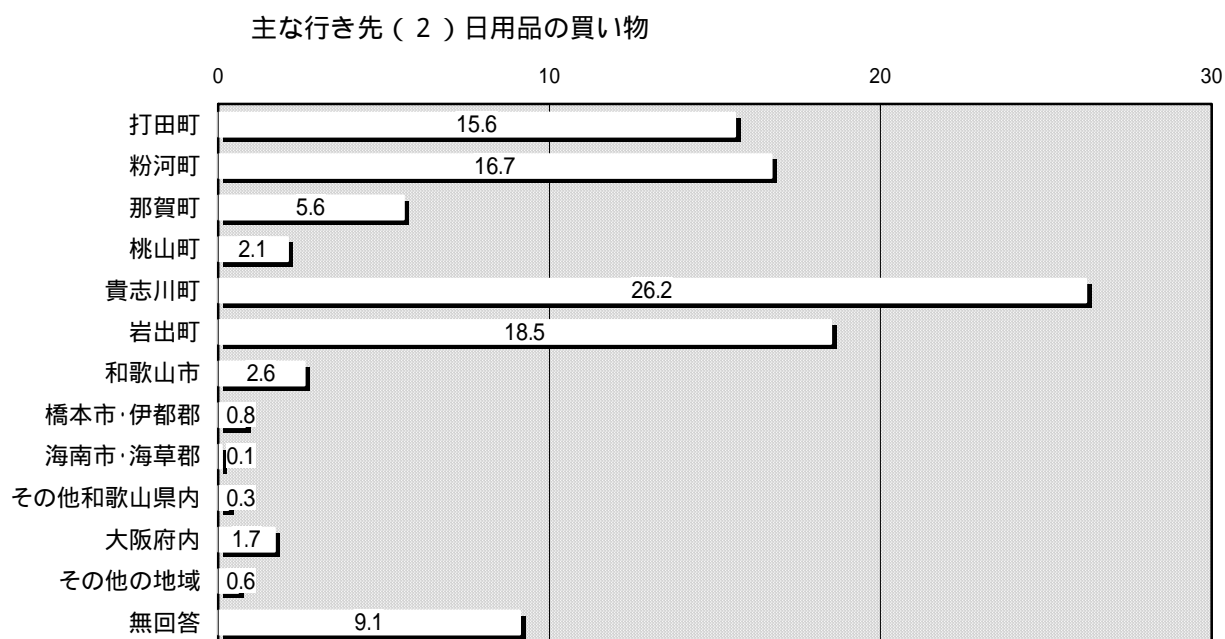
- 打田町
- 桃山町
- 和歌山市
- その他和歌山県内
- 就学・就労していない
- 無回答
- 粉河町
- 貴志川町
- 橋本市・伊都郡
- 大阪府内
- 那賀町
- 岩出町
- 海南市・海草郡
- その他の地域

問2 主な行き先 (2) 日用品の買物

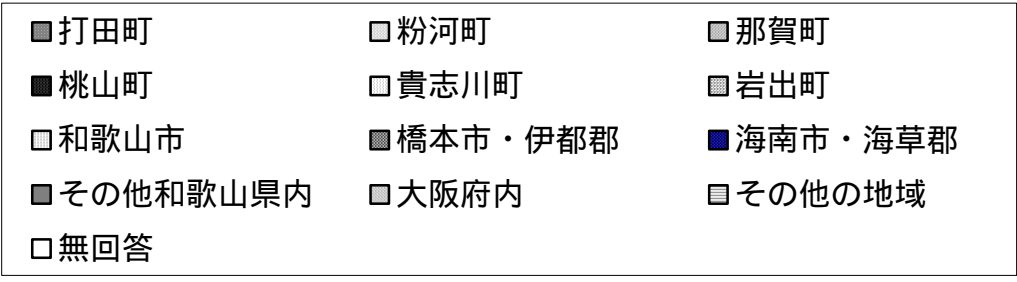
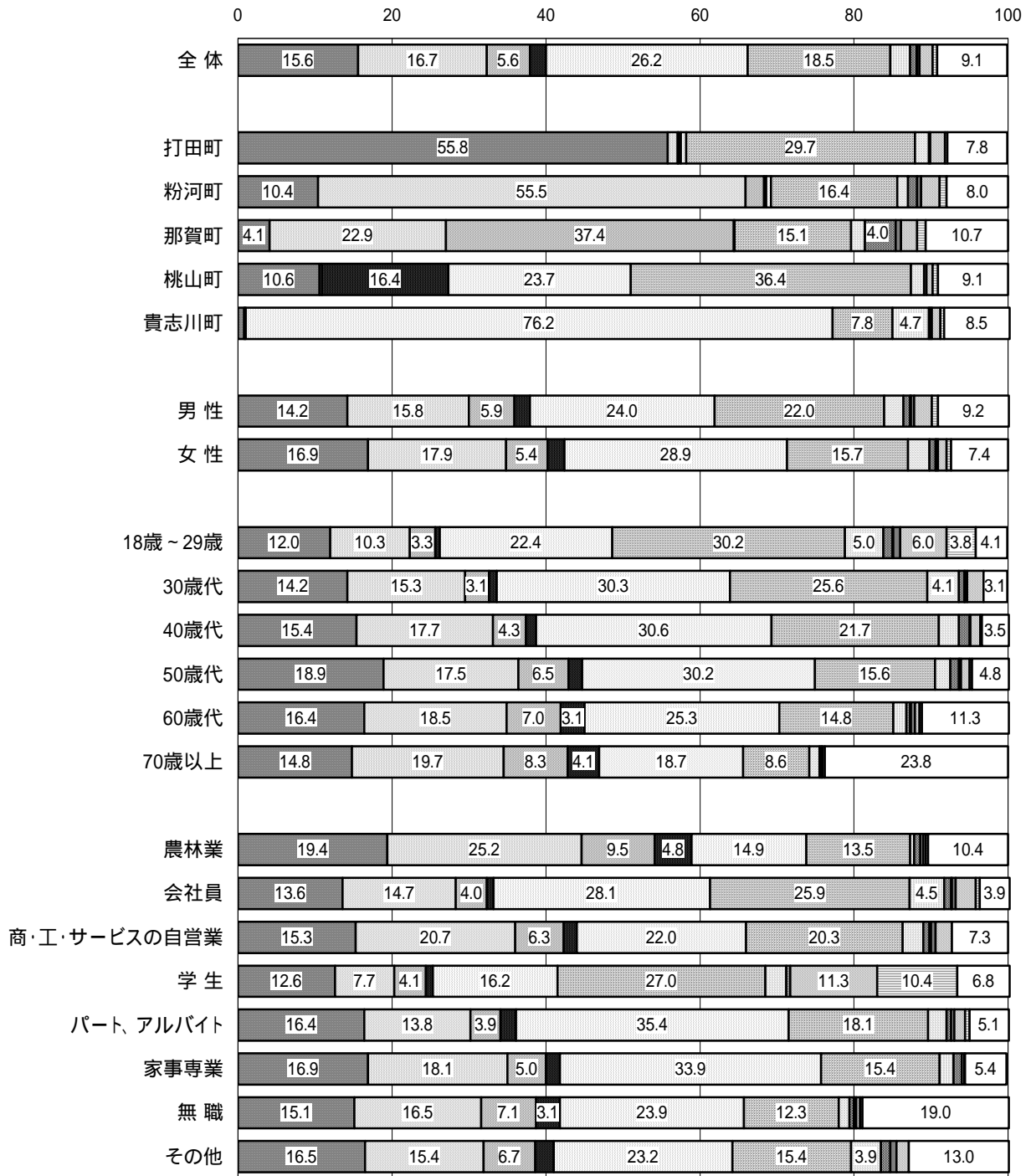
日用品の買物では、行き先として貴志川町が最も多く 26.2%であり、これに岩出町 18.5%、粉河町 16.7%、打田町 15.6%と続く。5 町を合計した那賀 5 町内の充足率は 66.2%である。

町別にみると、貴志川町では 76.2%が町内に出かけており、自町内の充足率が最も高い。また桃山町の自町内充足率は 16.4%にとどまり、岩出町に 36.4%の回答者が出かけている。

年齢別には、若い層ほど岩出町によく出かけており、18～29 歳層で 30.2%と首位になっている。



主な行き先(2)日用品の買物

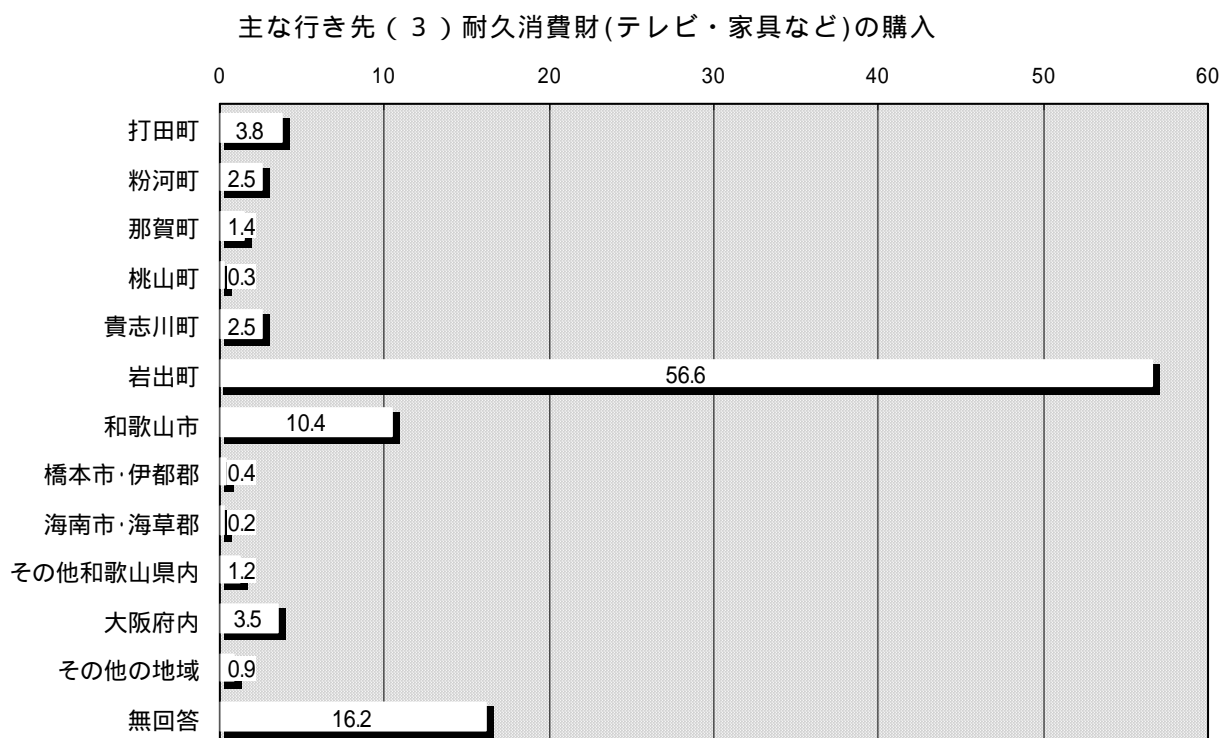


問2 主な行き先 (3) 耐久消費財(テレビ・家具など)の購入

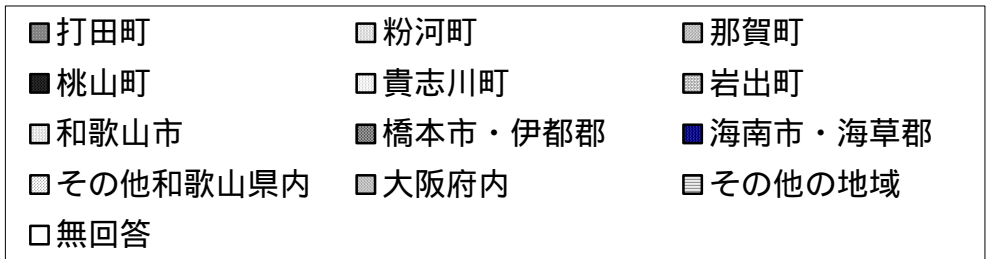
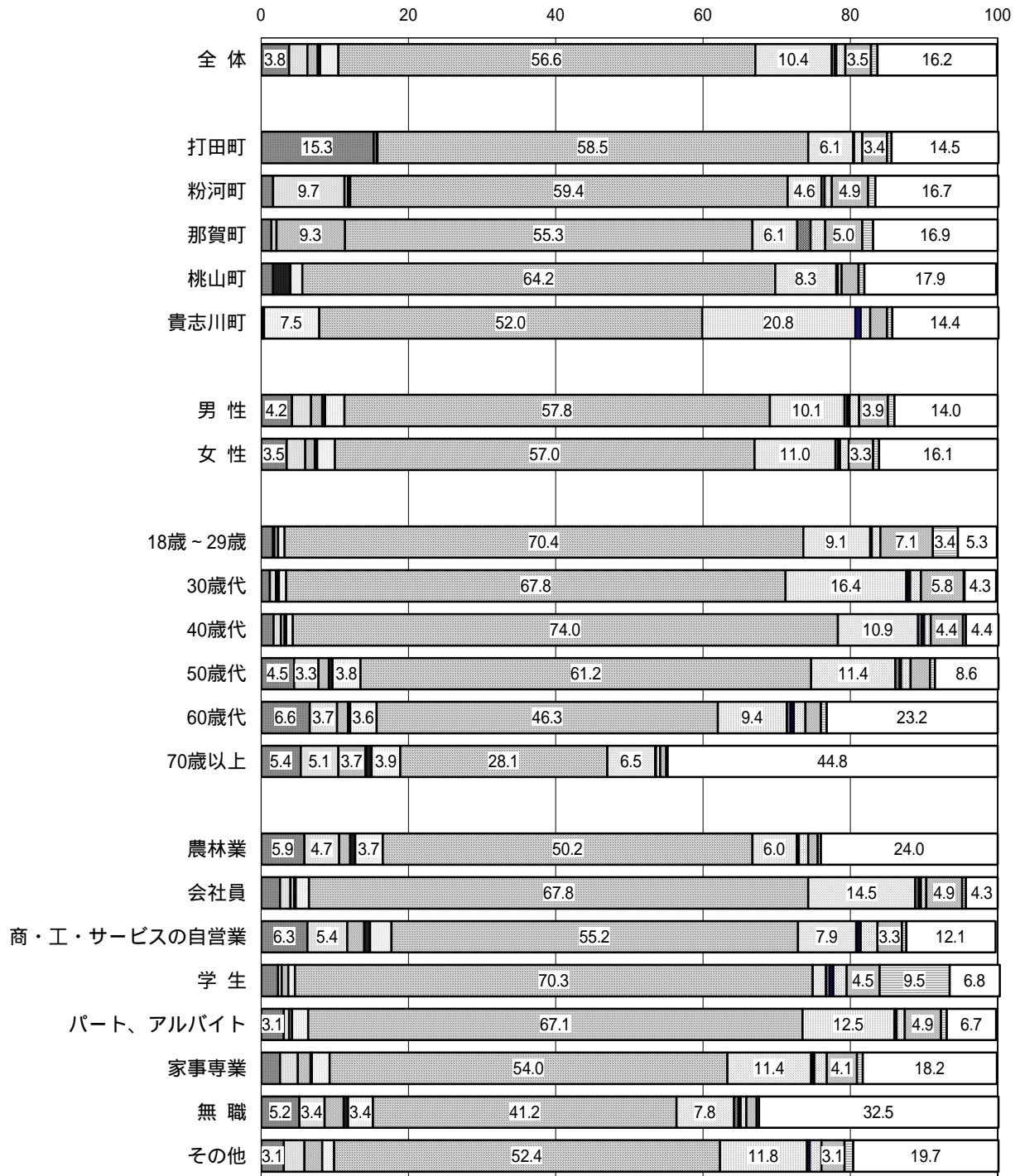
耐久消費財では、岩出町に出かける場合が56.6%と最も多い。那賀5町内での買物は、打田町に出かける割合が3.8%であり、これが最も高く、5町を合計しても10.5%にとどまる。

年齢別では50歳代以上の層で、那賀5町内での買物が比較的多くなっている。

職業別では、会社員において和歌山市に通勤する割合が高かったが、耐久消費財の買物においても和歌山市ですませる割合が14.5%と比較的高い。



主な行き先（3）耐久消費財（テレビ・家具など）の購入

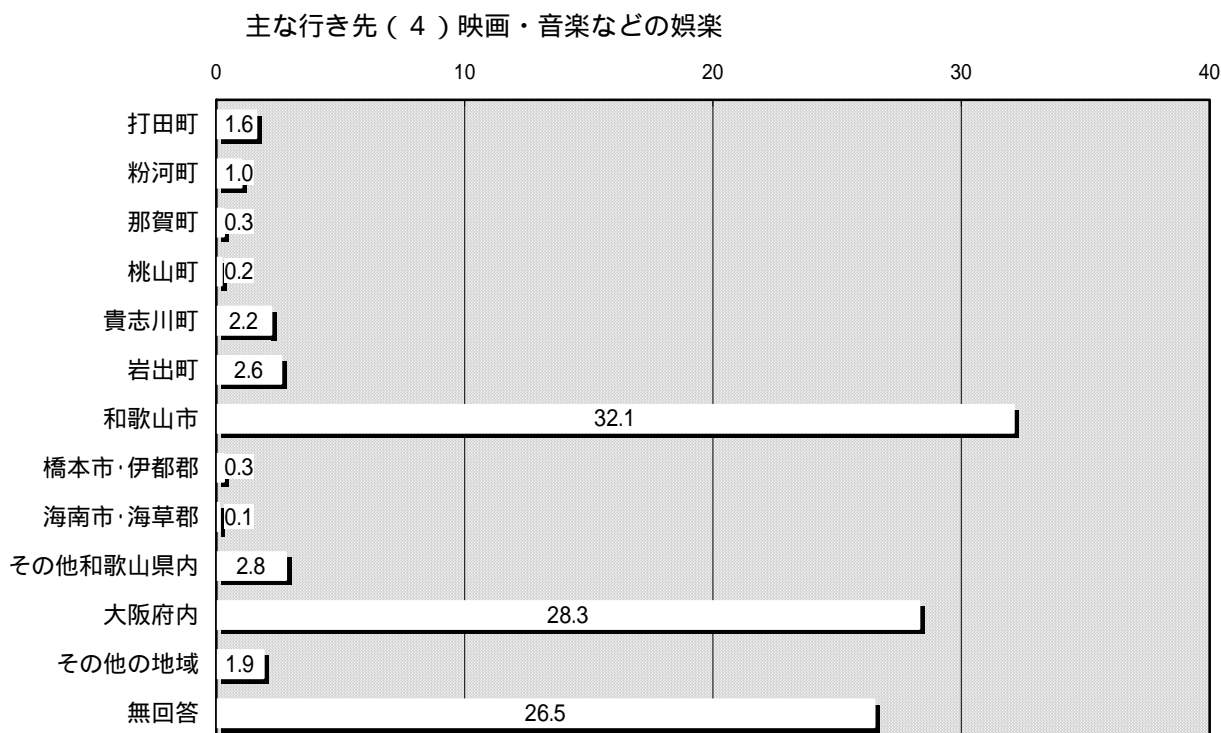


問2 主な行き先 (4) 映画・音楽などの娯楽

映画・音楽などの娯楽を楽しむときには、和歌山市へ32.1%が、また大阪府内へは28.3%が出かけており、広域的に行動している。

町別にみると、貴志川町では和歌山市に41.5%が出かけており、那賀5町のうちで最も高い割合となっている。

年齢別にみると、30歳代以下の層では大阪府内に出かける割合が半数を超えている。また40歳代以上の層では和歌山市に出かける割合が高くなっており、40歳を境にして、行動圏が異なっている。

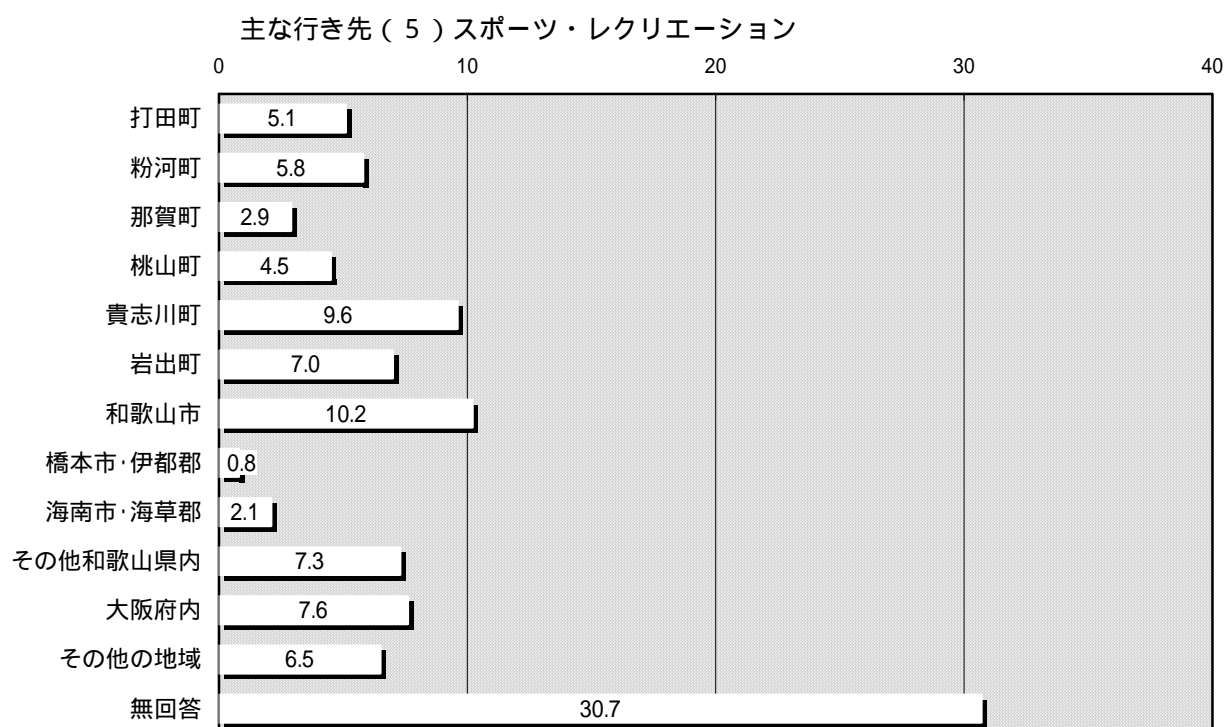


問2 主な行き先 (5)スポーツ・レクリエーション

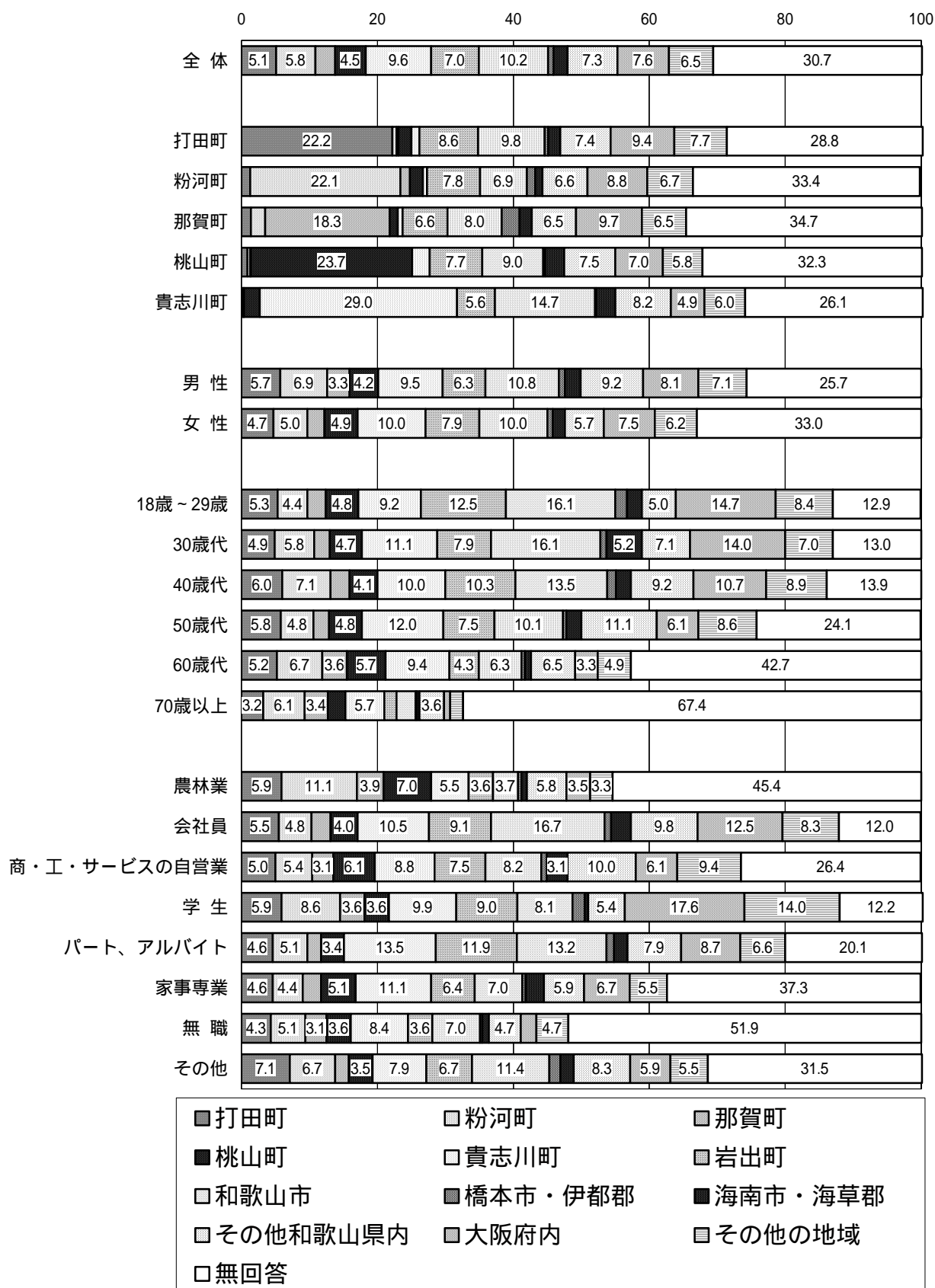
スポーツ・レクリエーションの行き先は、和歌山市 10.2%、貴志川町 9.6%、大阪府内 7.6%、
その他和歌山県内 7.3%などと分散している。

回答者の居住する町別にみると、回答者自身の住む町に出かける場合が最も多い。

年齢別にみると、和歌山市へは 18～29 歳と 30 歳代で、ともに 16.1%が、また大阪府内へ
は 18～29 歳 14.7%、30 歳代 14.0%と高くなっており、スポーツ・レクリエーションにおい
ても若年層における広域的行動が顕著である。



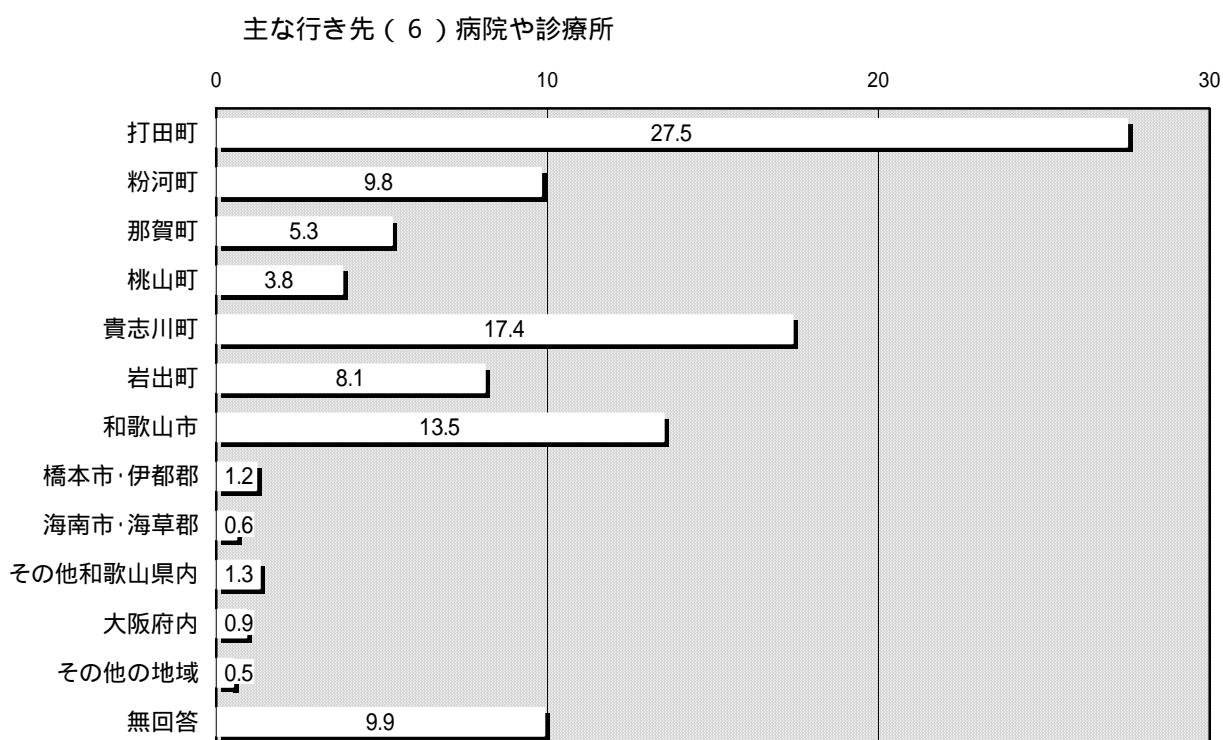
主な行き先(5) スポーツ・レクリエーション



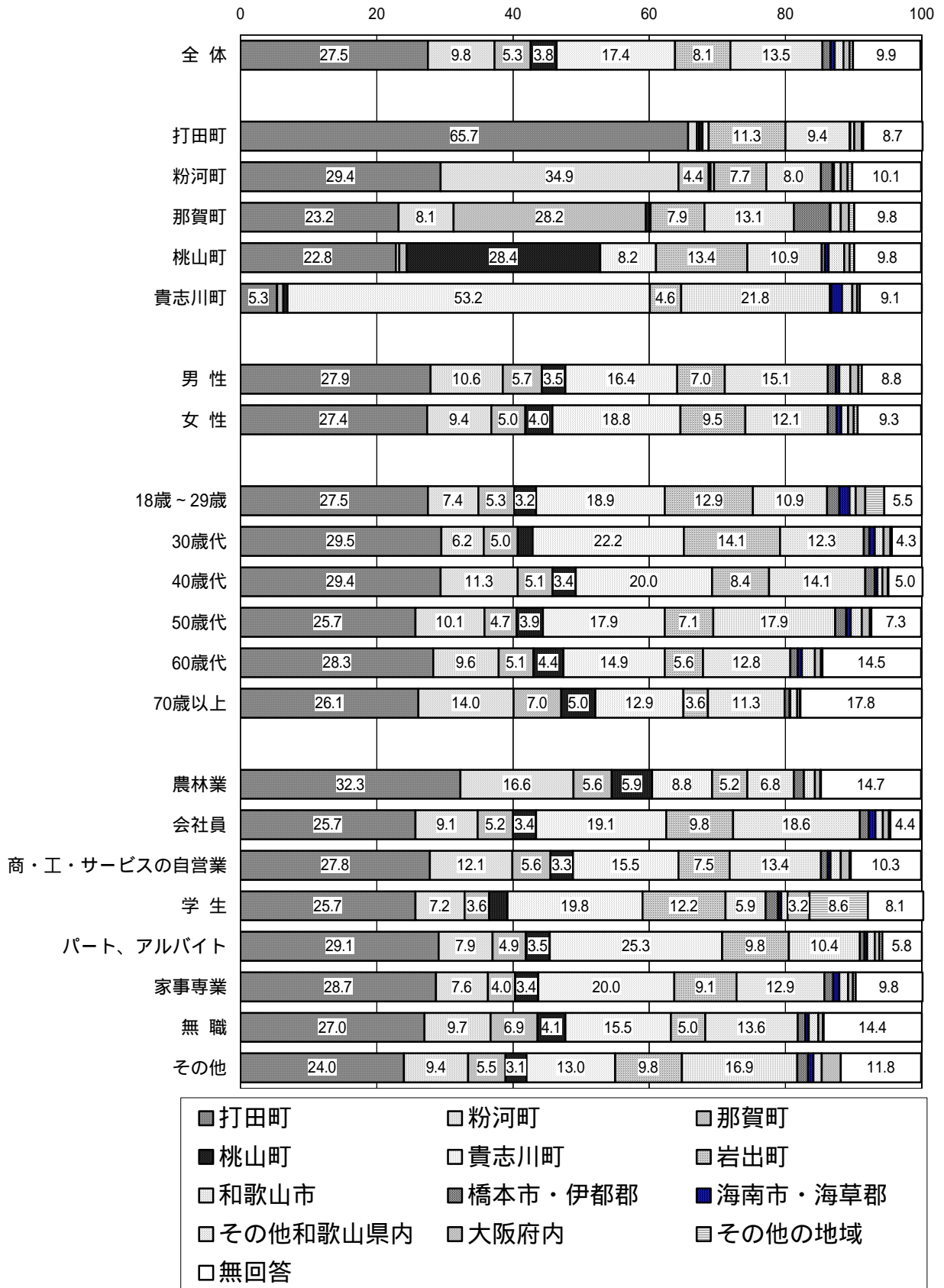
問2 主な行き先 (6) 病院や診療所

病院や診療所についての行き先では、公立那賀病院のある打田町へ27.5%が出かけており、最も高い。これに次いで、貴志川町へ17.4%が、また和歌山市へ13.5%が出かけている。

町別にみると、同病院のある打田町居住者において、打田町に出かける割合が65.7%と高い。ほかの4町では、自町内へ出かける割合が最も高くなっている。貴志川町では自町内へ出かける割合が53.2%で半数を超えている。



主な行き先（6）病院や診療所



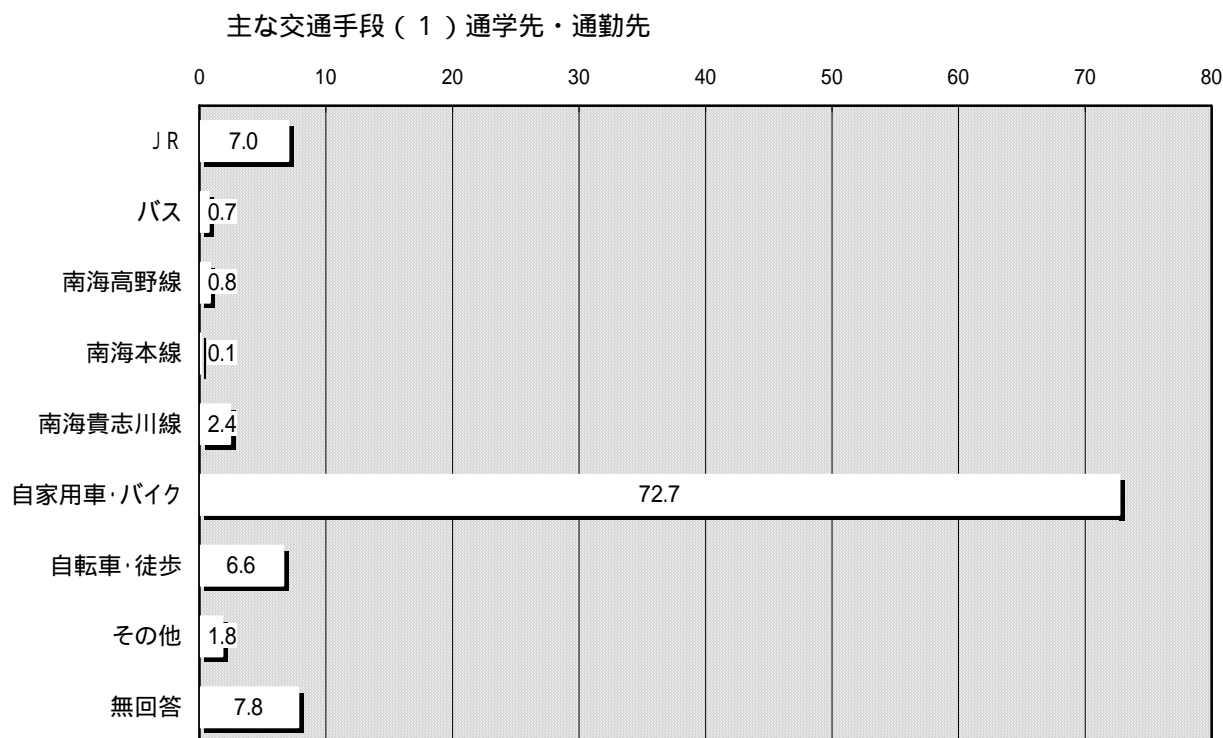
問2 主な交通手段 (1)通学先・勤務先

通学先・勤務先に使う主な交通手段では、自家用車・バイクが最も多く72.7%を占めている。これにJRの7.0%、自転車・徒歩の6.6%が次いでいるが、自家用車・バイクとの開きは大きい。

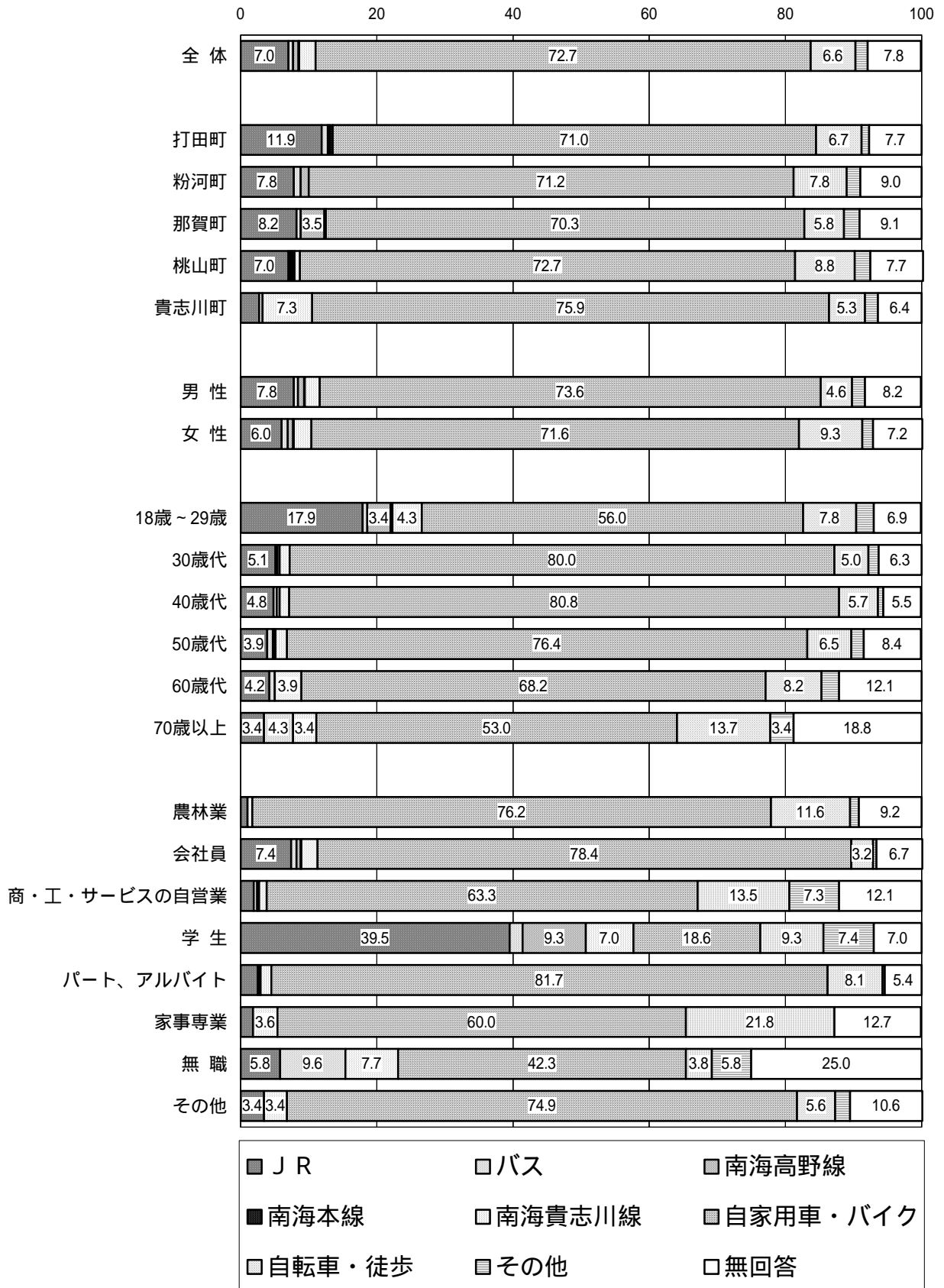
居住町別にみると、打田町でJRが11.9%となっており、比較的高い。

年齢別では、30歳代以上では高齢になるほど自家用車・バイクの割合が下がる。この傾向はほかの生活行動(2)～(6)でもほぼ同じ傾向である。

職業別では、学生で39.5%がJRを利用しているほか、南海高野線利用者が9.3%、南海貴志川線利用者が7.0%みられる。

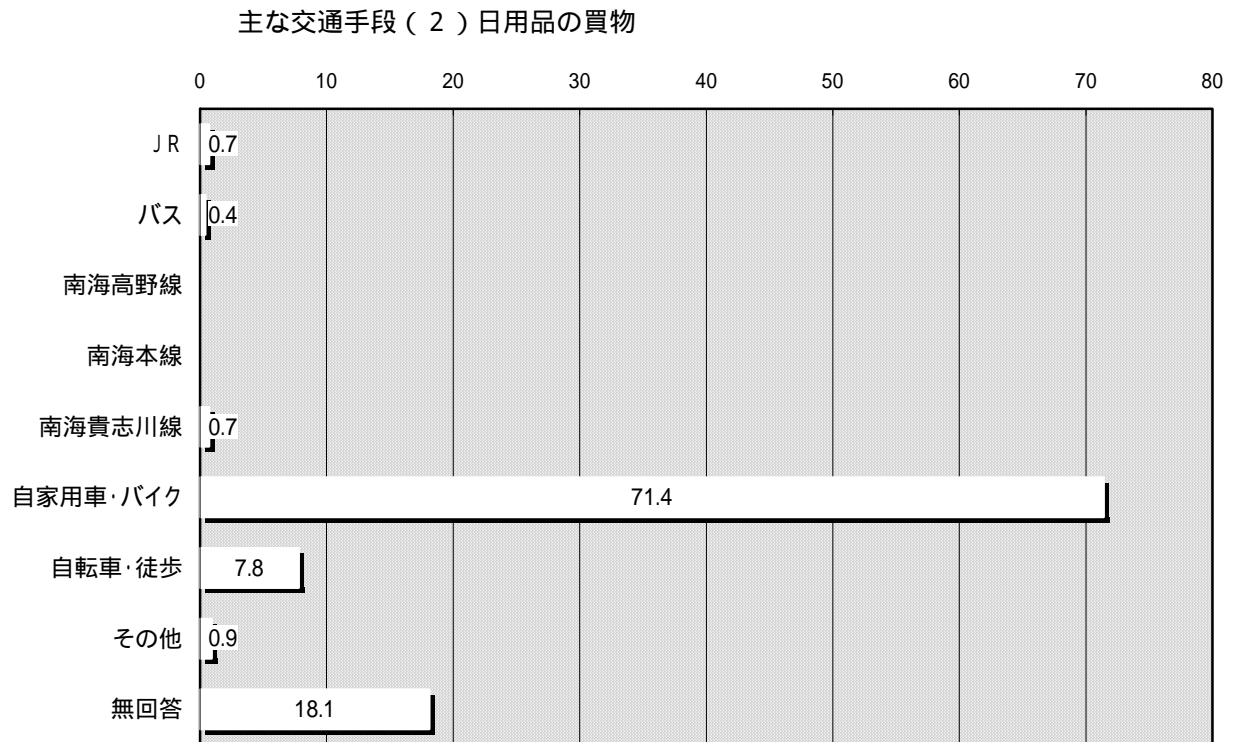


主な交通手段（１）通学先・勤務先

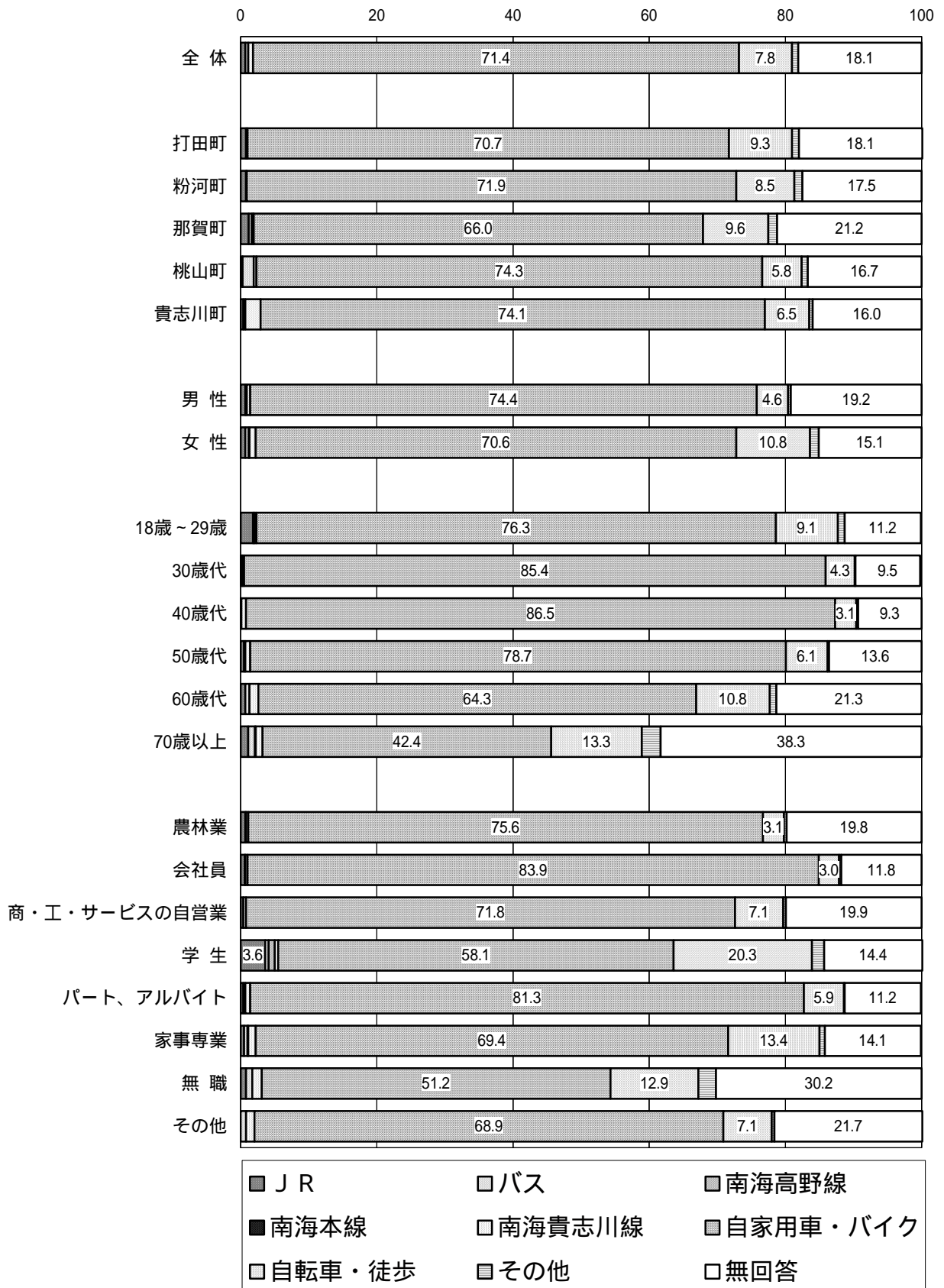


問2 主な交通手段 (2) 日用品の買物

日用品の買物では、自家用車・バイク 71.4%、自転車・徒歩 7.8%となっている。

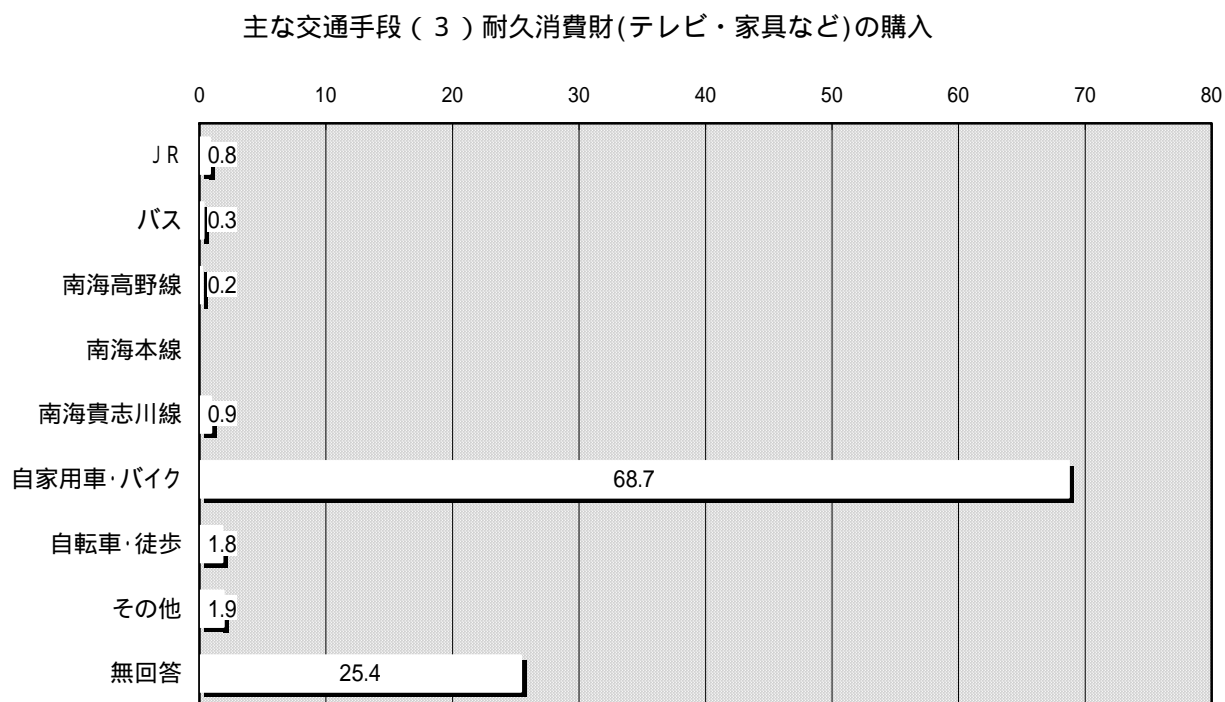


主な交通手段（２）日用品の買物

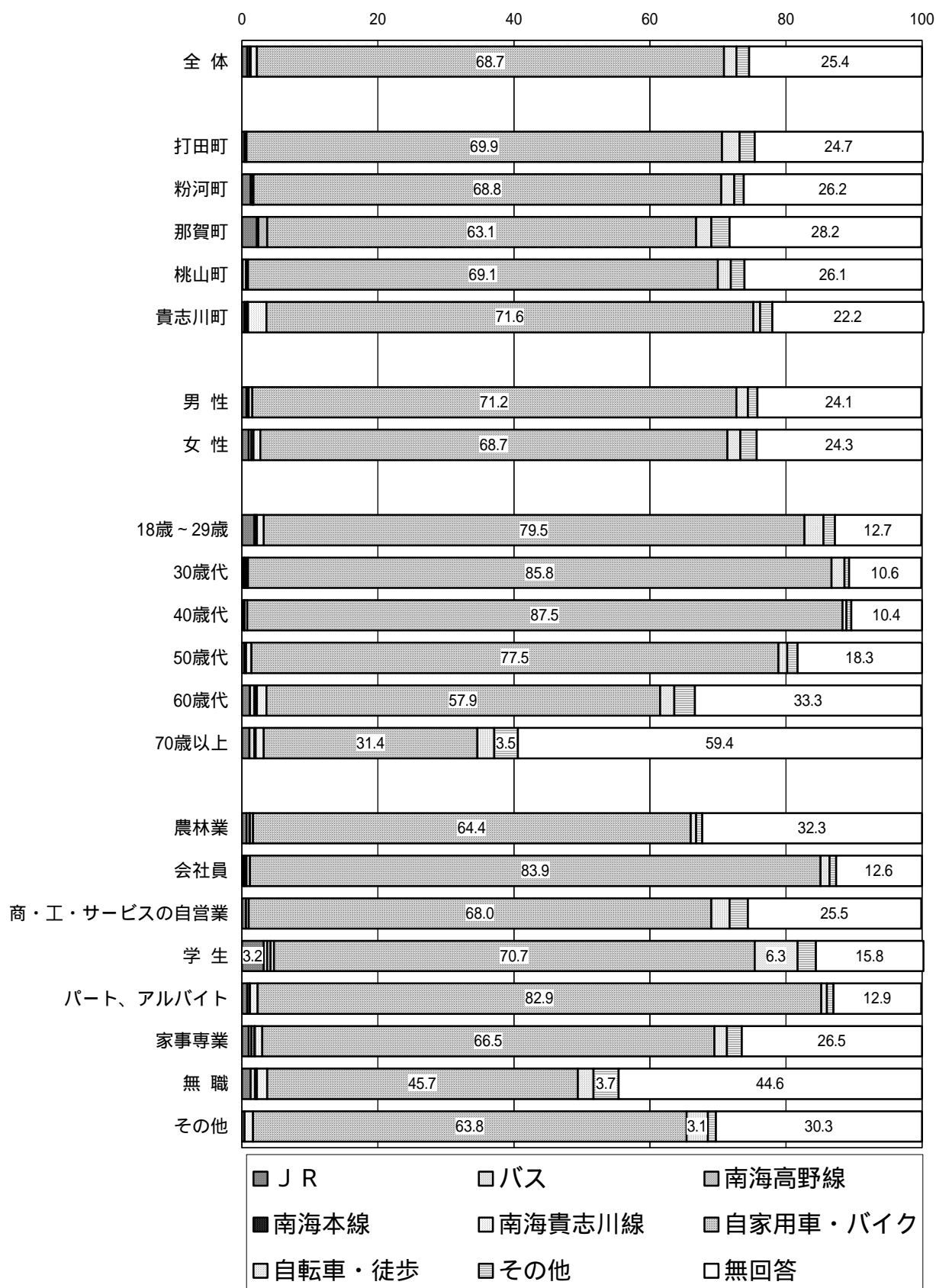


問2 主な交通手段 (3) 耐久消費財(テレビ・家具など)の購入

耐久消費財の買物時の交通手段は自家用車・バイクの 68.7%が第1位で、ほかの手段は、たとえばその他 1.9%、自転車・徒歩 1.8%などごくわずかである。



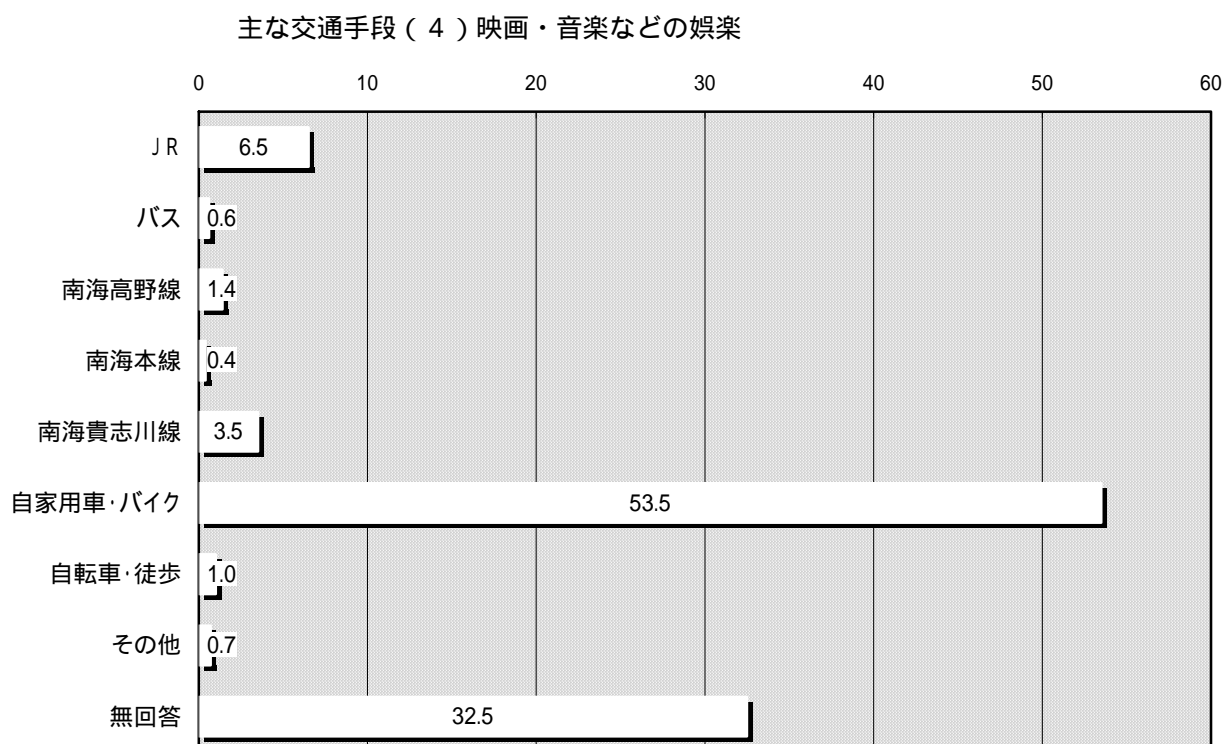
主な交通手段（3）耐久消費財（テレビ・家具など）の購入



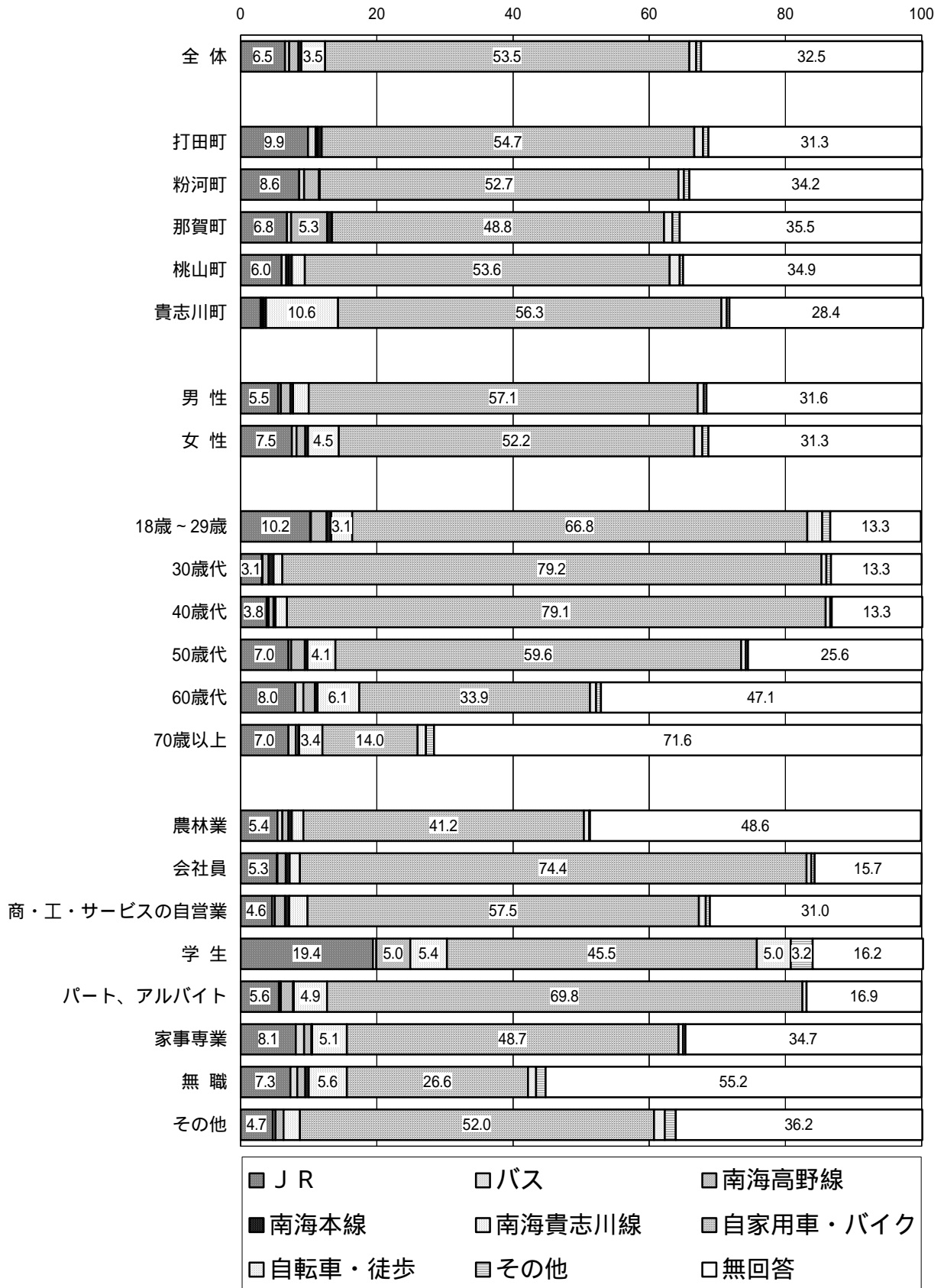
問2 主な交通手段 (4) 映画・音楽などの娯楽

映画・音楽などの娯楽を楽しむときの交通手段は、自家用車・バイクが53.5%と最も多いが、第2位はJR利用(6.5%)で、(1)通勤・通学時の利用率に次ぐ高い割合である。

居住町別にみると、貴志川町ではJRに代わって南海貴志川線の利用者が10.6%と第2位になっている。

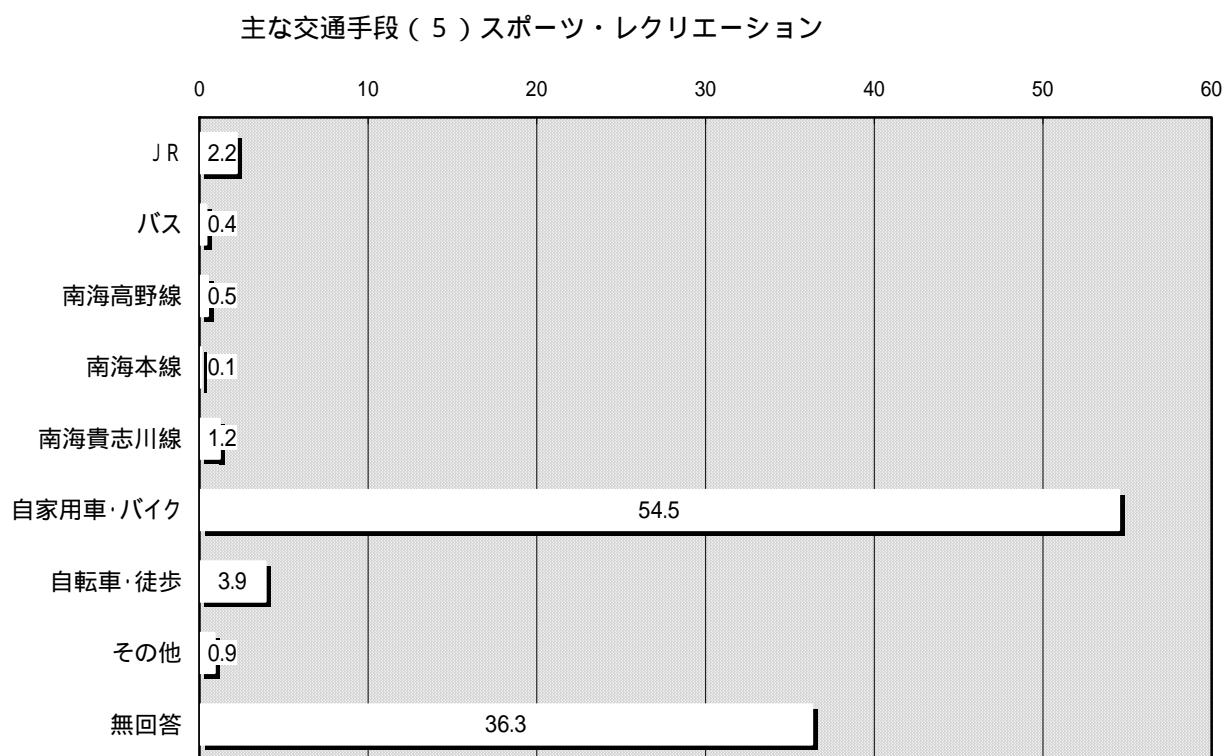


主な交通手段(4) 映画・音楽などの娯楽

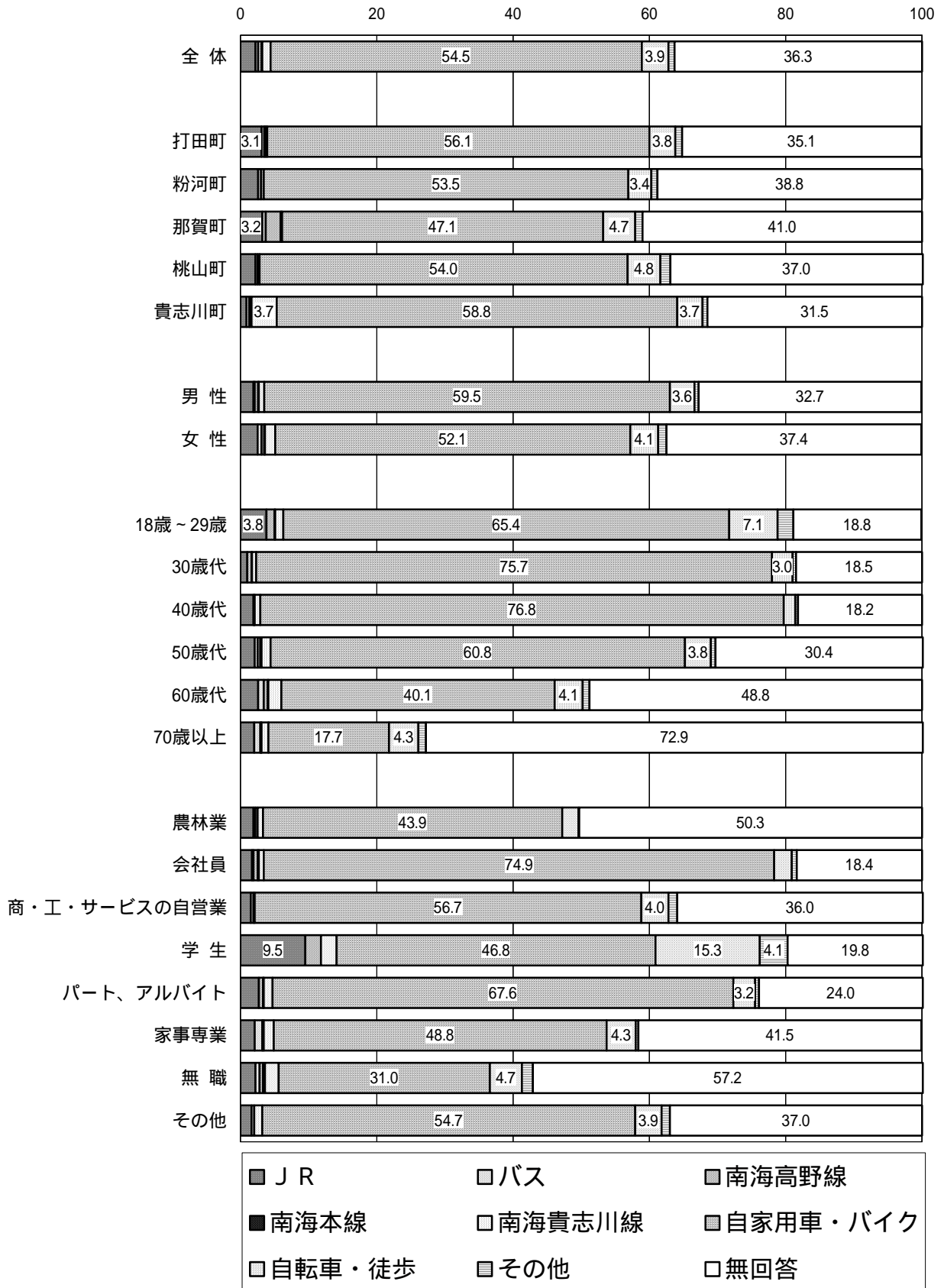


問2 主な交通手段 (5)スポーツ・レクリエーション

スポーツ・レクリエーションをするときの交通手段の第1位は自家用車・バイクの54.5%で、ほかの手段は、自転車・徒歩3.9%などわずかである。

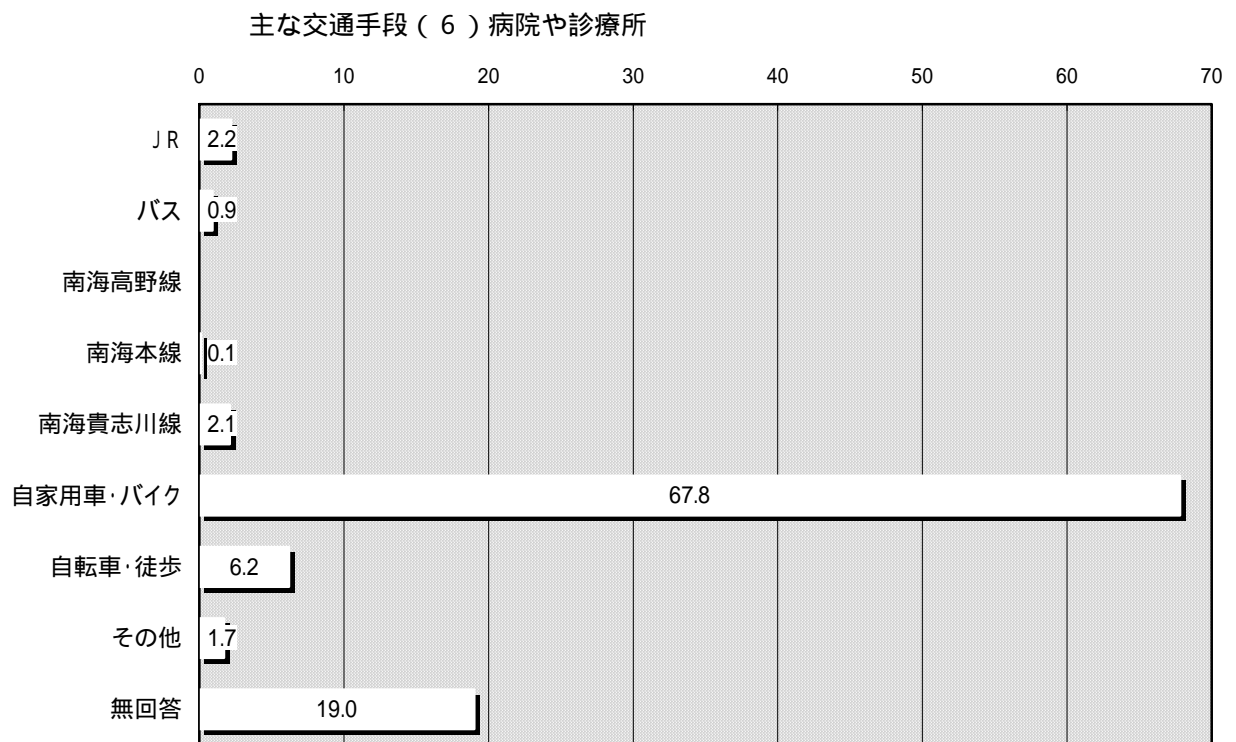


主な交通手段（５）スポーツ・レクリエーション

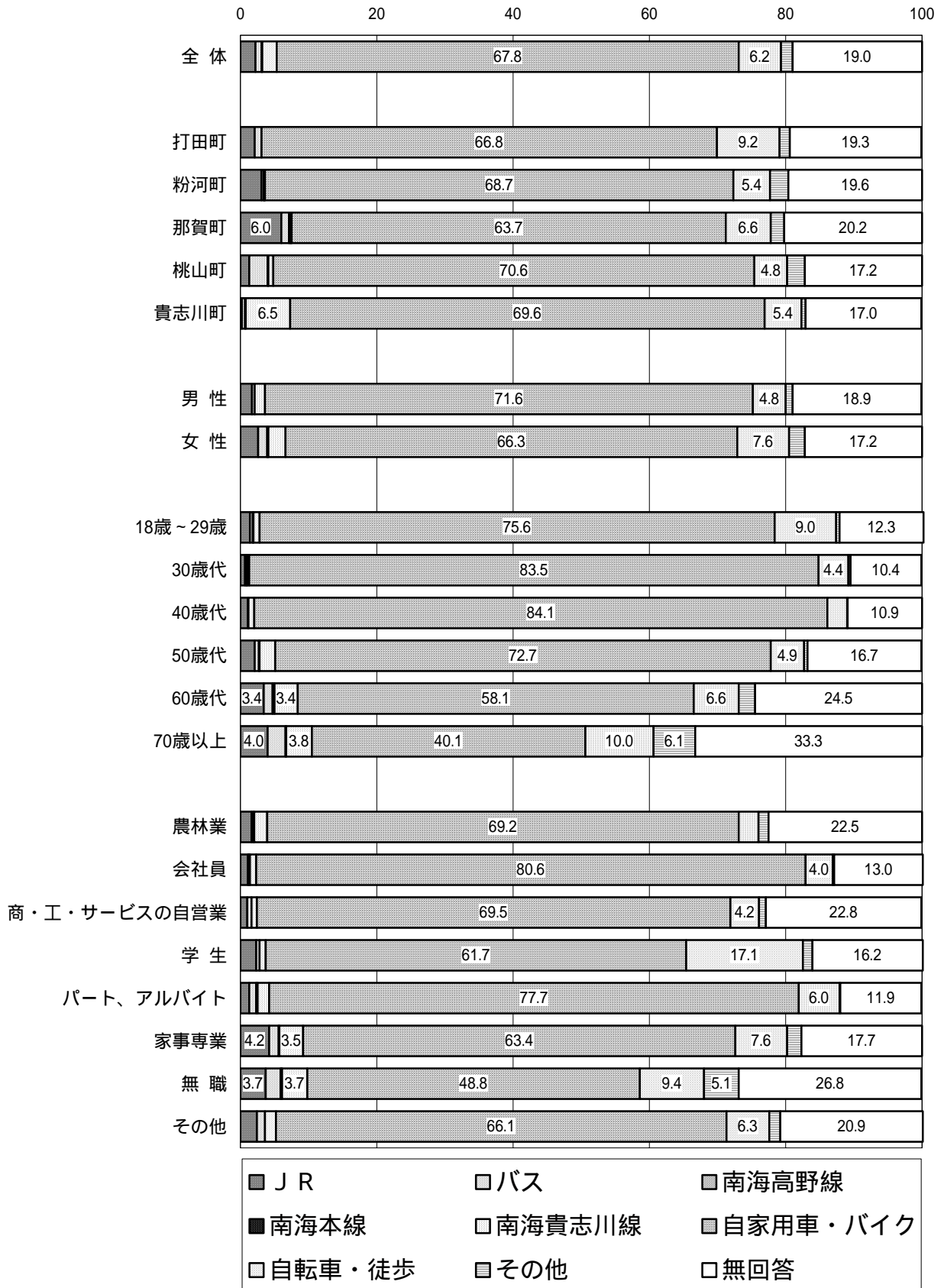


問2 主な交通手段 (6) 病院や診療所

病院や診療所に行くときの交通手段は、自家用車・バイクが67.8%と最も高い。



主な交通手段（6）病院や診療所



お住まいの町の現状についておたずねします。

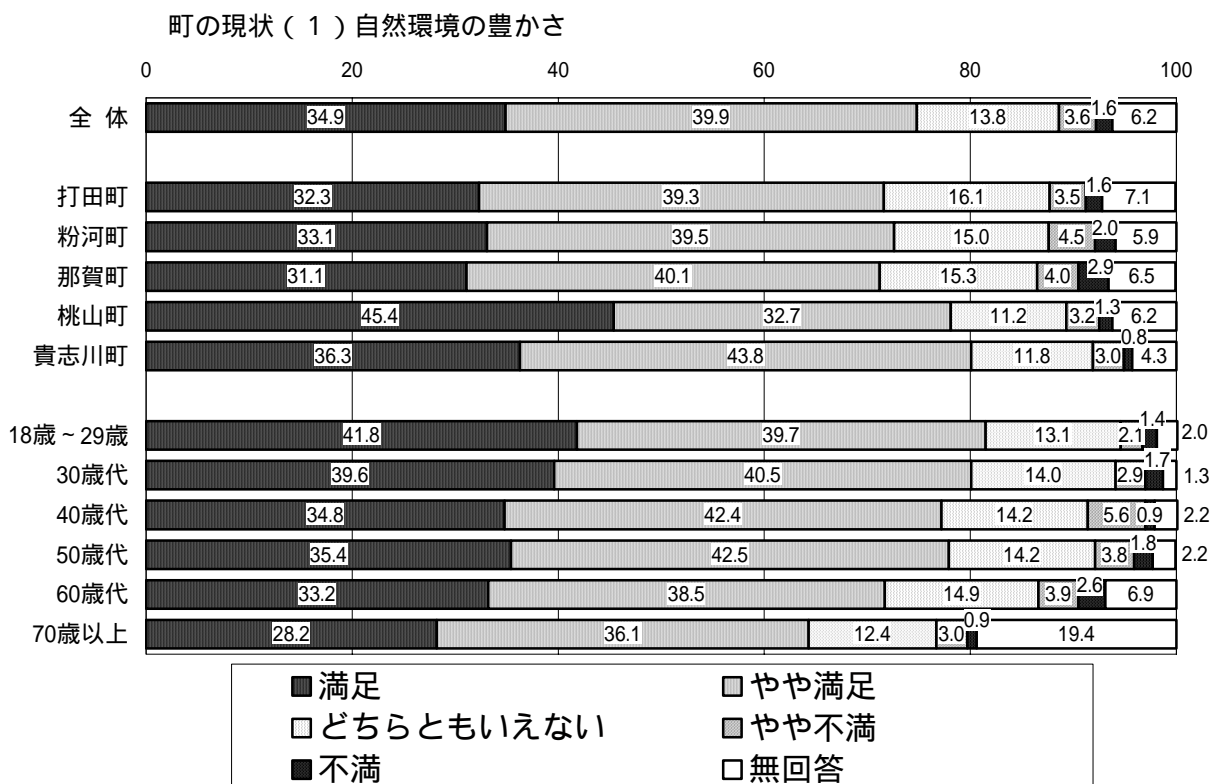
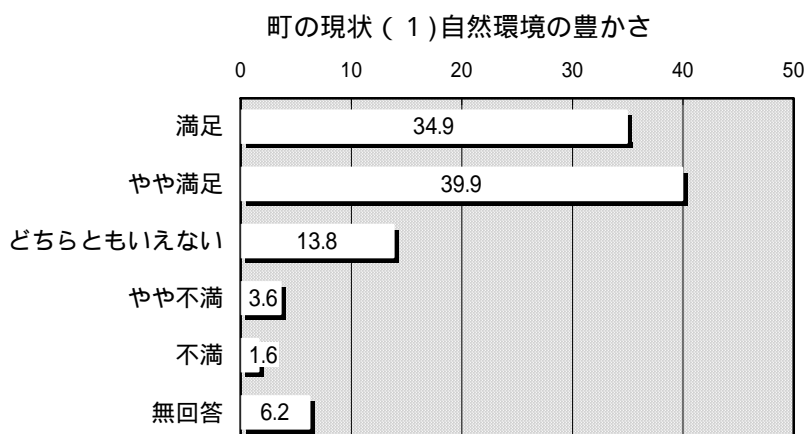
問3 あなたは、お住まいの町の現状をどう思いますか。下記の(1)～(27)の各項目についてそれぞれあてはまる番号1つに 印をつけてください。

問3 町の現状 (1) 自然環境の豊かさ

「満足」が34.9%、「やや満足」が39.9%で、合計すると約75%となり、多くの方が自然環境の豊かさに満足している。

居住地別では、桃山町と貴志川町で特に高い。

年齢別では、若い層ほど高く評価をしている。

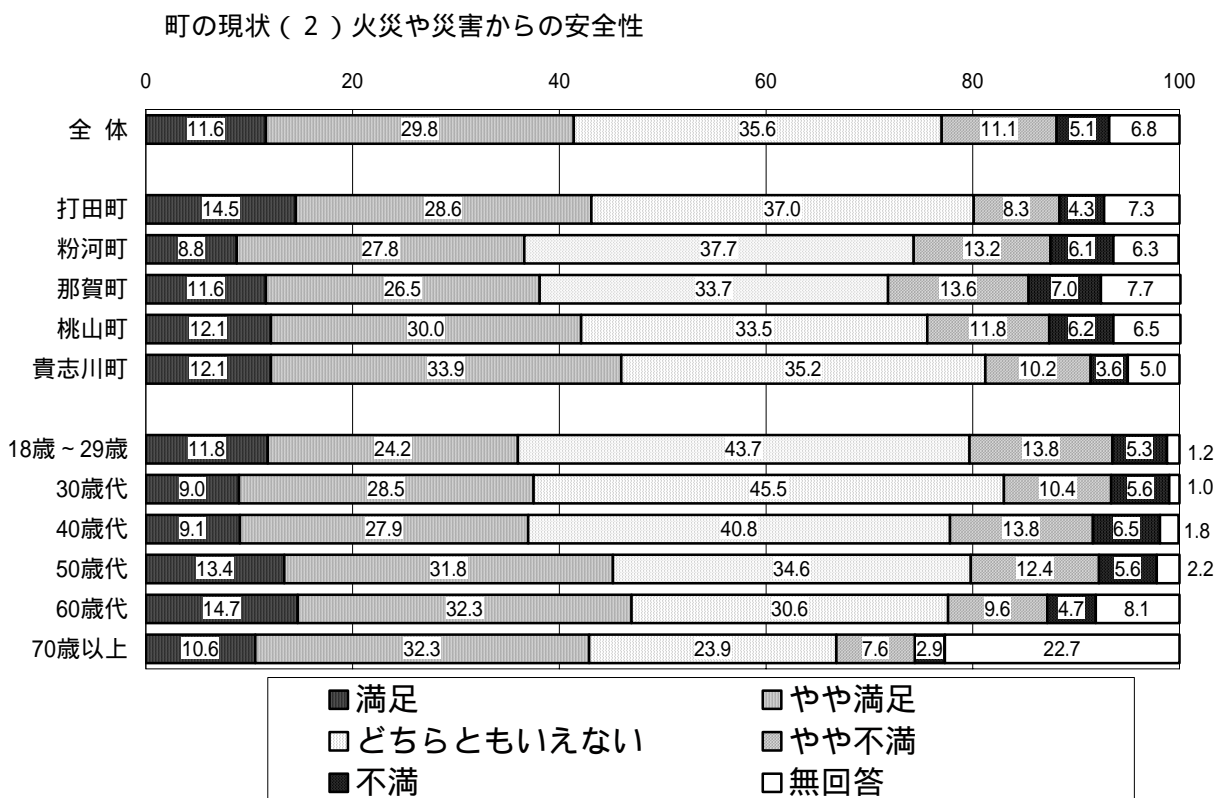
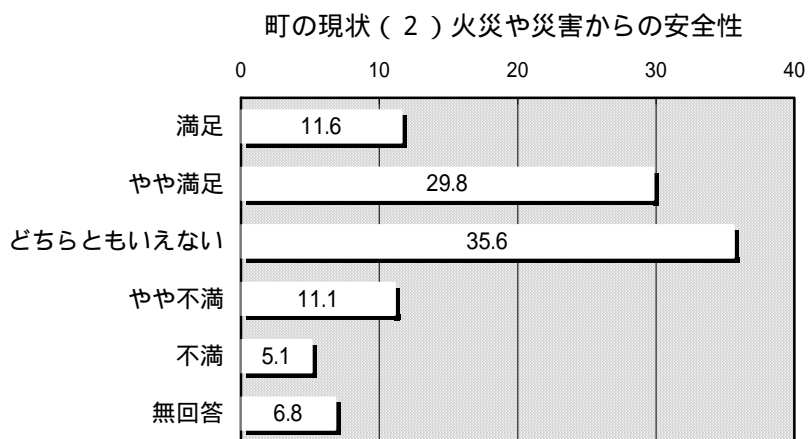


問3 町の現状 (2) 火災や災害からの安全性

「どちらともいえない」が35.6%で最も高いが、次いで「やや満足」の29.8%となっており、全体的には満足していると考えられる。

居住地別では打田町で「満足」が14.5%で最も高い。貴志川町では「やや満足」が33.9%と最も高い。

年齢別では、50歳代と60歳代で比較的评价が高い。



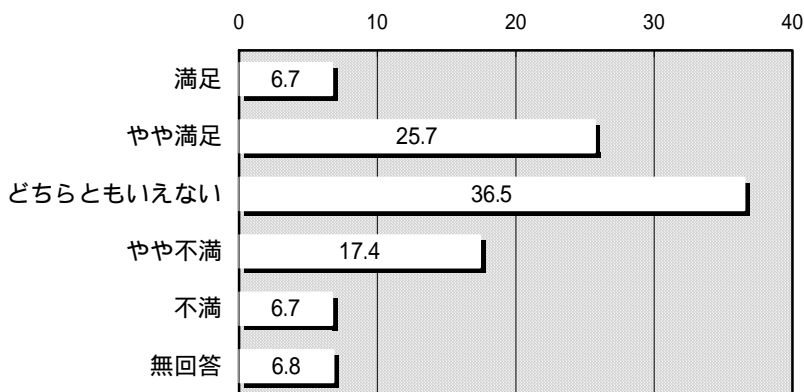
問3 町の現状 (3) 犯罪や交通事故からの安全性

「どちらともいえない」が36.5%で最も多く、これに「やや満足」が25.7%が次ぐものの、第3位は「やや不満」が17.4%となっており、意見がやや分かれている。

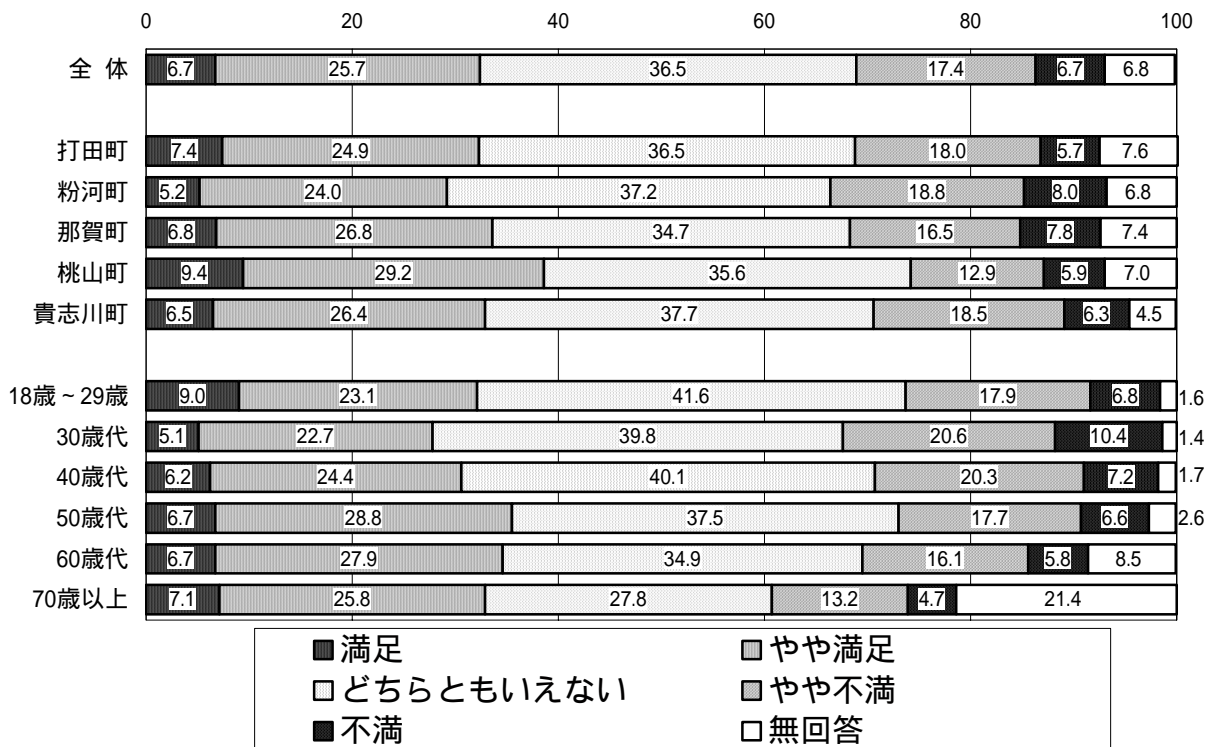
居住地別では、桃山町においてやや評価が高くなっている。

年齢別にみると、「満足」に関して、18～29歳において9.0%と最も高いのに対して、すぐ上の年齢階層である30歳代が5.1%で最も低くなっている。30歳代は、「やや不満」「不満」についても最も高く、比較的厳しい評価をしている。

町の現状 (3) 犯罪や交通事故からの安全性



町の現状 (3) 犯罪や交通事故からの安全性



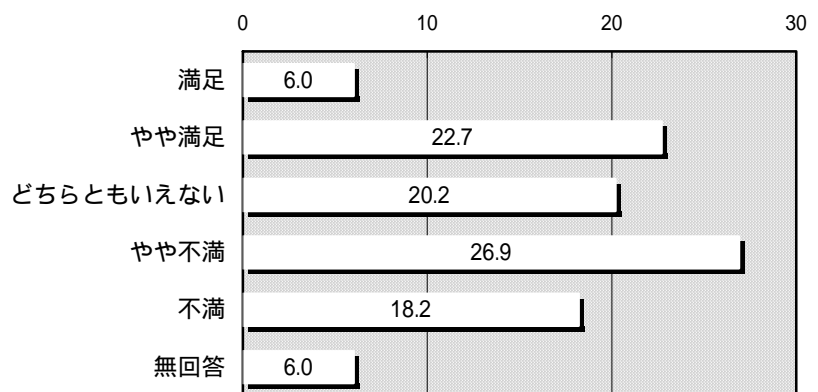
問3 町の現状 (4) 道路の整備状況

「やや不満」が26.9%で最も高く、「不満」の18.2%と合わせると45%の人が不満感を抱いている。一方「やや満足」と「満足」を合わせた割合は29%である。「どちらともいえない」は20.2%と「やや満足」「やや不満」のいずれよりも低く、意見が二極化している。

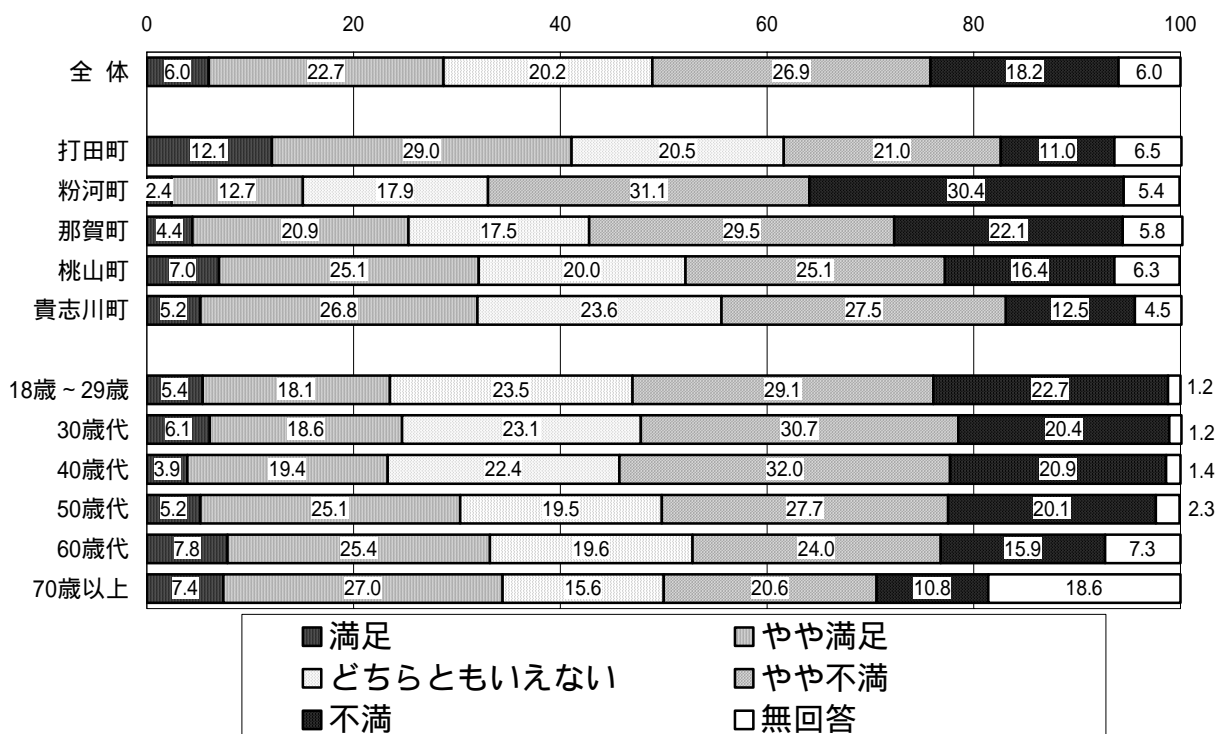
居住地別にみると、粉河町では「やや不満」が31.1%、「不満」が30.4%にのぼっており、不満感が高い。また那賀町がこれに次いでいる。これに対して打田町では「不満」11.0%に対して、「満足」が12.1%と上回っている。

年齢別には、居住地別ほどに差はみられないが、「不満」の割合が若い層ほど高くなる傾向にある。

町の現状 (4) 道路の整備状況



町の現状 (4) 道路の整備状況

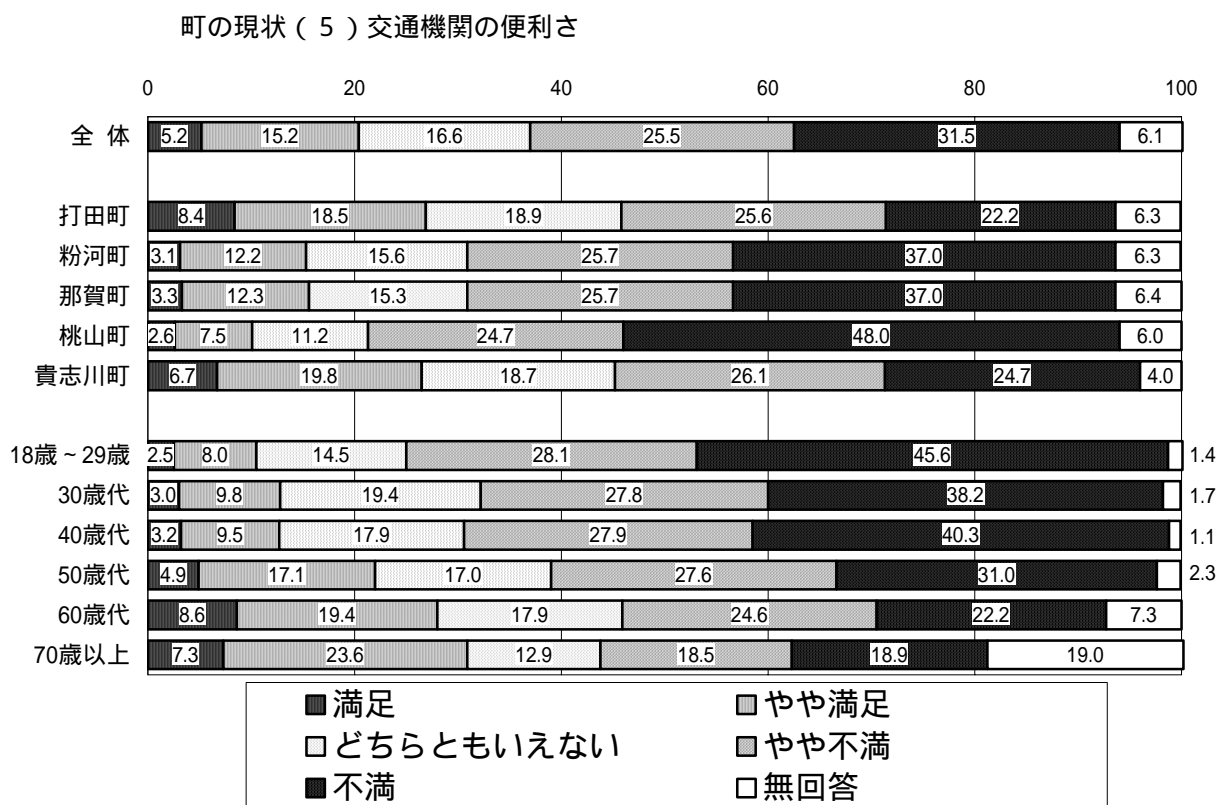
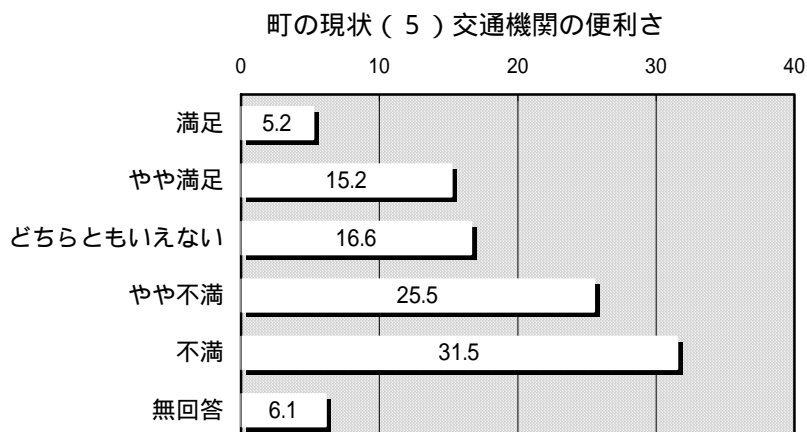


問3 町の現状 (5) 交通機関の便利さ

「不満」31.5%、「やや不満」25.5%で合計すると57%の回答者が不満感を抱いている。

特に桃山町では、48.0%の人が「不満」と答えており、「やや不満」と合わせると73%にのぼる。粉河町と那賀町がこれに次ぐ。

年齢別にみると、18~29歳で「不満」が45.6%と高く、全体的にみて、若い層ほど不満度が高い傾向がみられる。

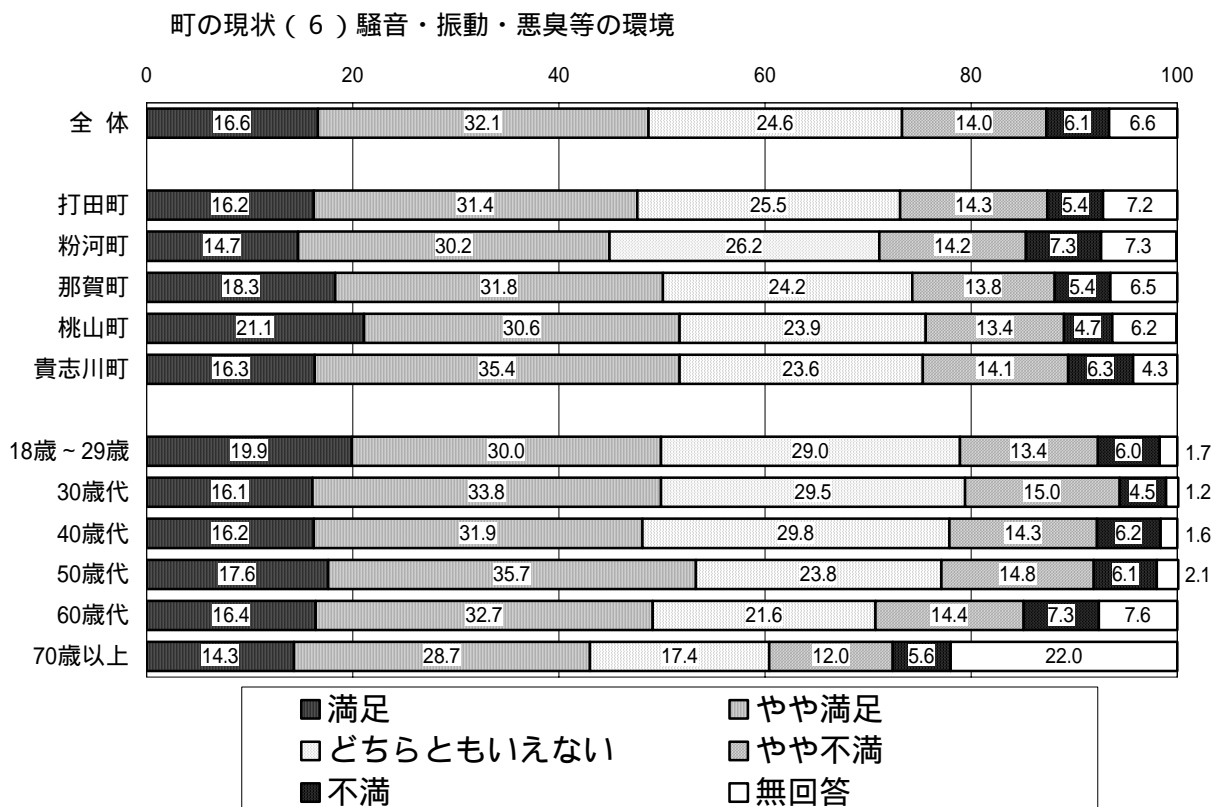
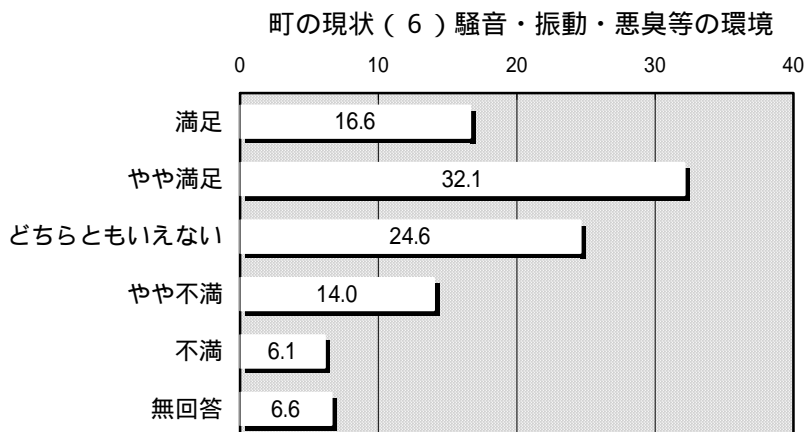


問3 町の現状 (6) 騒音・振動・悪臭等の環境

「やや満足」が32.1%、「どちらともいえない」24.6%、「満足」16.6%となっており、全体的には満足度が高い。

居住地別では、桃山町において「満足」が21.1%であり、やや満足度が高い。

年齢別では顕著な差はないが、18～29歳で「満足」19.9%と最も高くなっており、「やや満足」については50歳代が35.7%と最も高くなっている。

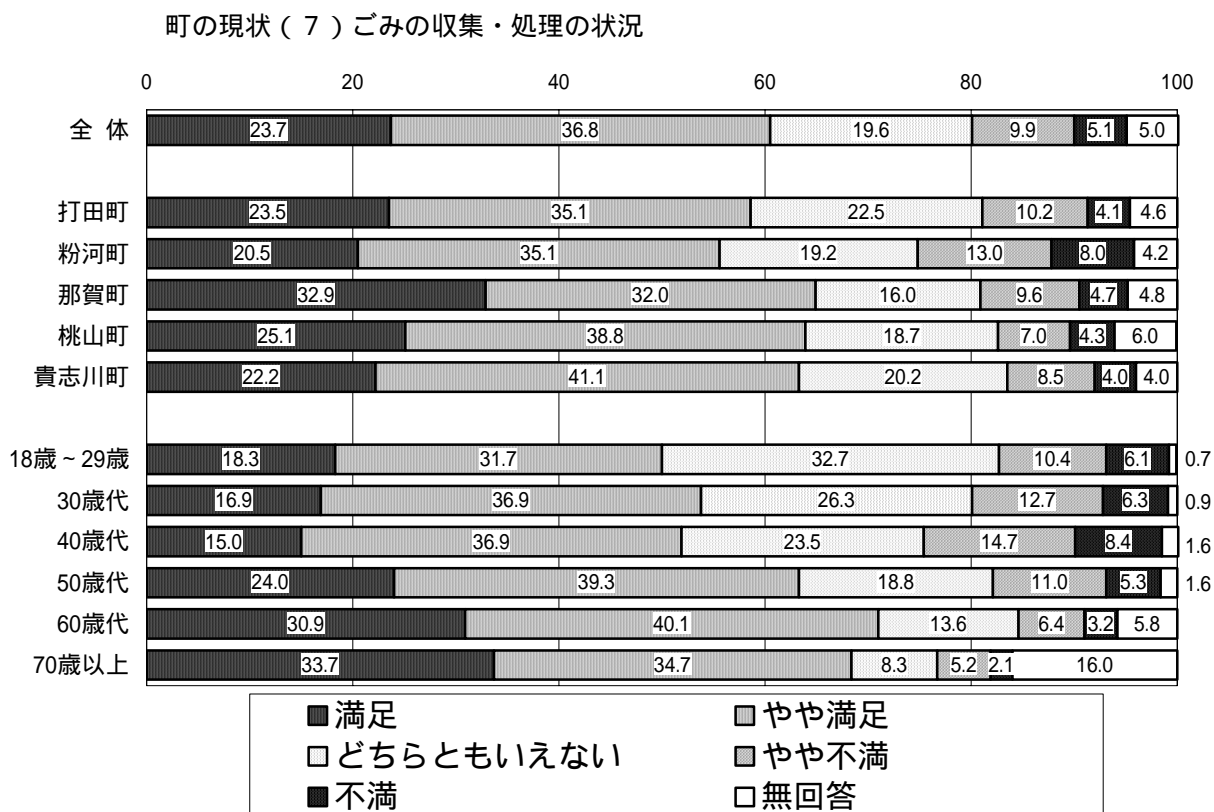
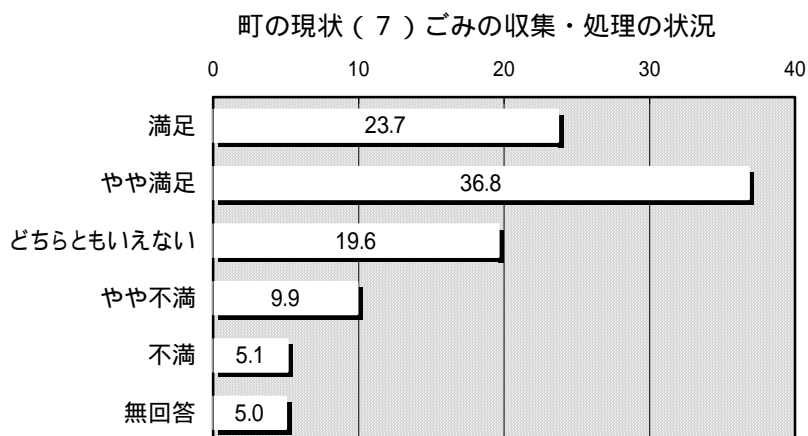


問3 町の現状 (7) ごみの収集・処理の状況

「やや満足」が36.8%で最も高く、「満足」の23.7%と合計すると61%の回答者が満足感を示しており、評価が高い。

居住地別では、那賀町において「満足」32.9%と最も高く、「やや満足」と合わせると65%の人が満足感をあらわしている。これに対して粉河町では「やや不満」(13.0%)、「不満」(8.0%)とともに5町の中で最も高く、相対的に評価が低い。

年齢別では、「満足」「やや満足」の合計が、50歳代以上で63~71%、50歳未満では50~54%であり、50歳を境目として評価が分かれている。

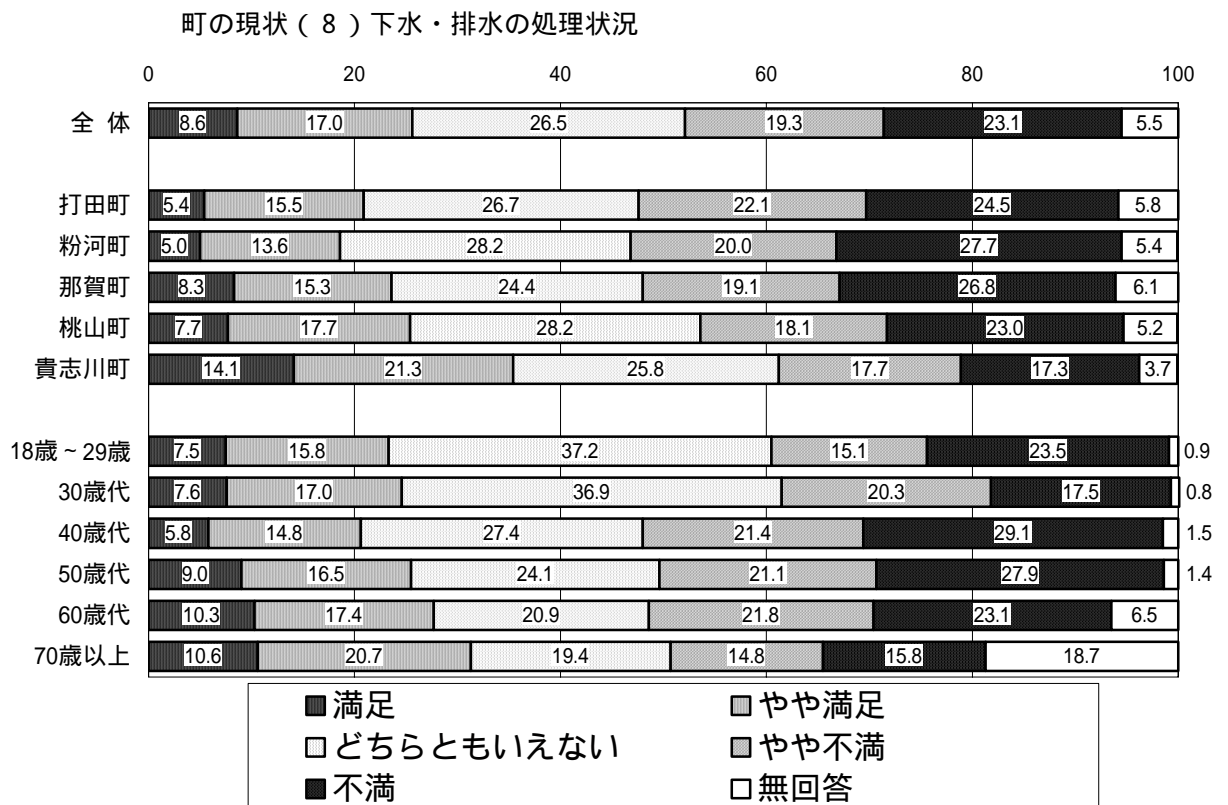
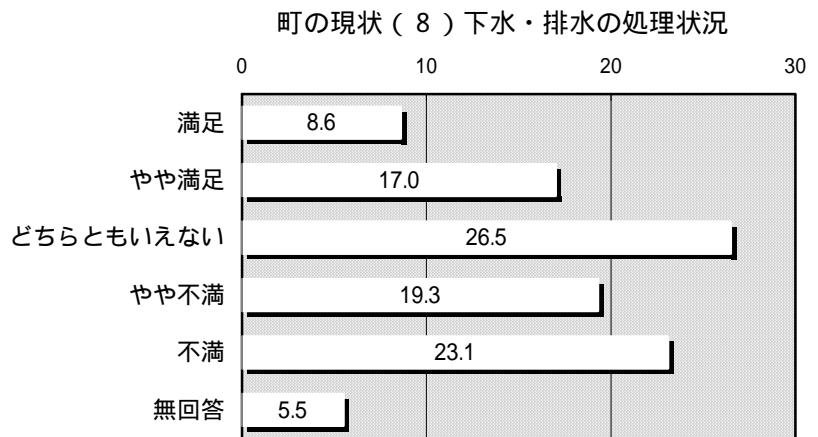


問3 町の現状 (8) 下水・排水の処理状況

「どちらともいえない」が26.5%であるが、これに「不満」23.1%と「やや不満」19.3%が続き、不満感が強い。

居住地別にみると、粉河町では「不満」が27.7%、打田町では「やや不満」が22.1%で、この2町で比較的不満感が強い。5町の中では貴志川町が最も不満感が弱くなっている。

年齢別では、「不満」が、40歳代で29.1%、50歳代27.9%と高くなっている。



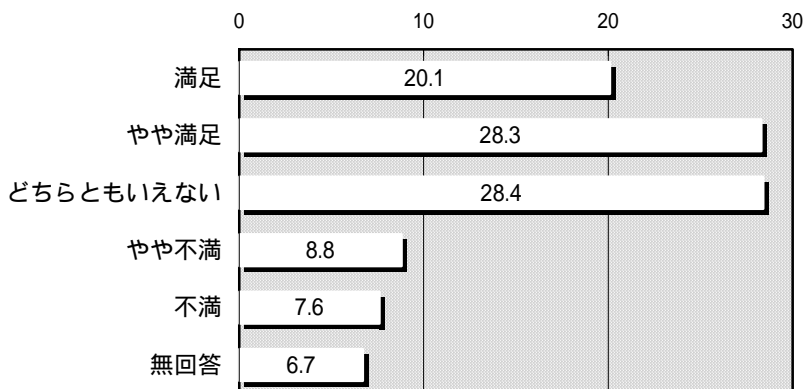
問3 町の現状 (9) 上水道の整備状況

「どちらともいえない」28.4%、「やや満足」28.3%、「満足」20.1%の順に高く、評価が高い項目であるといえる。

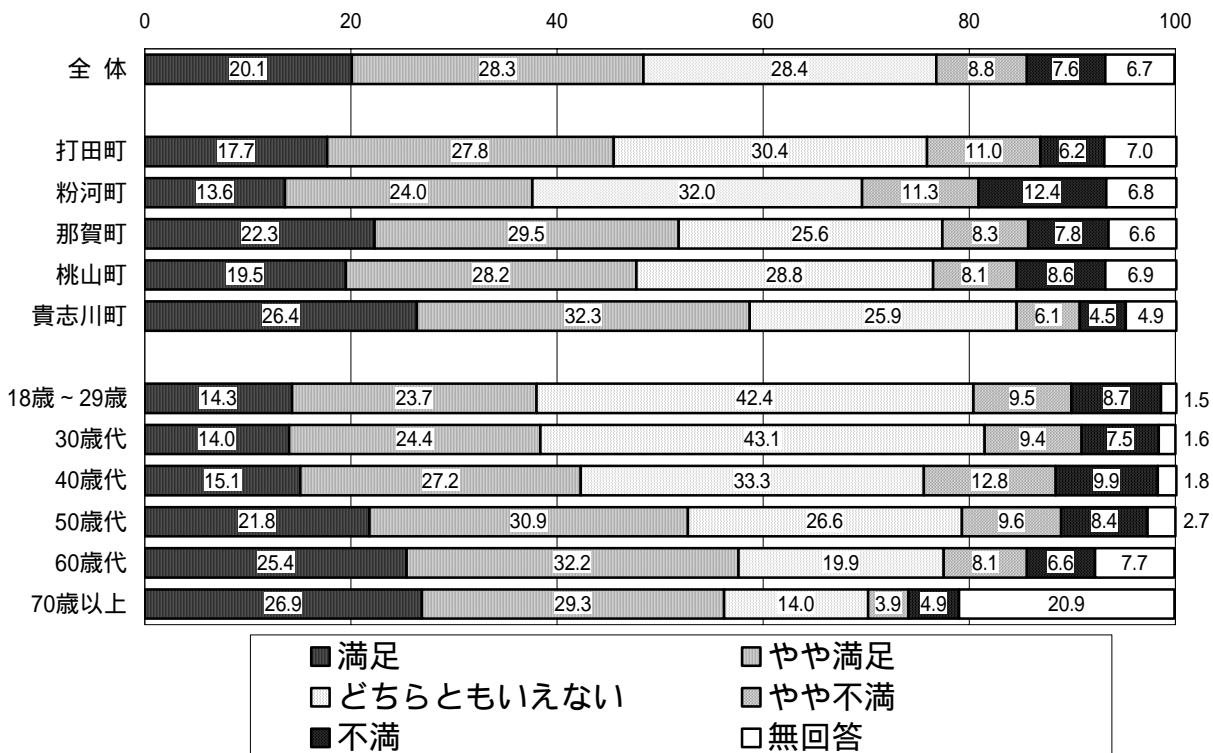
居住地別では、粉河町で比較的评价が低い。

年齢別では、「満足」「やや満足」の合計が、50歳代以上で53~58%、50歳未満では38~42%であり、50歳を境目として、これより上の層で評価が高くなっている。

町の現状(9) 上水道の整備状況



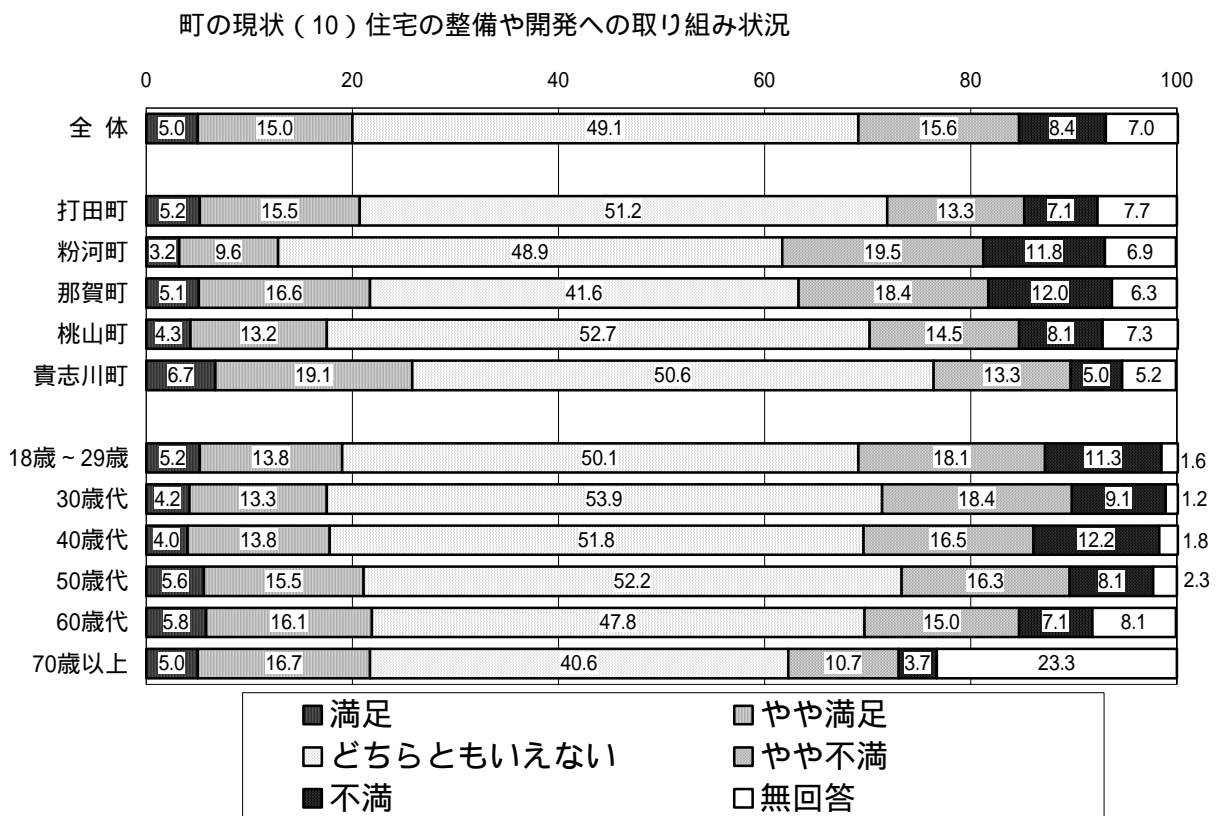
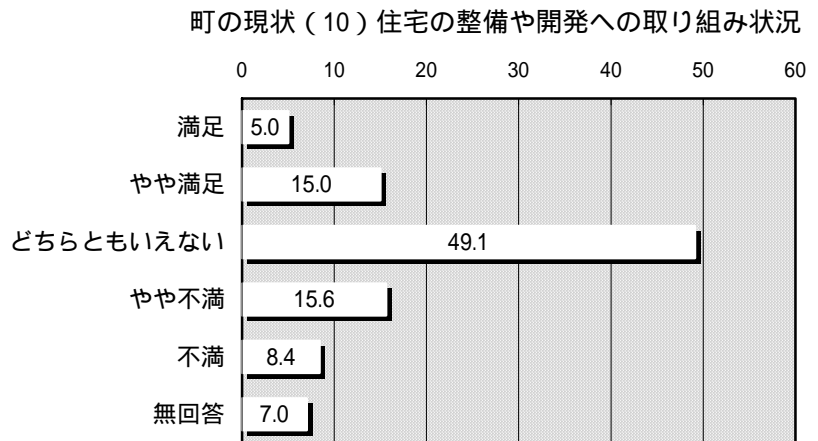
町の現状(9) 上水道の整備状況



問3 町の現状 (10) 住宅の整備や開発への取り組み状況

「どちらともいえない」が49.1%とほぼ半数を占め、明確な判断は下されていない。
 居住地別では、那賀町と粉河町で「不満」「やや不満」ともに全体よりもやや高くなっている。

年齢別には、顕著な差ではないが、18～29歳と40歳代で「不満」がやや高い。

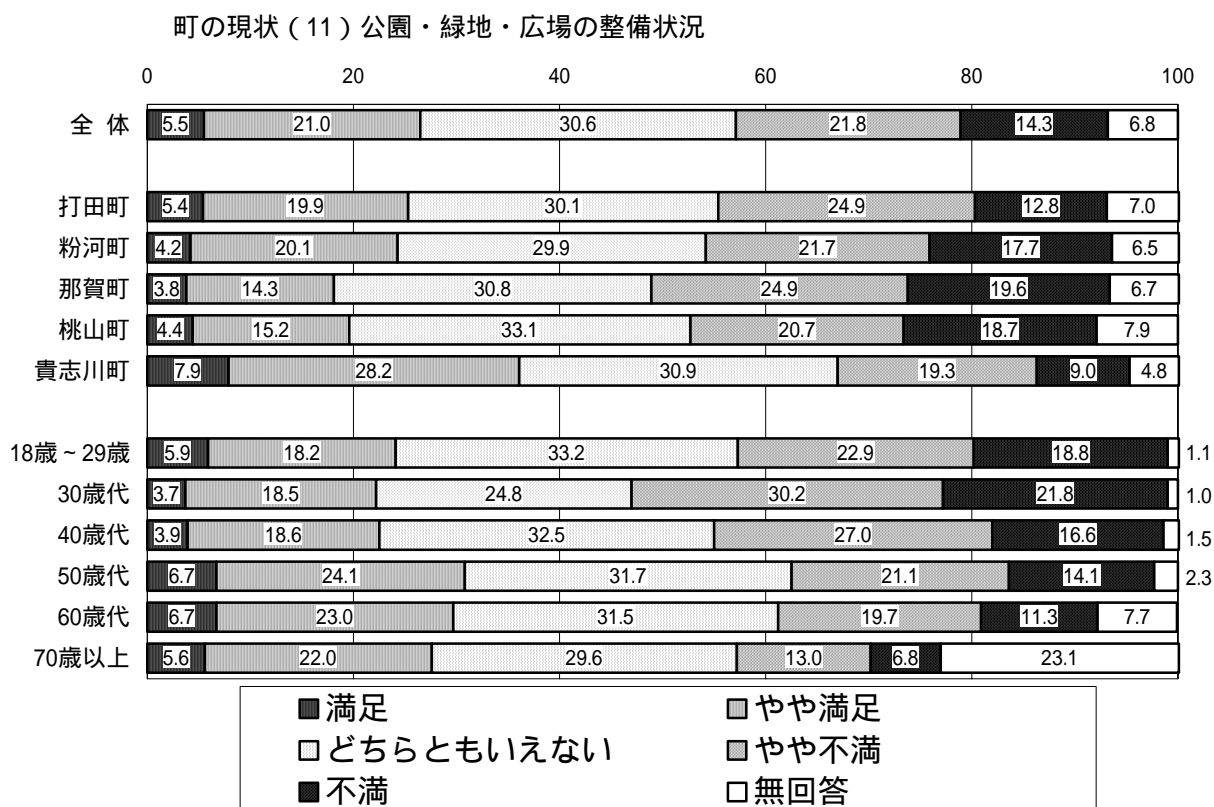
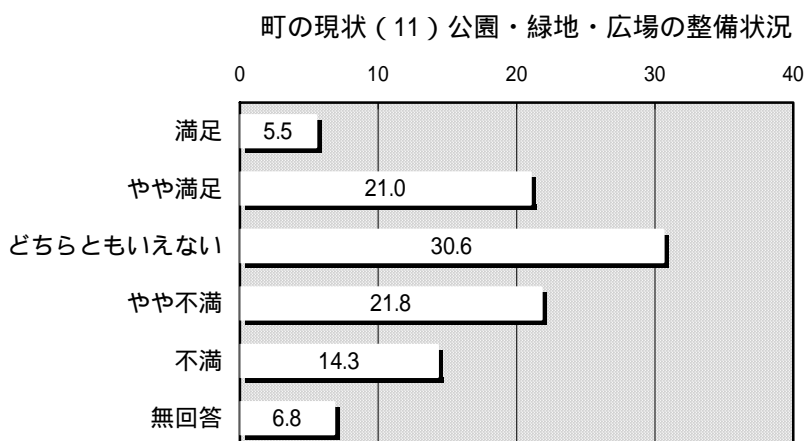


問3 町の現状 (11) 公園・緑地・広場の整備状況

「どちらともいえない」が30.6%で最も高く、これに「やや不満」21.8%と「やや満足」21.0%がほぼ同数で並ぶが、「不満」が14.3%で「満足」の5.5%を9ポイント上回り、全体的には、やや不満感がもたれている。

居住地別では、貴志川町のみは「不満」9.0%と低く、「満足」「やや満足」の合計値が「やや不満」「不満」の合計値を上回っている。

年齢別には30歳代における不満感が強く、「やや不満」は30.2%、「不満」は21.8%で全体をかなり上回っている。



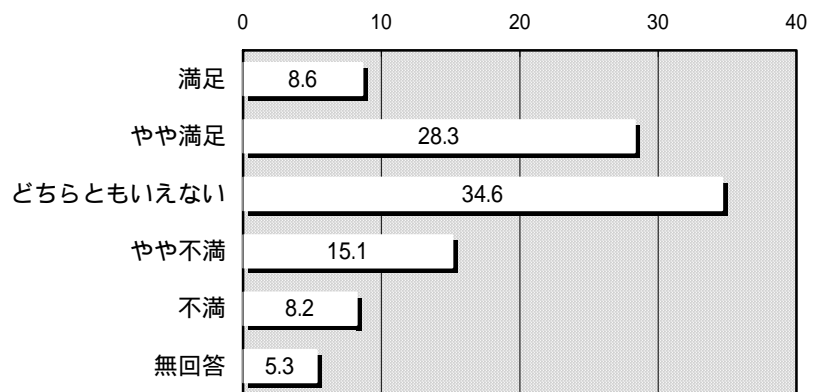
問3 町の現状 (12) 保健・医療サービスの状況

「どちらともいえない」が34.6%と最も高い。これに「やや満足」の28.3%が続くが、第3位は「やや不満」の15.1%となっている。

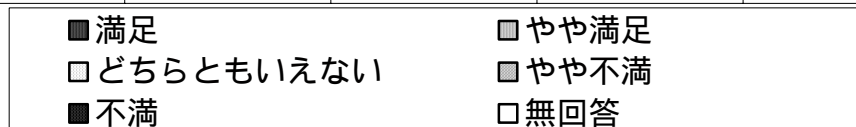
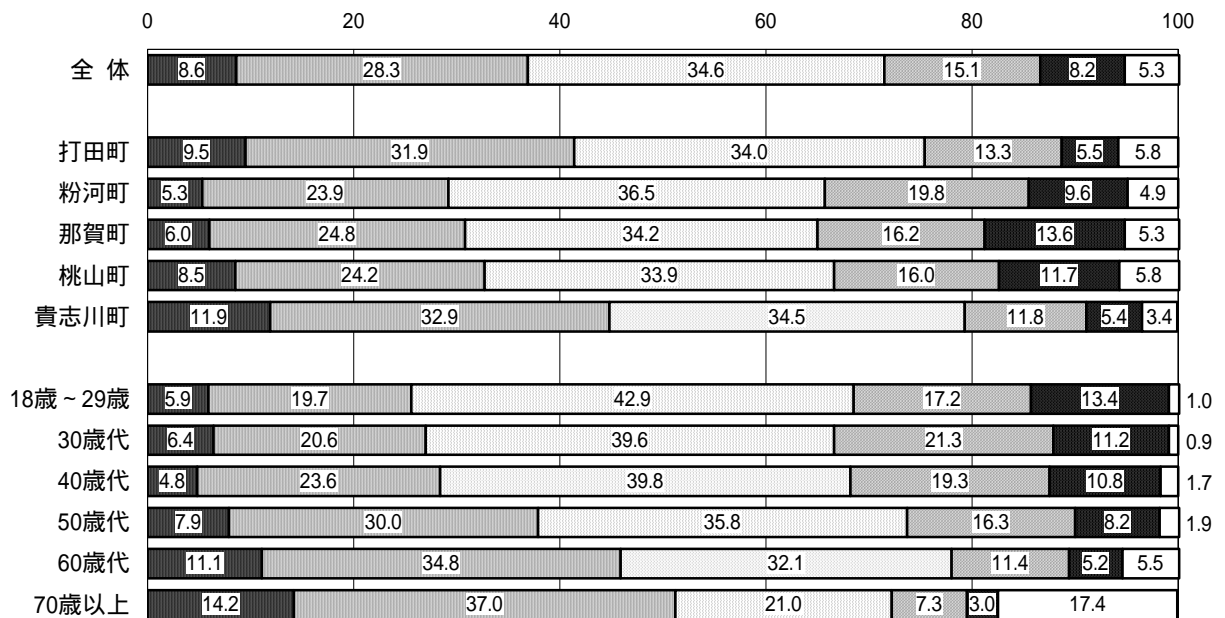
居住地別には、貴志川町と打田町で評価が高く、粉河町・那賀町・桃山町では評価が低くなっている。

年齢別では、「満足」「やや満足」の合計が、年代が上がるに従って高くなっている。「不満」の割合が最も高いのは18～29歳、「やや不満」の割合が最も高いのは30歳代である。

町の現状 (12) 保健・医療サービスの状況



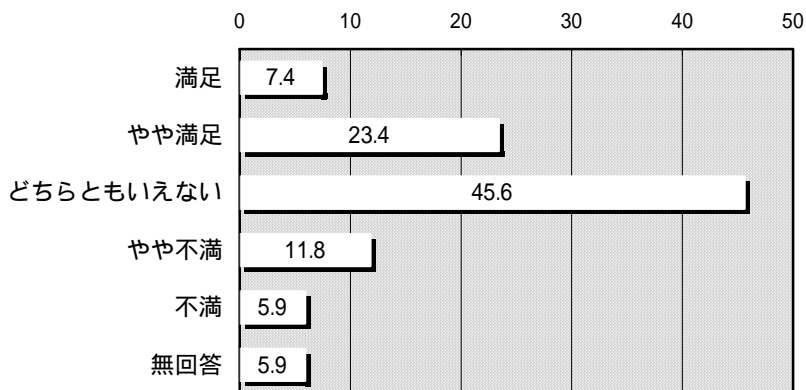
町の現状 (12) 保健・医療サービスの状況



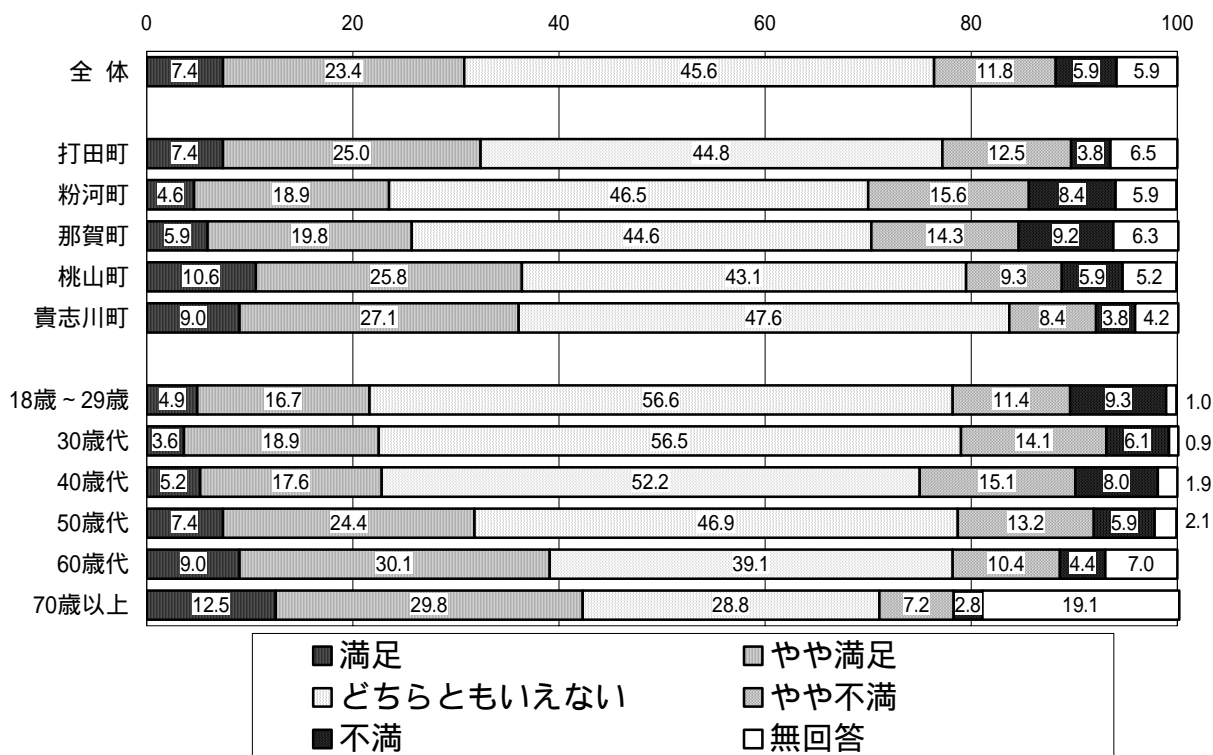
問3 町の現状 (13) 福祉サービスの状況

「どちらともいえない」が45.6%で最も高く、これに「やや満足」の23.4%が続いている。
 居住地別では、桃山町と貴志川町で評価が高く、粉河町と那賀町で評価が低い。
 年齢別では、「満足」「やや満足」の合計が、年代が上がるに従って高くなっている。

町の現状 (13) 福祉サービスの状況



町の現状 (13) 福祉サービスの状況



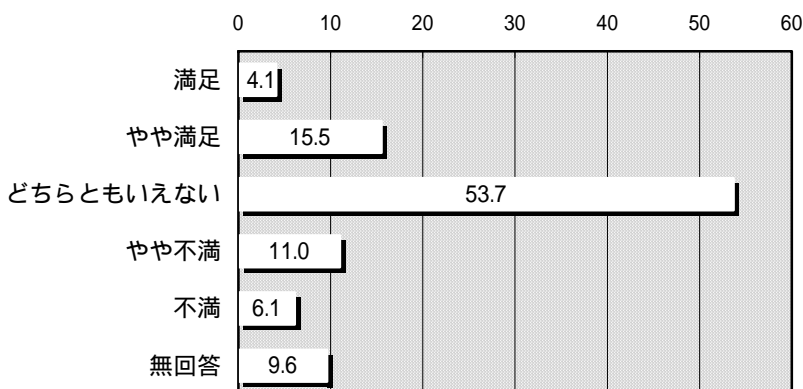
問3 町の現状 (14) 子育て支援の状況

「どちらともいえない」が53.7%で、過半数となっている。「やや満足」は15.5%、「やや不満」は11.0%で全体的には中立的な評価であるといえる。

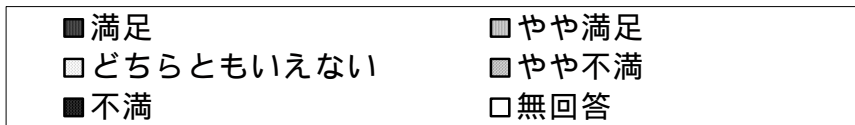
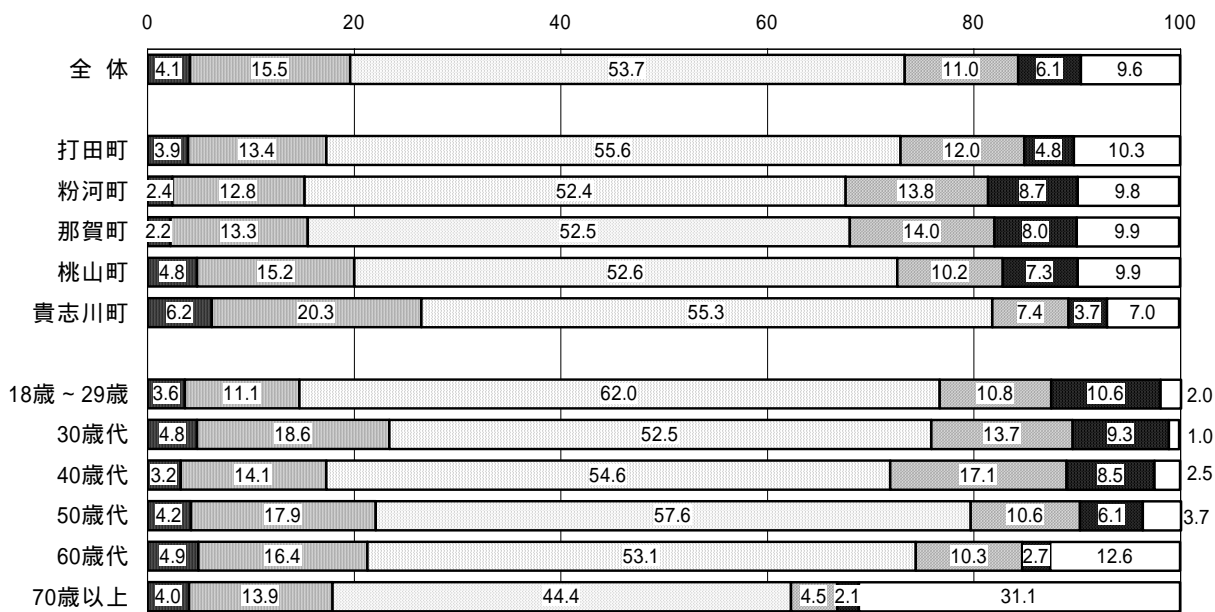
居住地別では、貴志川町では「やや満足」が20.3%であり、やや評価が高い。

年齢別にみると、子育ての中心世代に該当する30歳代では「やや満足」18.6%と全体よりやや評価が高い。40歳代では「やや不満」が17.1%と最も高くなっている。

町の現状 (14) 子育て支援の状況



町の現状 (14) 子育て支援の状況



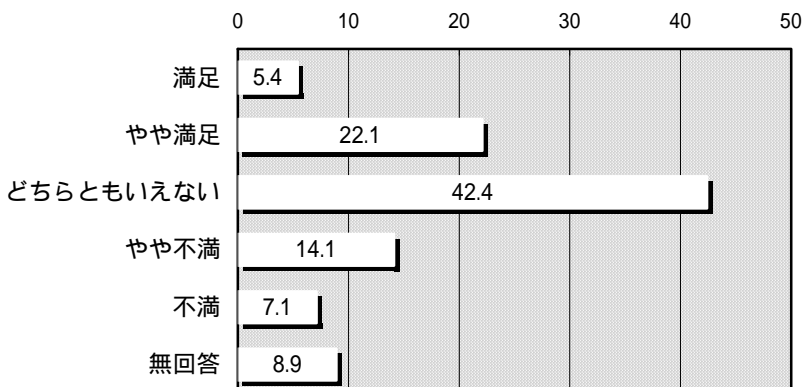
問3 町の現状 (15) 子どもの教育環境

「どちらともいえない」が42.4%、これに「やや満足」の22.1%が続く。

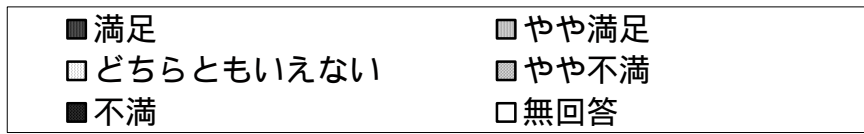
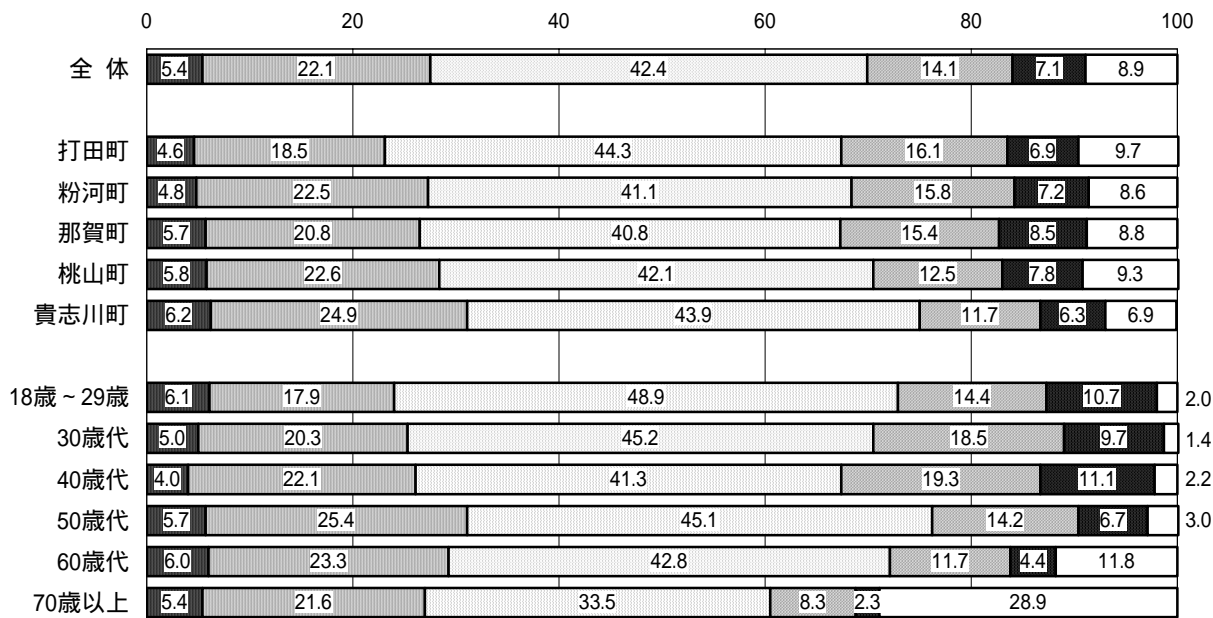
居住地別では、顕著な差はみられない。

年齢別では、育ち盛りの子どもを持つ中心年代である30歳代と40歳代では「不満」「やや満足」ともに全体より高く、やや評価が厳しい。

町の現状 (15) 子どもの教育環境



町の現状 (15) 子どもの教育環境



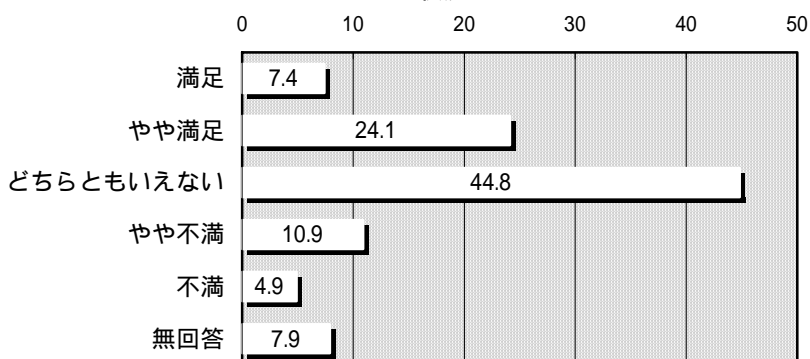
問3 町の現状 (16) 生涯学習活動や芸術・文化活動支援の状況

「どちらともいえない」が44.8%と最も高いが、「やや満足」は24.1%で、「やや不満」の10.9%の倍以上の支持であり、どちらかといえば肯定的評価であるといえる。

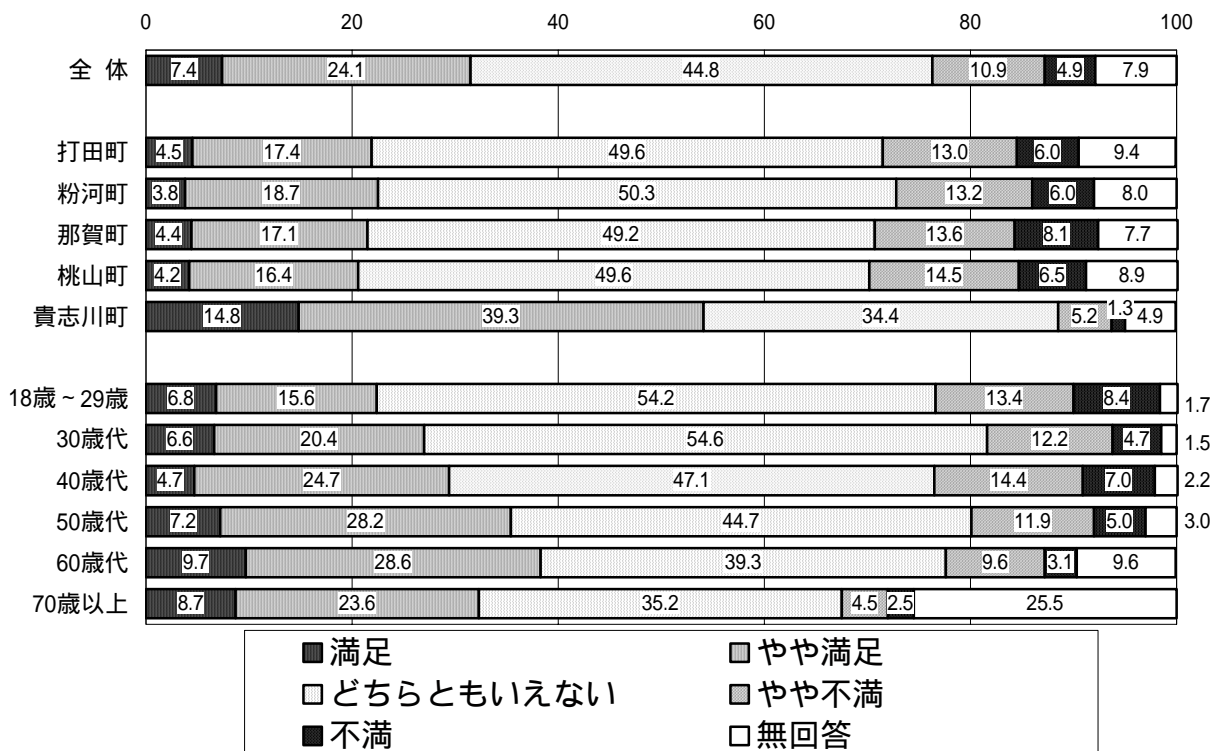
居住地別にみると、貴志川町の評価が際立って高く、「満足」とする回答者は全体の2倍の支持、「やや満足」とする回答者は全体を15ポイントも上回っている。

年齢別には、おおむね年代が上がるほどに高評価となっている。

町の現状 (16) 生涯学習活動や芸術・文化活動支援の状況



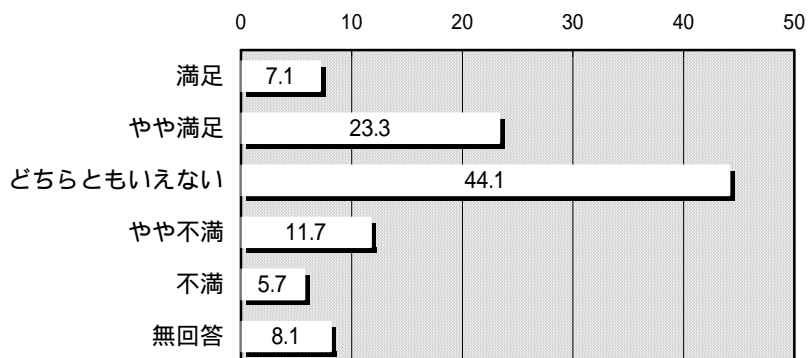
町の現状 (16) 生涯学習活動や芸術・文化活動支援の状況



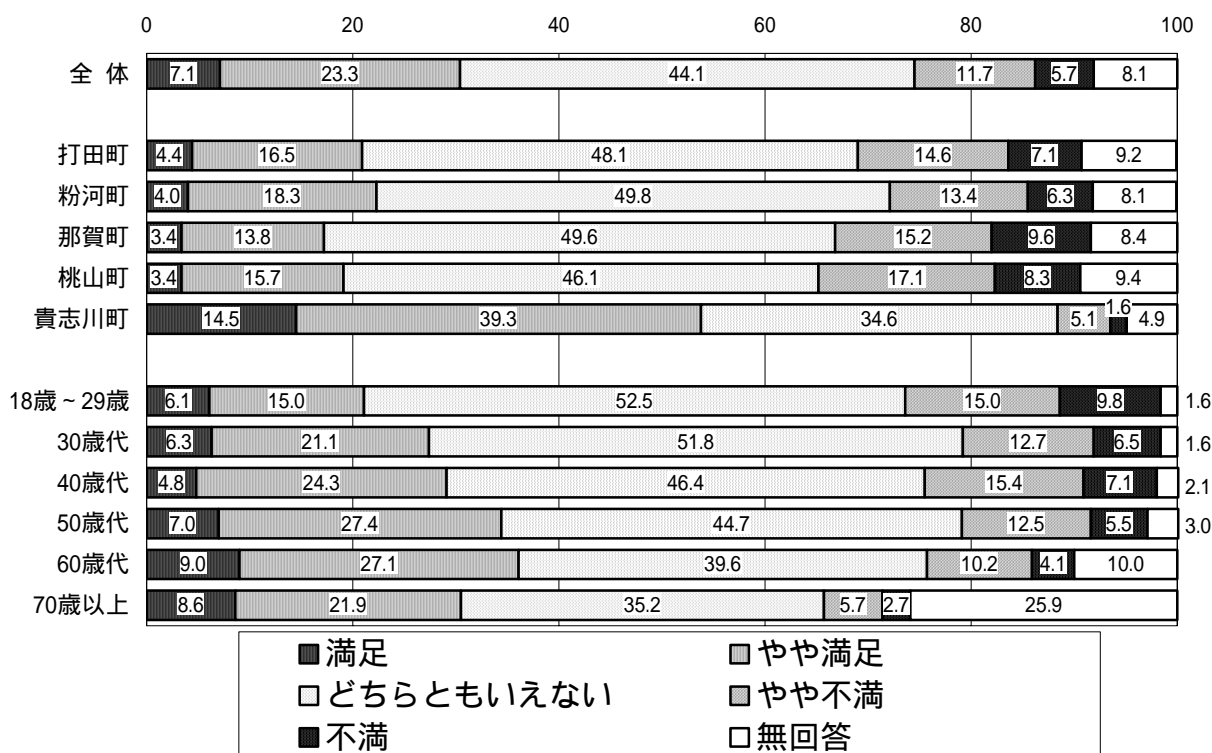
問3 町の現状 (17) 生涯学習活動や芸術・文化活動施設整備の状況

「どちらともいえない」が44.1%と最も高く、これに「やや満足」の23.3%、「やや不満」の11.7%が続き、前問の支援施策と同様、どちらかといえば肯定的評価であるといえる。居住地別の傾向も前問と似ており、貴志川町における評価が高い。年齢別もまた、おおむね年代が上がるほどに評価が高くなる傾向である。

町の現状 (17) 生涯学習活動や芸術・文化活動施設整備の状況



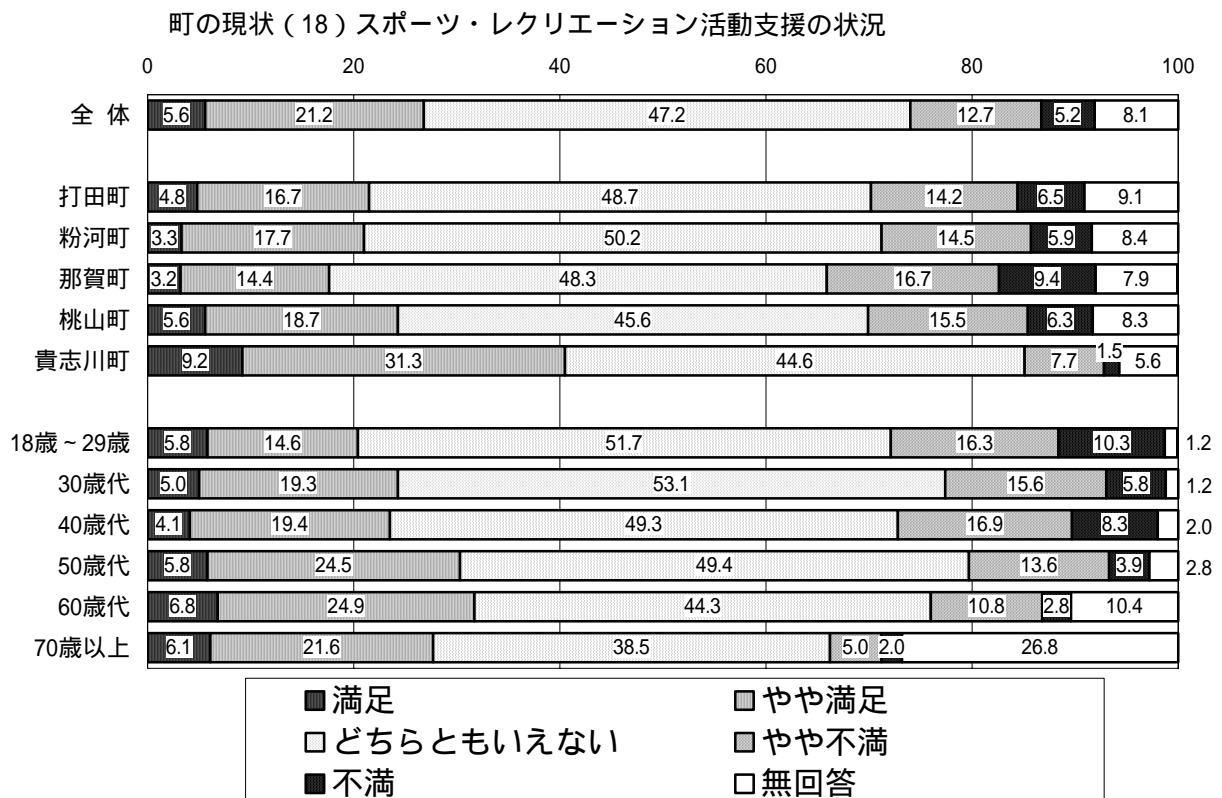
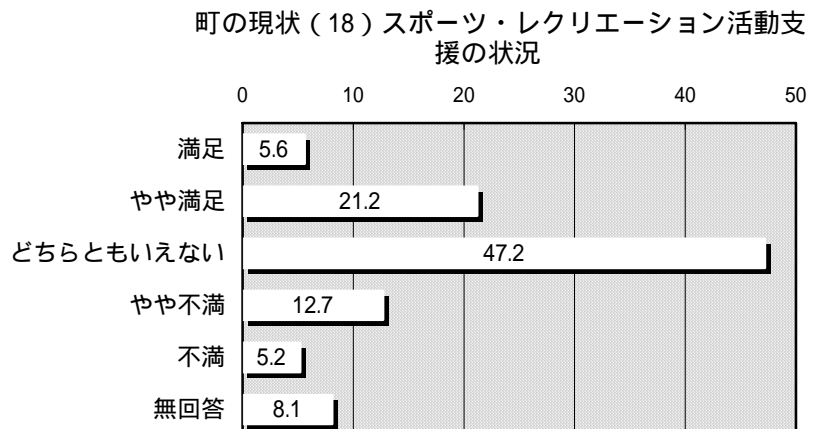
町の現状 (17) 生涯学習活動や芸術・文化活動施設整備の状況



問3 町の現状 (18) スポーツ・レクリエーション活動支援の状況

「どちらともいえない」が47.2%と半数近い。これに「やや満足」21.2%が続き、「やや不満」の12.7%と比較すると、やや肯定的評価であるといえる。

居住地別では、貴志川町で「やや満足」が全体を10ポイント上回り、評価が高い。年齢別には、年代が上がるに従って評価がやや高くなる傾向にある。

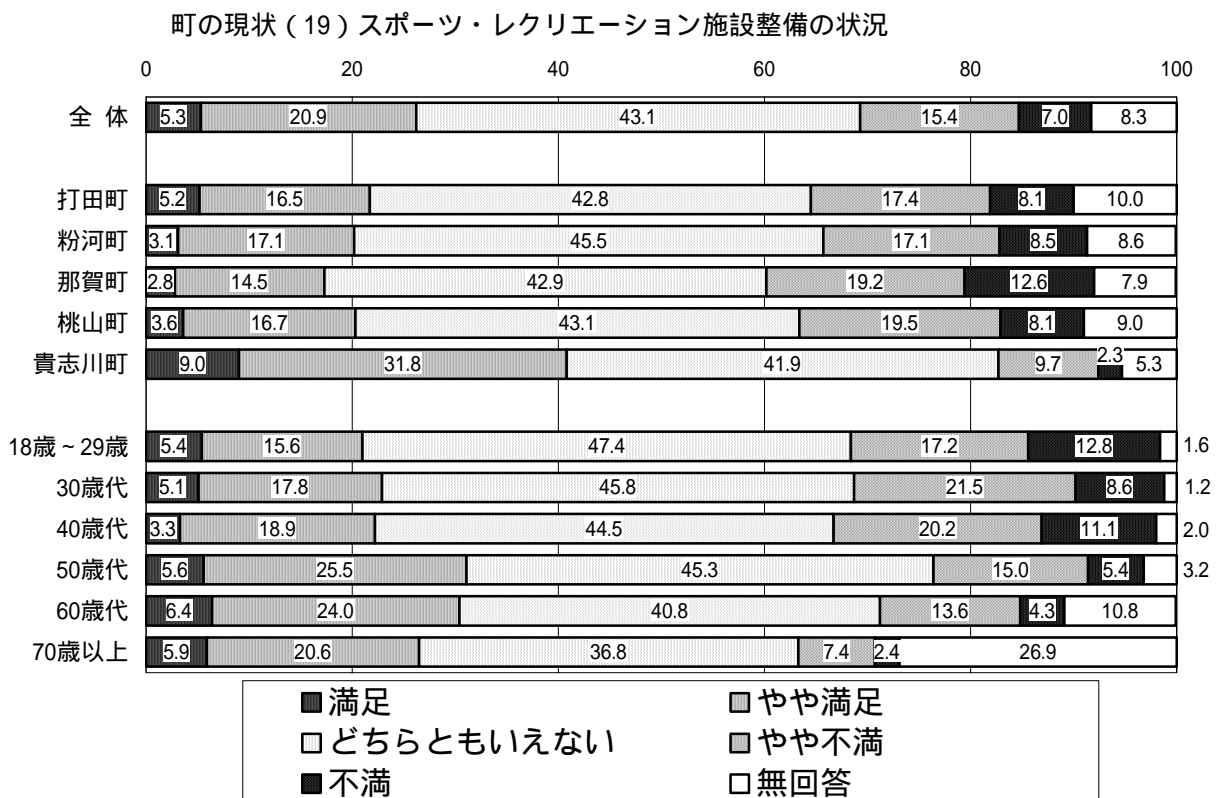
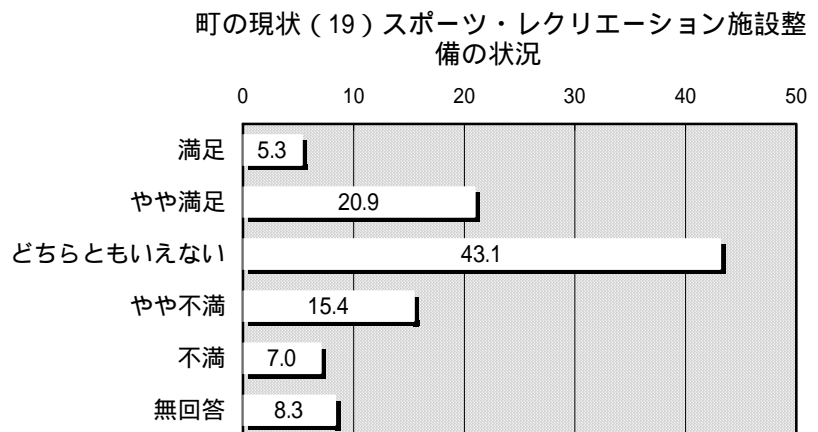


問3 町の現状 (19) スポーツ・レクリエーション施設整備の状況

「どちらともいえない」が 43.1%、これに「やや満足」20.9%、「やや不満」15.4%と続く。

居住地別では、貴志川町で「満足」「やや満足」ともに高い。

年齢別では、50歳未満の層で、評価がやや厳しい。



問3 町の現状 (20) 男女平等意識や女性の社会参画の状況

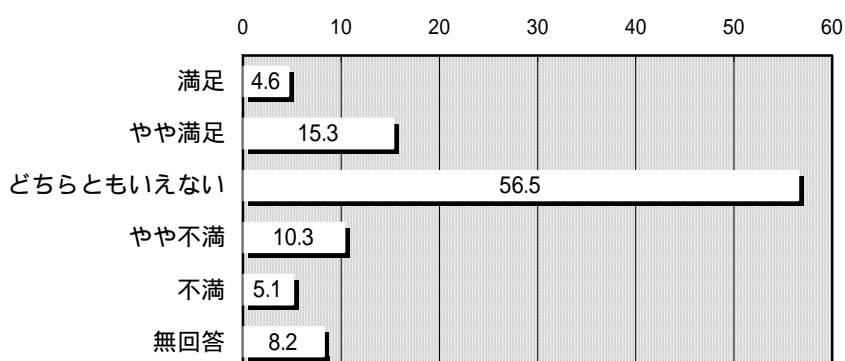
「どちらともいえない」が56.5%と過半数になっており、これに「やや満足」15.3%、「やや不満」10.3%と続くことから、全体的には中立的判断であるといえる。

居住地別では、貴志川町で評価がやや高い。

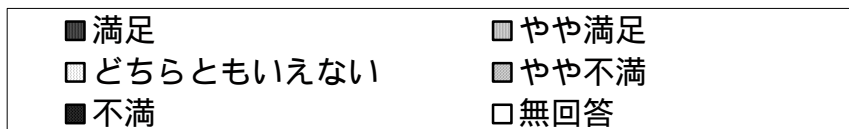
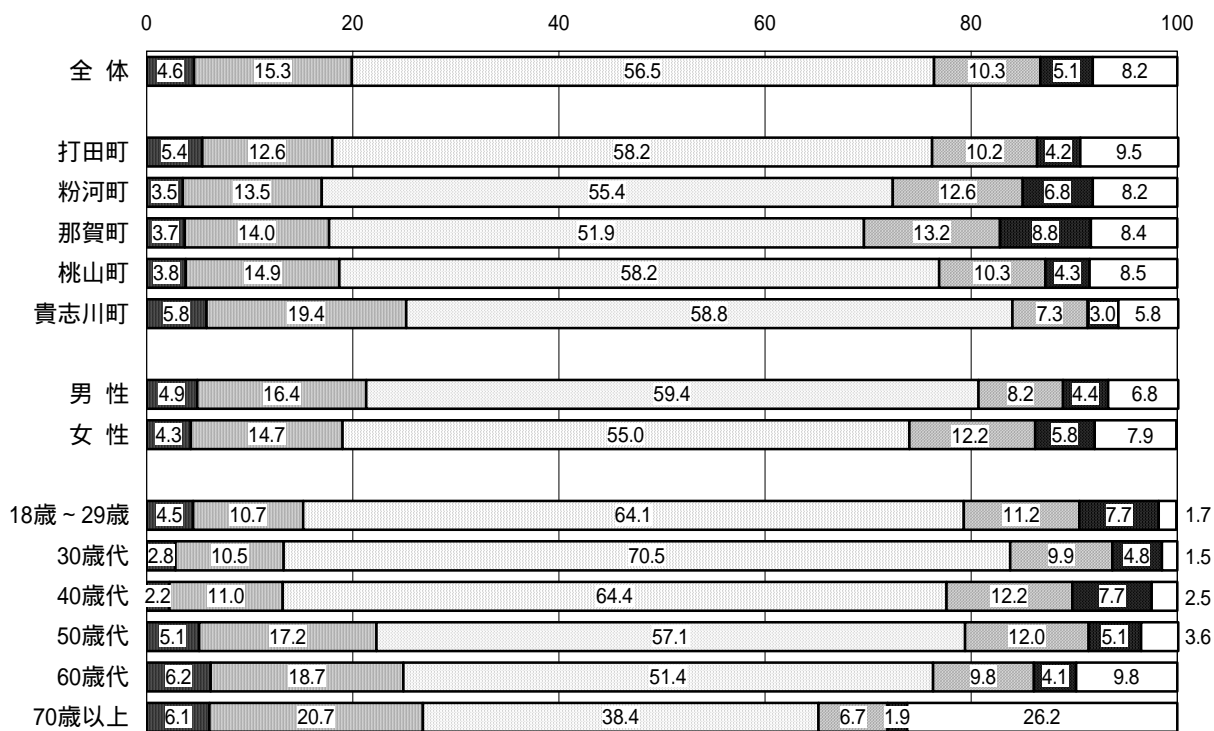
性別では、女性は「やや満足」について男性より2ポイント低く、また「やや不満」は4ポイント高くなっている。

年齢別には、50歳未満の層で「やや満足」が低くなっている。

町の現状 (20) 男女平等意識や女性の社会参画の状況



町の現状 (20) 男女平等意識や女性の社会参画の状況



問3 町の現状 (21) 農林業、商工業の振興状況

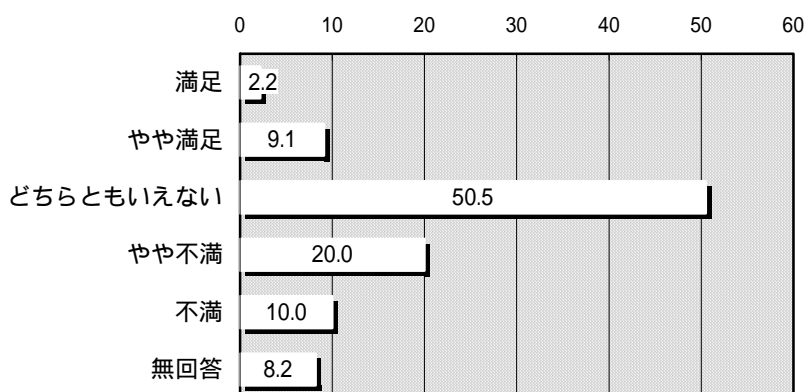
「どちらともいえない」が50.5%と約半数であるが、第2位は「やや不満」の20.0%、第3位が「不満」の10.0%であることから、やや厳しい評価であるといえる。

居住地別にみると、「満足」「やや満足」には大きな差はないが、「やや不満」と「不満」では那賀町と粉河町で高く、評価が厳しい。

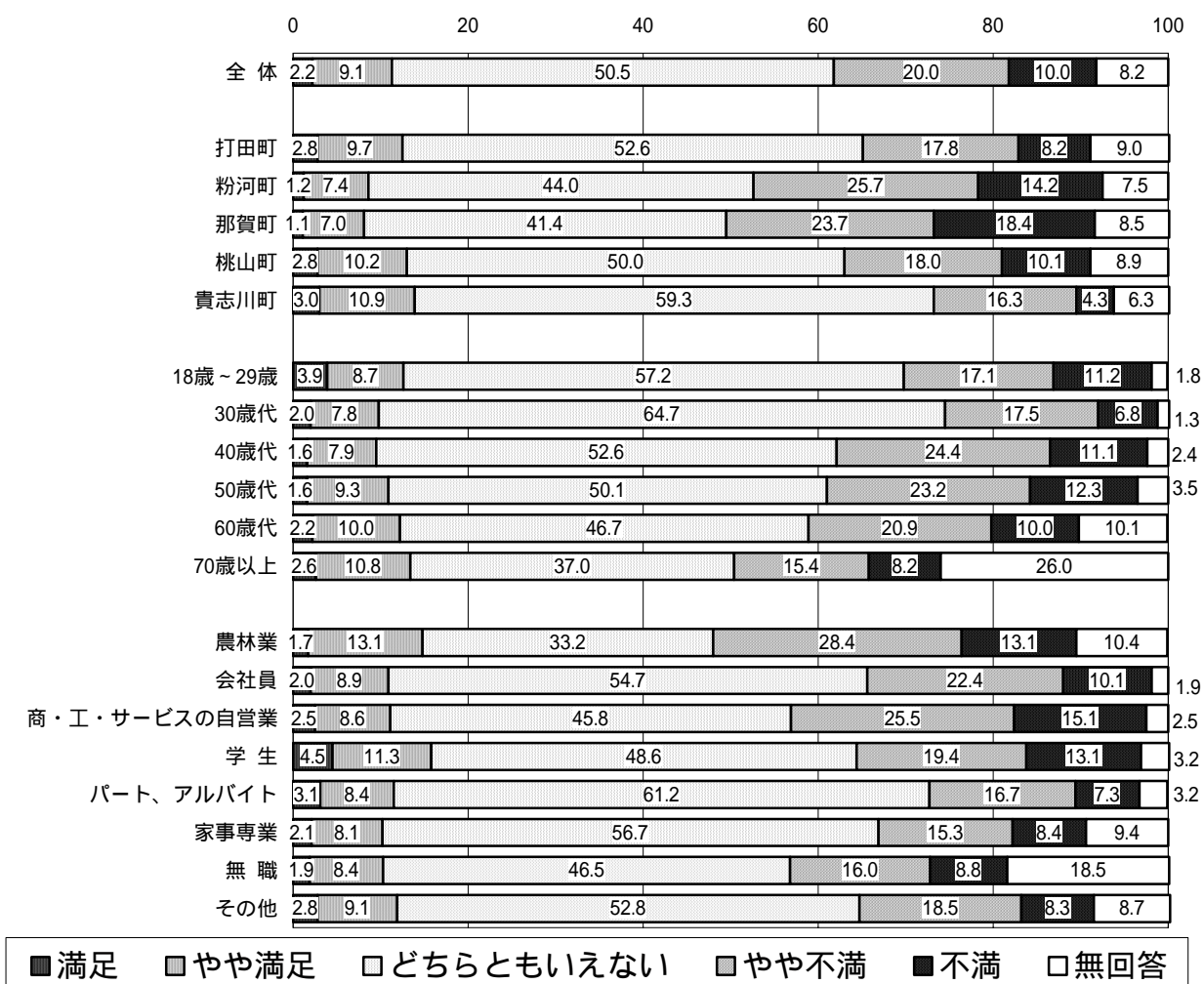
年齢別には、40歳代と50歳代で「やや不満」が高くなっている。

職業別にみると、農林業および商・工・サービスの自営業では、「不満」がそれぞれ13.1%、15.1%と評価がやや厳しくなっている。「やや不満」についても、農林業では28.4%となっており、全体を8ポイント上回っている。

町の現状 (21) 農林業、商工業の振興状況



町の現状 (21) 農林業、商工業の振興状況



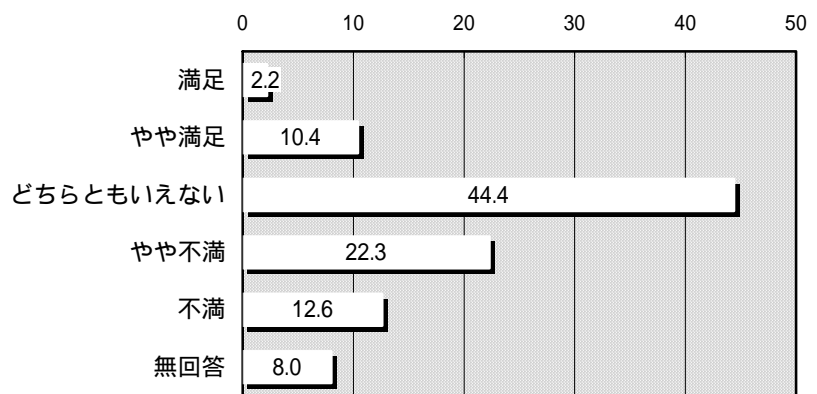
問3 町の現状 (22) 観光の振興状況

「どちらともいえない」が44.4%であるが、「やや不満」22.3%、「不満」12.6%がこれに次ぎ、比較的不満感が高い。

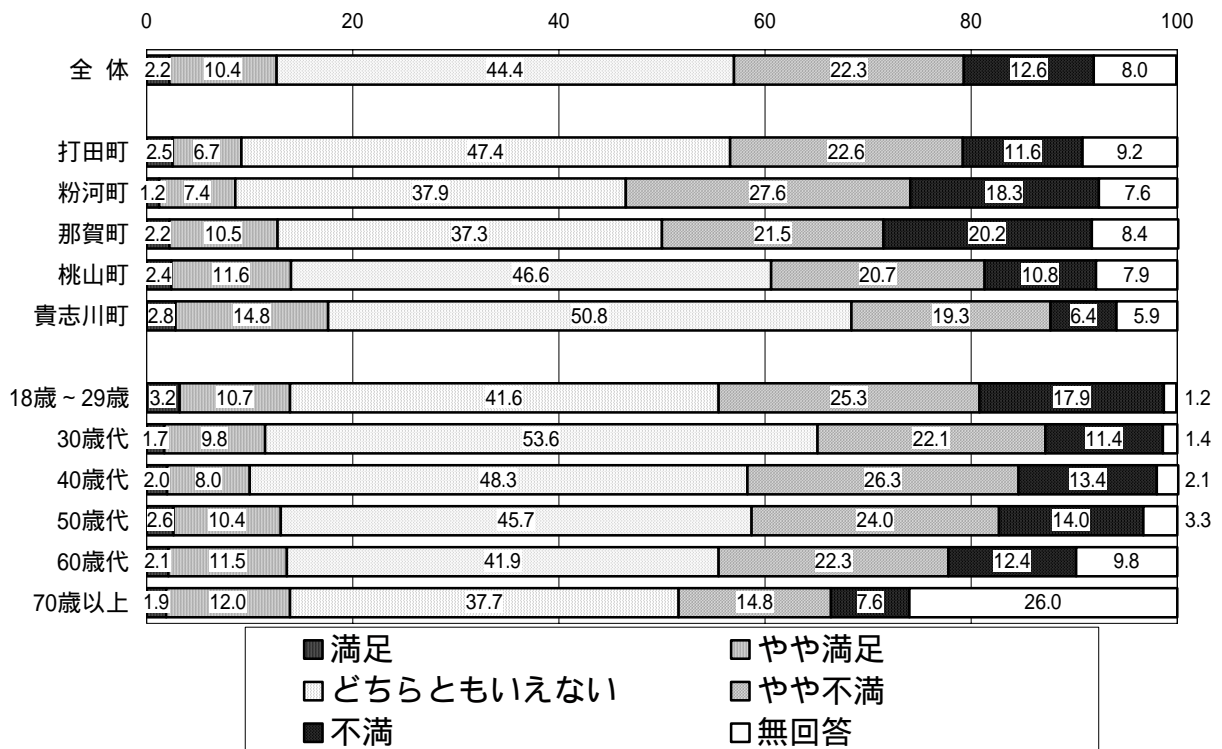
居住地別では、粉河町と那賀町において評価が厳しく、粉河町では46%の回答者が、また那賀町では42%の回答者が何らかの不満感を抱いている。

年齢別には、顕著な差はみられない。

町の現状 (22) 観光の振興状況



町の現状 (22) 観光の振興状況



問3 町の現状 (23) 働きがいのある就業機会の状況

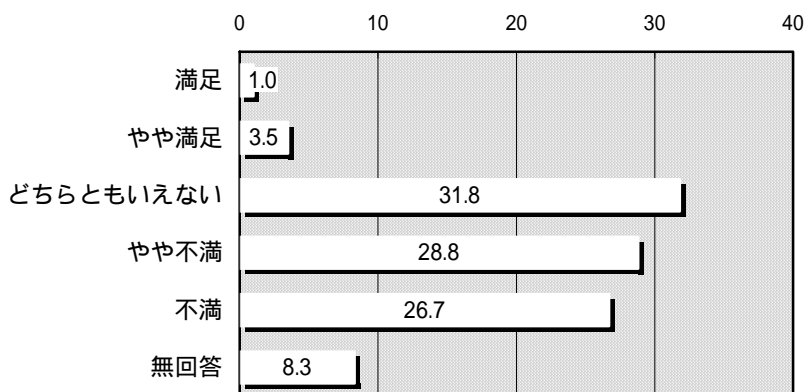
「どちらともいえない」が31.8%と最も高くなってはいるものの、第2位は「やや不満」28.8%、第3位は「不満」26.7%で、この2者の合計は56%に上り、不満感が高い。

居住地別では、「やや不満」には大差はないが、「不満」については那賀町で36.8%、粉河町で31.9%と高くなっている。

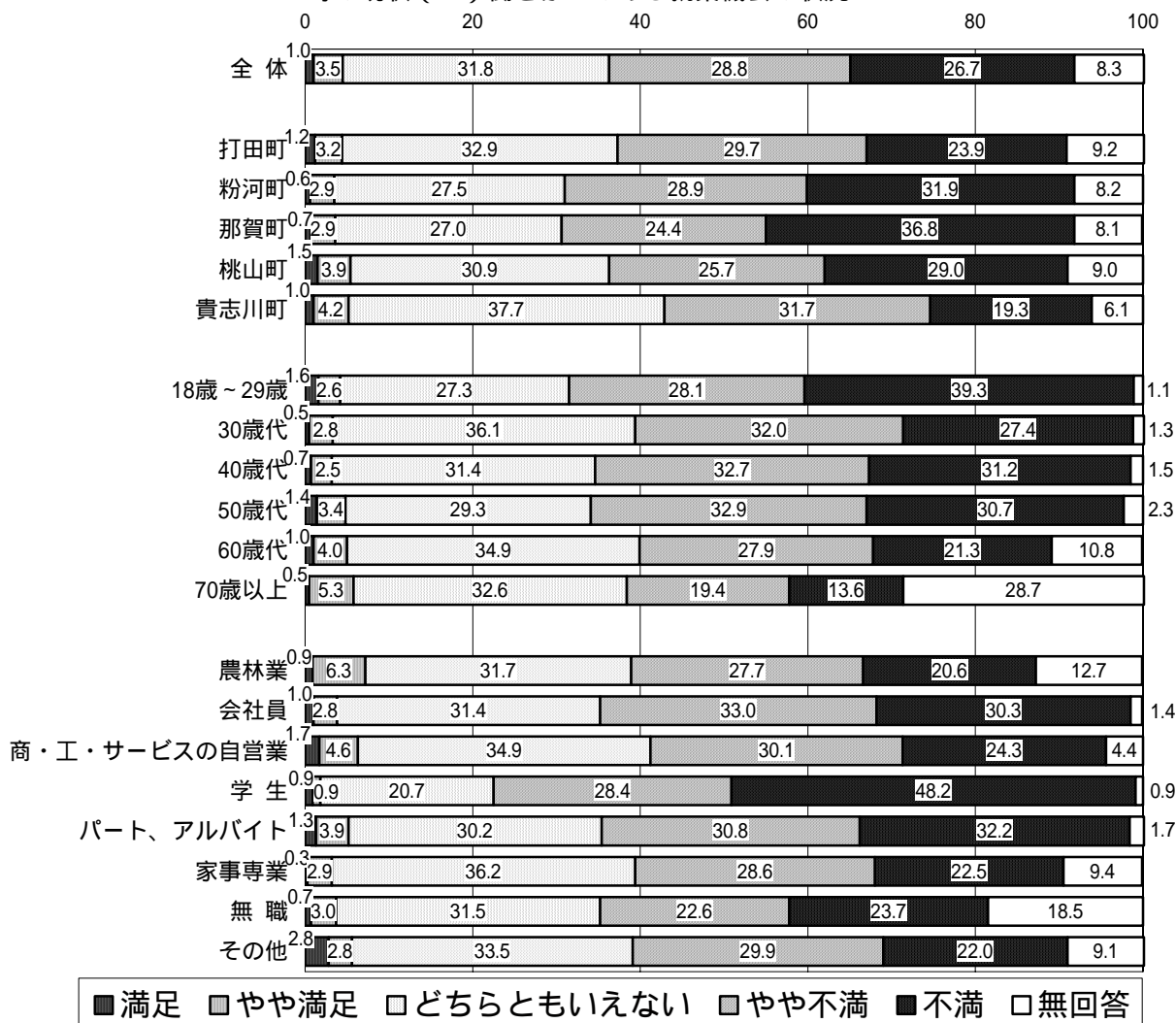
年齢別では18～29歳の若年層で、39.3%の回答者が「不満」としている。

職業別では、学生において「不満」が48.2%と、きわめて厳しい評価が下されている。

町の現状(23) 働きがいのある就業機会の状況



町の現状(23) 働きがいのある就業機会の状況



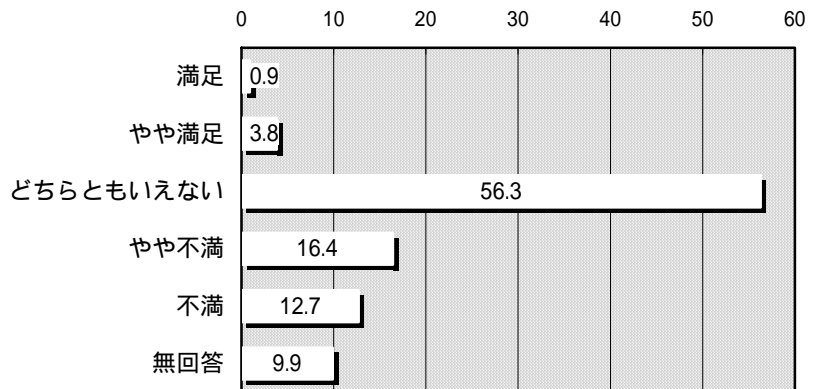
問3 町の現状 (24) 国内外との交流活動

「どちらともいえない」が 56.3%であるが、「やや不満」16.4%、「不満」12.7%と続き、やや厳しい評価である。

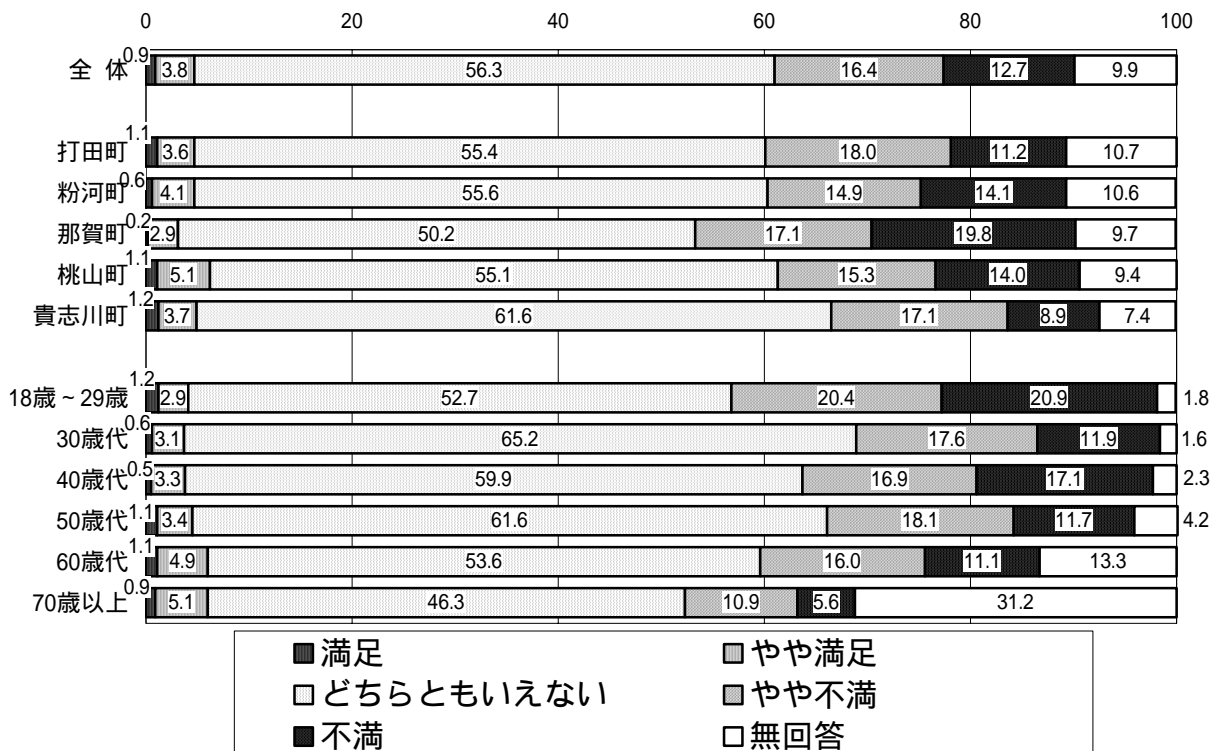
居住地別では、那賀町において「不満」が 19.8%と高い。

年齢別には、18～29 歳において「やや不満」「不満」ともに高くなっている。

町の現状 (24) 国内外との交流活動



町の現状 (24) 国内外との交流活動



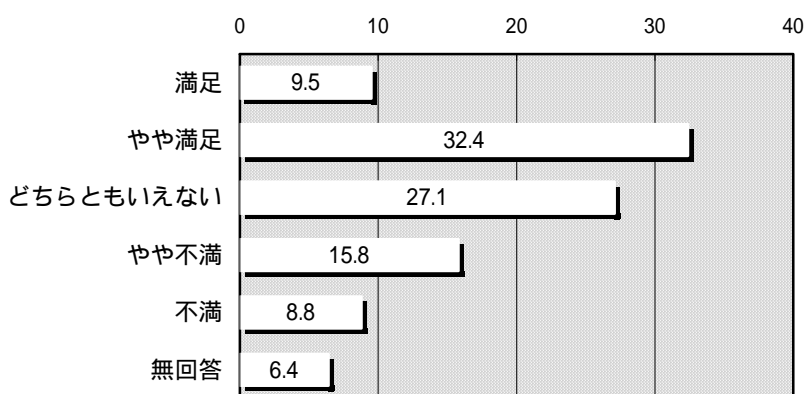
問3 町の現状 (25) 食品や日常物資の選択の豊かさ

「やや満足」が32.4%と最も高くなっている。「満足」の9.5%と合計すると42%となり、「やや不満」「不満」を合計した25%をかなり上回る。

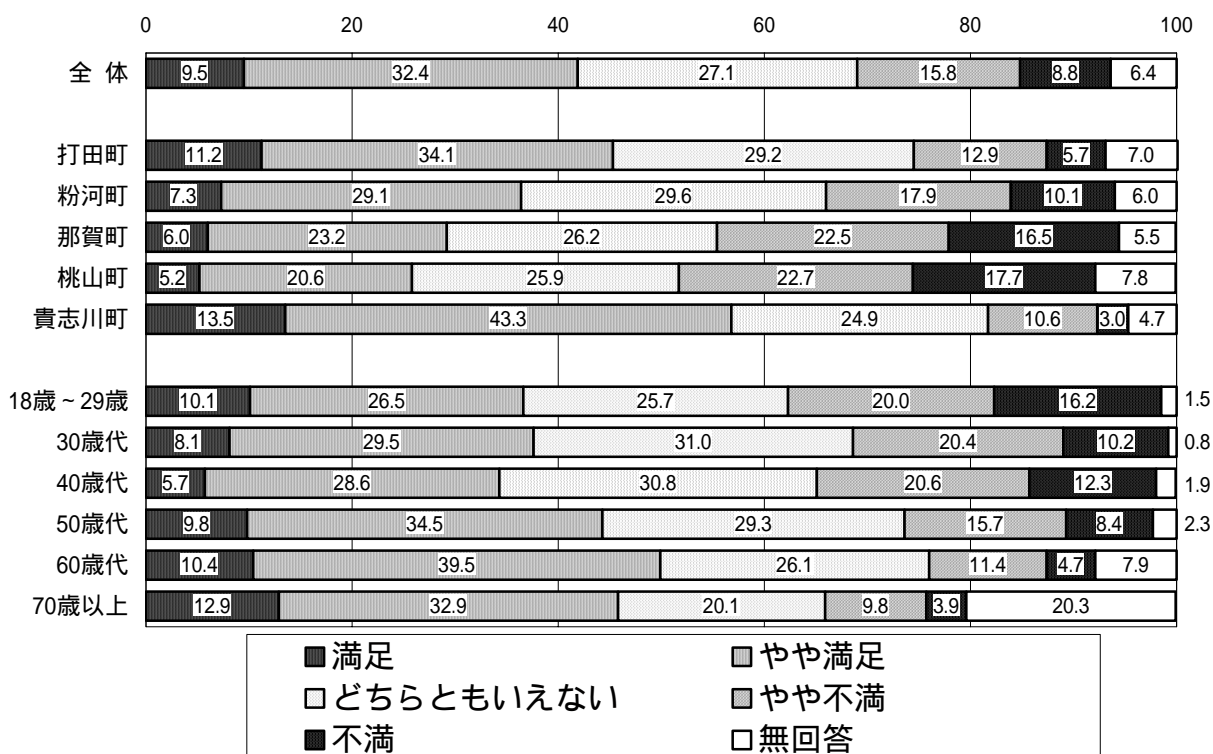
居住地別では、貴志川町が「やや満足」「満足」ともに全体をかなり上回っている。一方、桃山町と那賀町では「やや不満」「不満」ともに高い。

年齢別では、50歳未満の層で「やや不満」「不満」ともに全体を上回っている。

町の現状 (25) 食品や日常物資の選択の豊かさ



町の現状 (25) 食品や日常物資の選択の豊かさ



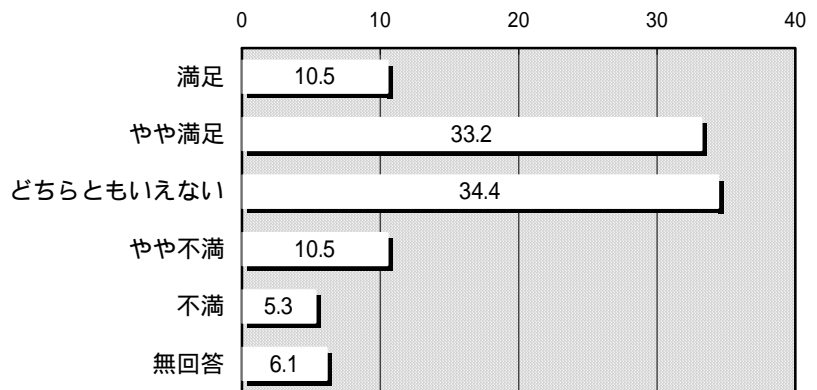
問3 町の現状 (26)人情味や地域の連帯感

「どちらともいえない」が34.4%で1位であるが、第2位の「やや満足」は33.2%で僅差に迫っており、満足度が高い。

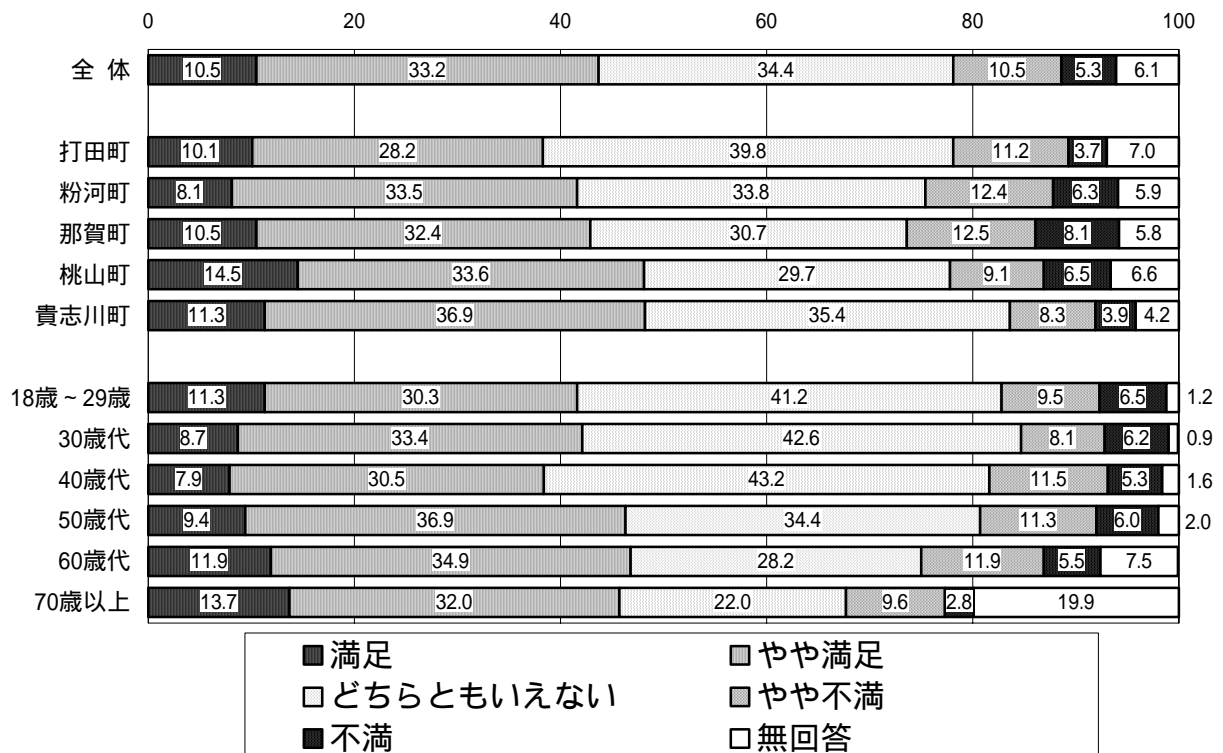
居住地別には、桃山町と貴志川町で「満足」「やや満足」の合計値がやや高いが、全体的には顕著な差はない。

年齢別には、40歳代で満足度がやや低いが、顕著な差はみられない。

町の現状(26)人情味や地域の連帯感



町の現状(26)人情味や地域の連帯感



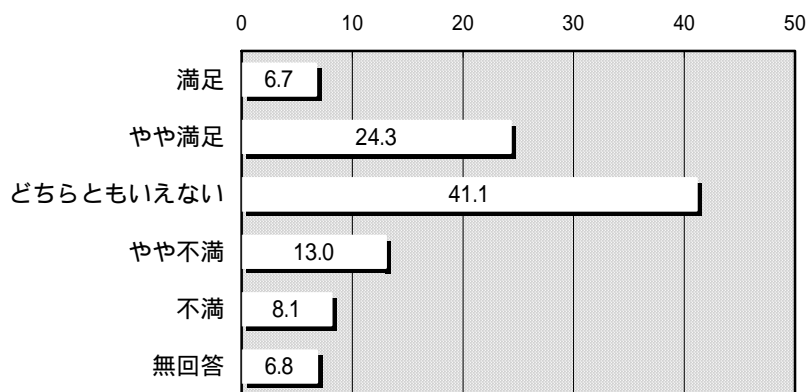
問3 町の現状 (27) 行政情報や催事情報の提供状況

「どちらともいえない」が41.1%と最も高く、これに「やや満足」の24.3%が続く。「満足」「不満」は両方とも低く、全体的には比較的満足度が高いといえる。

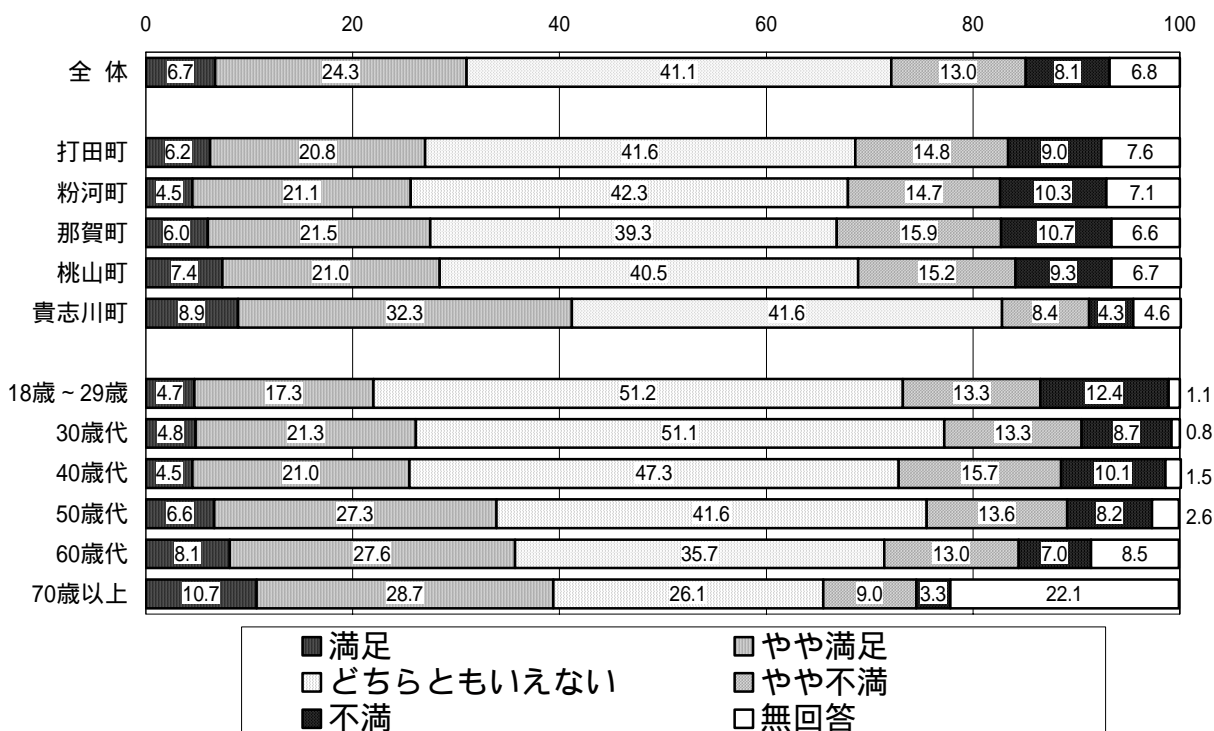
居住地別には、貴志川町において「やや満足」が全体を8ポイント上回っており、「やや不満」「不満」の割合も低い。

年齢別には、おおむね年代があがるほど評価が高くなっている。

町の現状(27) 行政情報や催事情報の提供状況



町の現状(27) 行政情報や催事情報の提供状況

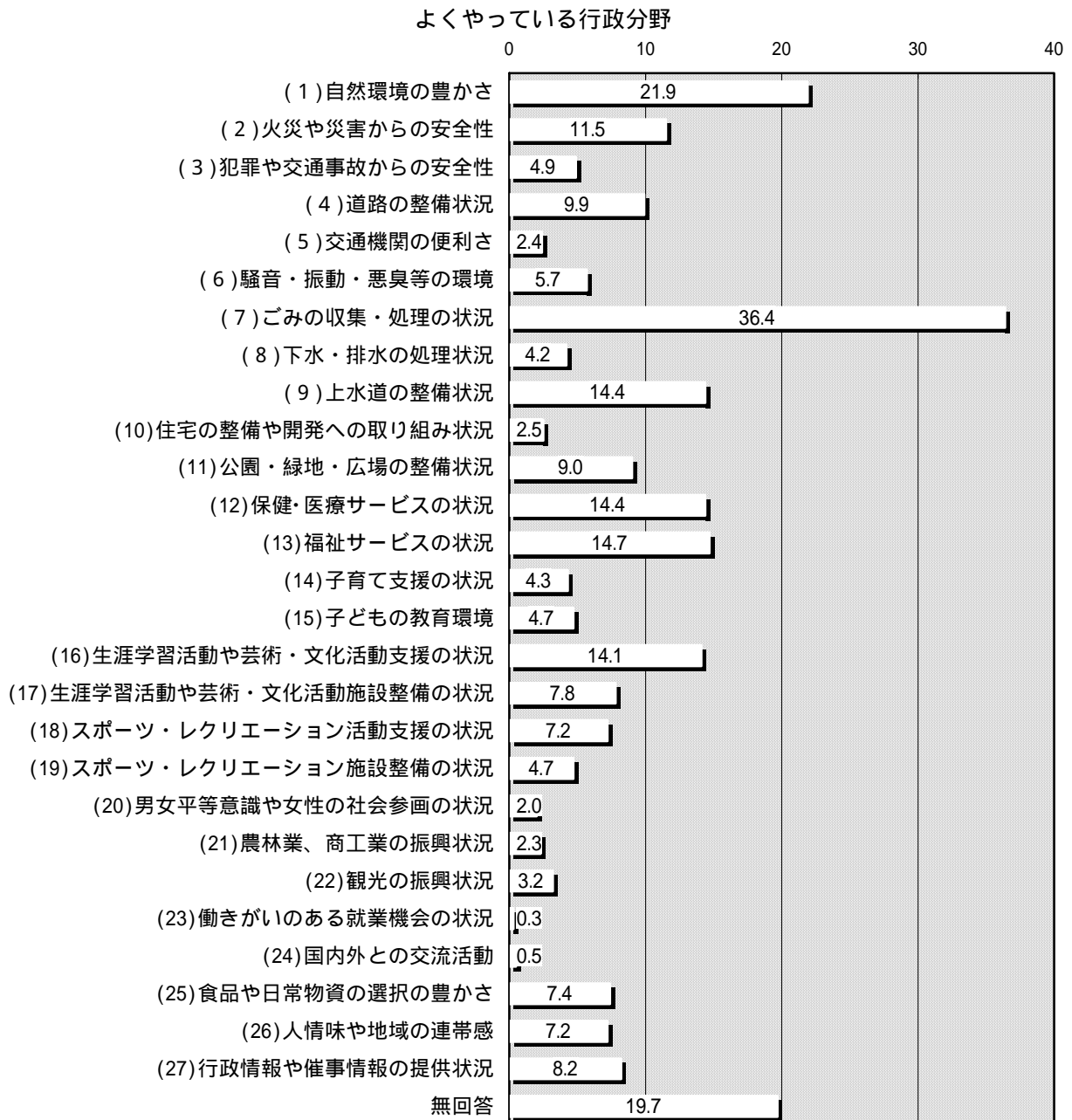


問4 問3であげた(1)～(27)のうち、現在の町行政で「よくやっている」と思われるものと、「もっとしっかりやって欲しい」と思われるものをそれぞれ3つずつ選び、その番号を下の の中にご記入ください。(番号を記入)

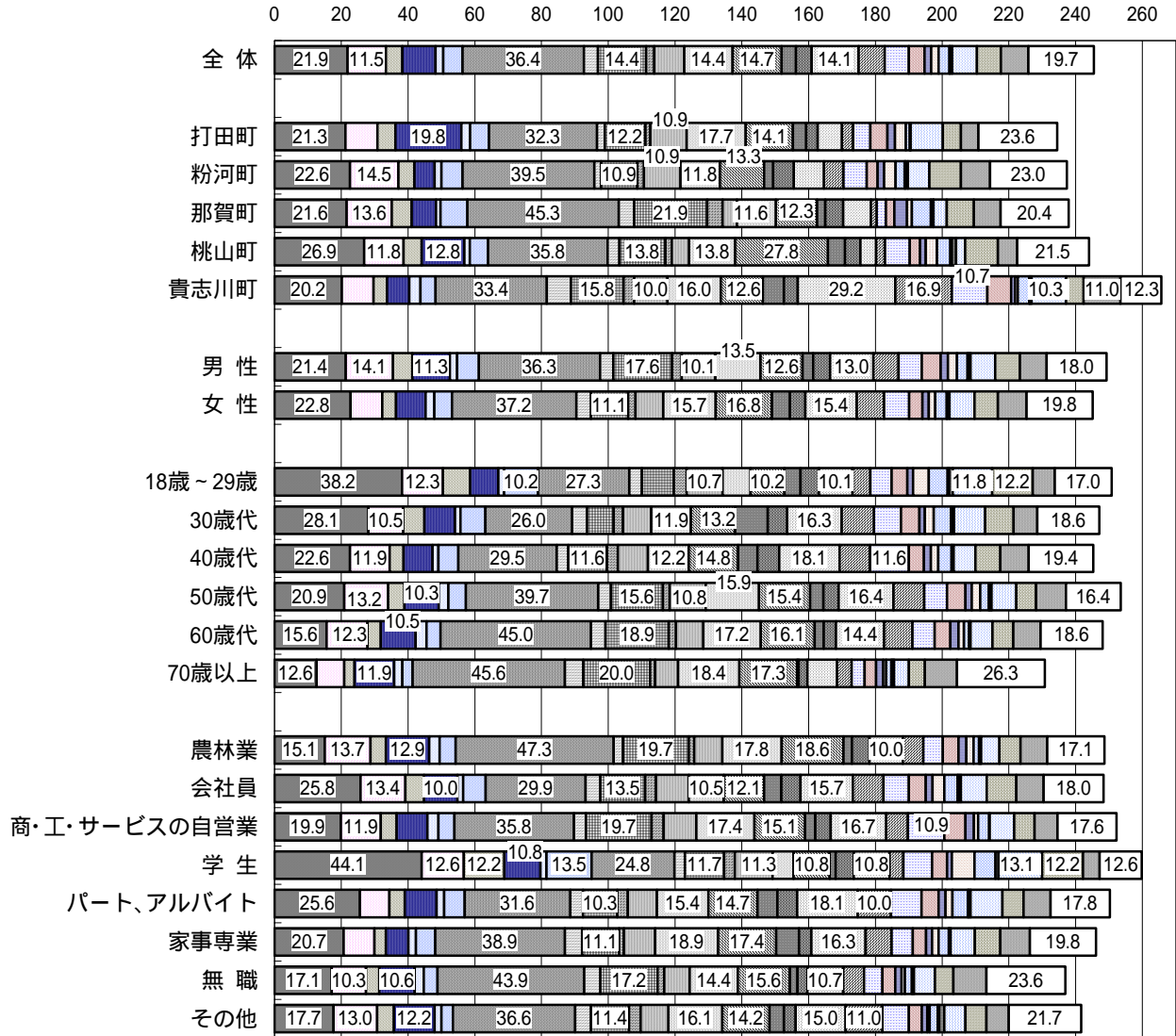
問4-1 よくやっている行政分野

上位5項目は、下表のとおり、(7)ごみの収集・処理の状況、(1)自然環境の豊かさ、(9)上水道の整備状況など、前問で評価が高かった項目のほか、(13)福祉サービスの状況、(12)保健・医療サービスの状況に対する評価が高い。

主な属性との関係を見ると、桃山町において(13)福祉サービスの状況に対する評価が特に高い。



よくやっている行政分野



- (1) 自然環境の豊かさ
- (2) 火災や災害からの安全性
- (3) 犯罪や交通事故からの安全性
- (4) 道路の整備状況
- (5) 交通機関の便利さ
- (6) 騒音・振動・悪臭等の環境
- (7) ごみの収集・処理の状況
- (8) 下水・排水の処理状況
- (9) 上水道の整備状況
- (10) 住宅の整備や開発への取り組み状況
- (11) 公園・緑地・広場の整備状況
- (12) 保健・医療サービスの状況
- (13) 福祉サービスの状況
- (14) 子育て支援の状況
- (15) 子どもの教育環境
- (16) 生涯学習活動や芸術・文化活動支援の状況
- (17) 生涯学習活動や芸術・文化活動施設整備の状況
- (18) スポーツ・レクリエーション活動支援の状況
- (19) スポーツ・レクリエーション施設整備の状況
- (20) 男女平等意識や女性の社会参画の状況
- (21) 農林業、商工業の振興状況
- (22) 観光の振興状況
- (23) 働きがいのある就業機会の状況
- (24) 国内外との交流活動
- (25) 食品や日常物資の選択の豊かさ
- (26) 人情味や地域の連帯感
- (27) 行政情報や催事情報の提供状況
- 無回答

問 4-2 もっとしっかりやって欲しい行政分野

(23)働きがいのある就業機会の状況が31.1%と最も高く、これに続く(5)交通機関の利便さ(28.0%)、(8)下水・排水の処理状況(27.5%)、(4)道路の整備状況(25.8%)が、20%以上の支持を得ている。

居住地別にみると、上記の4項目はどの属性においても1～4位にランキングされるが、第5位の項目は、全体では(11)公園・緑地・広場の整備状況であるが、粉河町と那賀町では第5位は(21)農林業、商工業の振興状況となり、また貴志川町では(3)犯罪や交通事故からの安全性が第5位になっている。

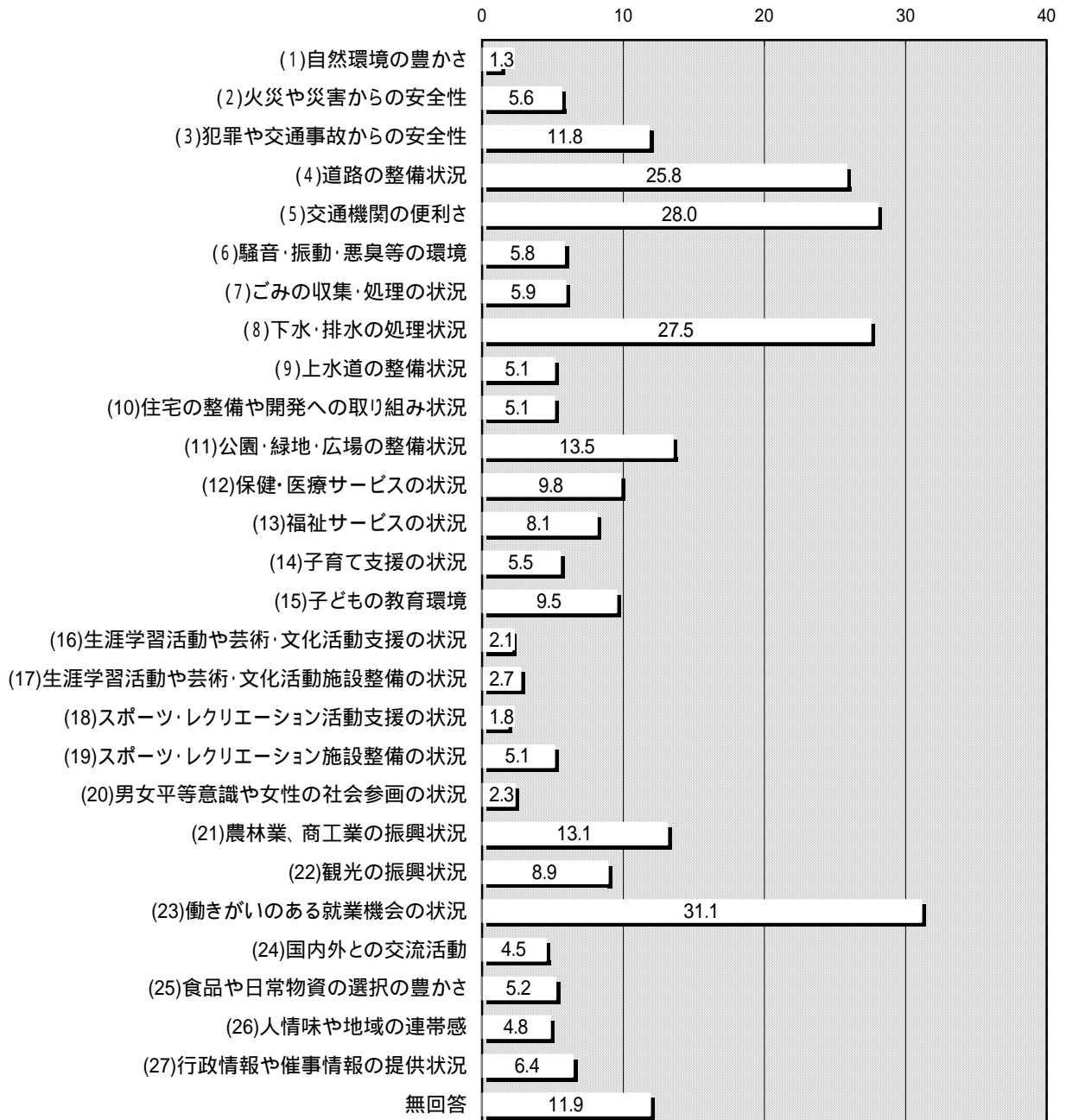
年齢別にみると、40歳代では、(15)子どもの教育環境が、また50歳代以上の層では、(21)農林業、商工業の振興状況がそれぞれ第5位となっている。

もっとしっかりやって欲しい行政分野

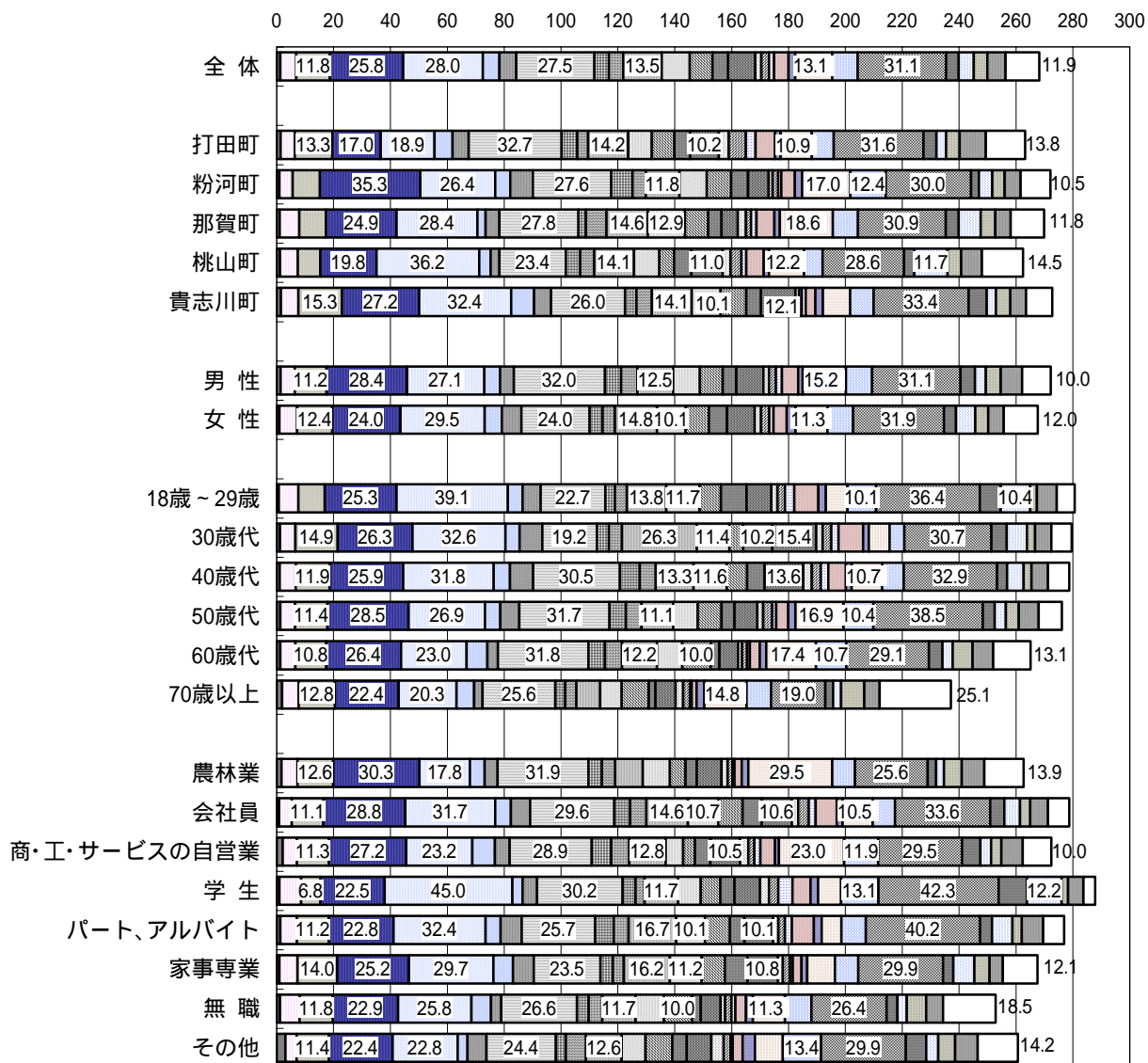
(明朝体文字は、全体では1～5位に該当していない項目)

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		(23)働きがいのある就業機会の状況	(5)交通機関の利便さ	(8)下水・排水の処理状況	(4)道路の整備状況	(11)公園・緑地・広場の整備状況
居住地	打田町	(8)下水・排水の処理状況	(23)働きがいのある就業機会の状況	(5)交通機関の利便さ	(4)道路の整備状況	(11)公園・緑地・広場の整備状況
	粉河町	(4)道路の整備状況	(23)働きがいのある就業機会の状況	(8)下水・排水の処理状況	(5)交通機関の利便さ	(21)農林業、商工業の振興状況
	那賀町	(23)働きがいのある就業機会の状況	(5)交通機関の利便さ	(8)下水・排水の処理状況	(4)道路の整備状況	(21)農林業、商工業の振興状況
	桃山町	(5)交通機関の利便さ	(23)働きがいのある就業機会の状況	(8)下水・排水の処理状況	(4)道路の整備状況	(11)公園・緑地・広場の整備状況
	貴志川町	(23)働きがいのある就業機会の状況	(5)交通機関の利便さ	(4)道路の整備状況	(8)下水・排水の処理状況	(3)犯罪や交通事故からの安全性
年 齢	18歳～29歳	(5)交通機関の利便さ	(23)働きがいのある就業機会の状況	(4)道路の整備状況	(8)下水・排水の処理状況	(11)公園・緑地・広場の整備状況
	30歳代	(5)交通機関の利便さ	(23)働きがいのある就業機会の状況	(4)道路の整備状況 (11)公園・緑地・広場の整備状況		(8)下水・排水の処理状況
	40歳代	(23)働きがいのある就業機会の状況	(5)交通機関の利便さ	(8)下水・排水の処理状況	(4)道路の整備状況	(15)子どもの教育環境
	50歳代	(23)働きがいのある就業機会の状況	(8)下水・排水の処理状況	(4)道路の整備状況	(5)交通機関の利便さ	(21)農林業、商工業の振興状況
	60歳代	(8)下水・排水の処理状況	(23)働きがいのある就業機会の状況	(4)道路の整備状況	(5)交通機関の利便さ	(21)農林業、商工業の振興状況
	70歳以上	(8)下水・排水の処理状況	(4)道路の整備状況	(5)交通機関の利便さ	(23)働きがいのある就業機会の状況	(21)農林業、商工業の振興状況

もっとしっかりやって欲しい行政分野



もっとしっかりやって欲しい行政分野



- (1)自然環境の豊かさ
- (2)火災や災害からの安全性
- (3)犯罪や交通事故からの安全性
- (4)道路の整備状況
- (5)交通機関の便りさ
- (6)騒音・振動・悪臭等の環境
- (7)ごみの収集・処理の状況
- (8)下水・排水の処理状況
- (9)上水道の整備状況
- (10)住宅の整備や開発への取り組み状況
- (11)公園・緑地・広場の整備状況
- (12)保健・医療サービスの状況
- (13)福祉サービスの状況
- (14)子育て支援の状況
- (15)子どもの教育環境
- (16)生涯学習活動や芸術・文化活動支援の状況
- (17)生涯学習活動や芸術・文化活動施設整備の状況
- (18)スポーツ・レクリエーション活動支援の状況
- (19)スポーツ・レクリエーション施設整備の状況
- (20)男女平等意識や女性の社会参画の状況
- (21)農林業、商工業の振興状況
- (22)観光の振興状況
- (23)働きがいのある就業機会の状況
- (24)国内外との交流活動
- (25)食品や日常物資の選択の豊かさ
- (26)人情味や地域の連帯感
- (27)行政情報や催事情報の提供状況
- 無回答

合併についておたずねします。

問5 打田町・粉河町・那賀町・桃山町・貴志川町では、共同して「那賀5町合併協議会」を設置し、合併に関する協議・検討を行っています。あなたはこのような動きについてご存じですか。（1つに 印）

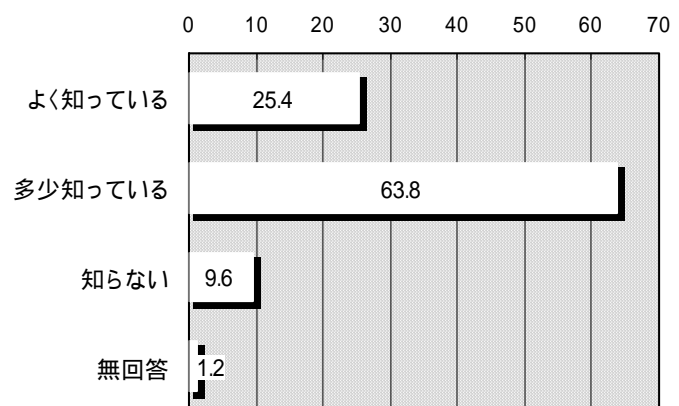
「多少知っている」が63.8%で最も高く、「よく知っている」の25.4%と合計すると、おおむね9割の回答者が合併協議会について知っていることになる。

居住地別には、この傾向に大差はない。

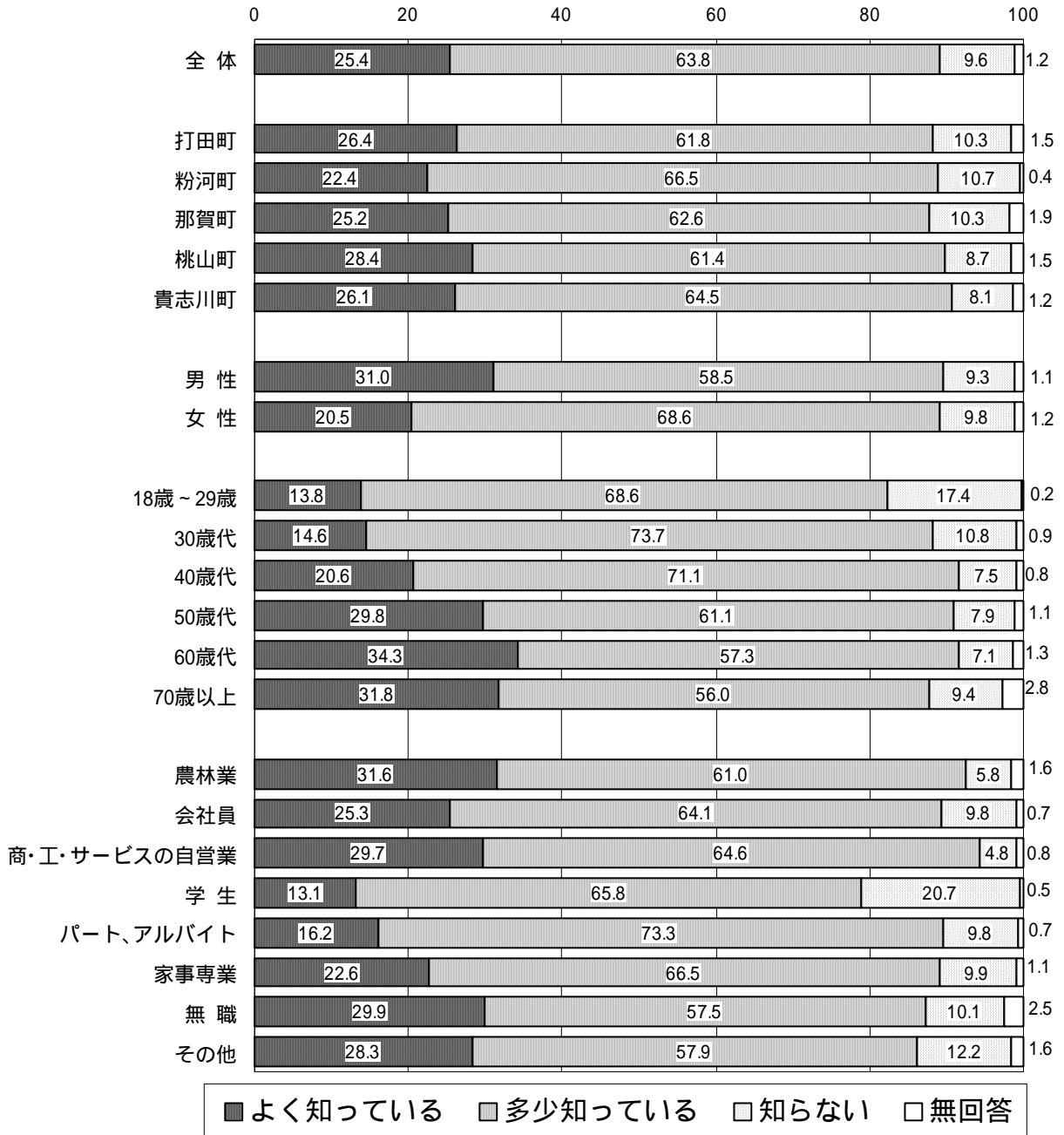
性別では「よく知っている」に関して、男性は女性を10ポイント上回っている。

年齢別では、やはり「よく知っている」については60歳代をピークとして、年齢があがるほど高くなる傾向がある。

合併協議についての周知度



合併協議についての周知度



問6 あなたは、このような動きにどの程度関心がありますか。(1つに 印)

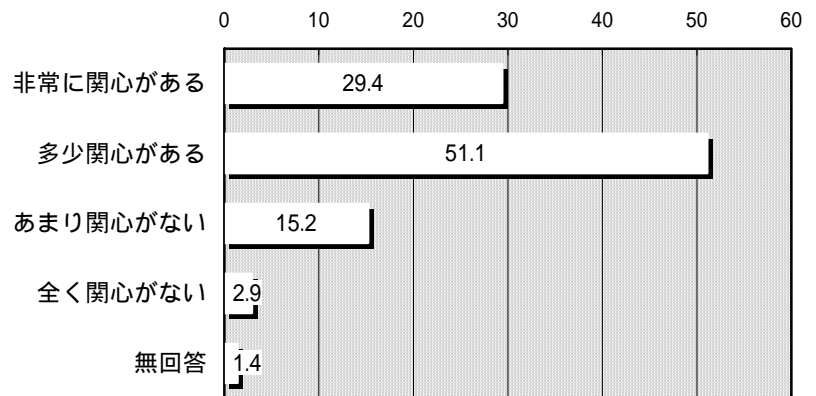
「多少関心がある」が51.1%と半数を超えている。これに「非常に関心がある」(29.4%)が続き、おおむね8割の回答者が何らかの関心を示している。

居住地別には、特に大きな差はみられない。

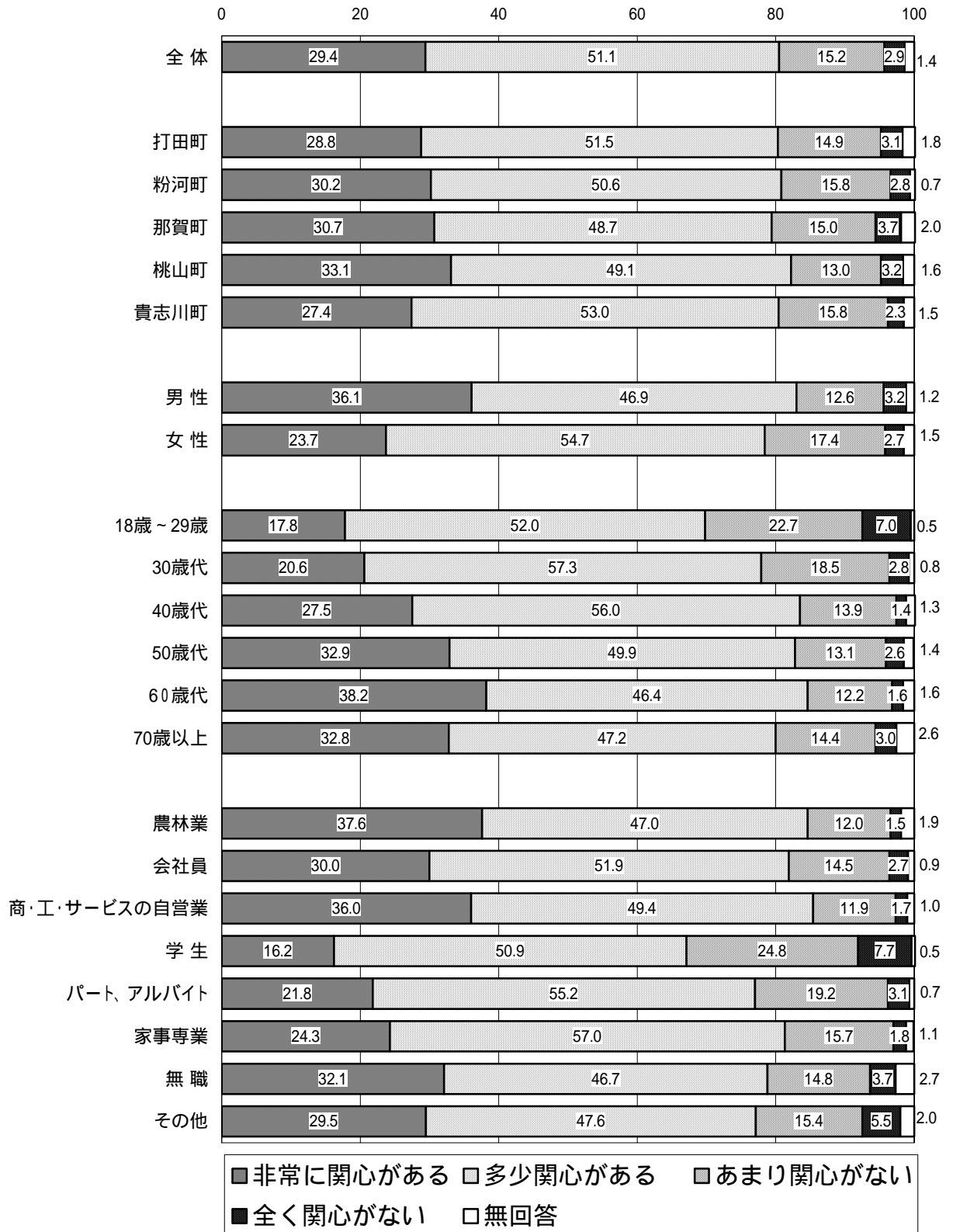
性別では、男性は「非常に関心がある」について女性より12ポイント高くなっている。

年齢別では、問5と同様、年齢があがるほどに「非常に関心がある」の割合が高まる傾向で、60歳代がピークになっている。

合併協議についての関心



合併協議についての関心



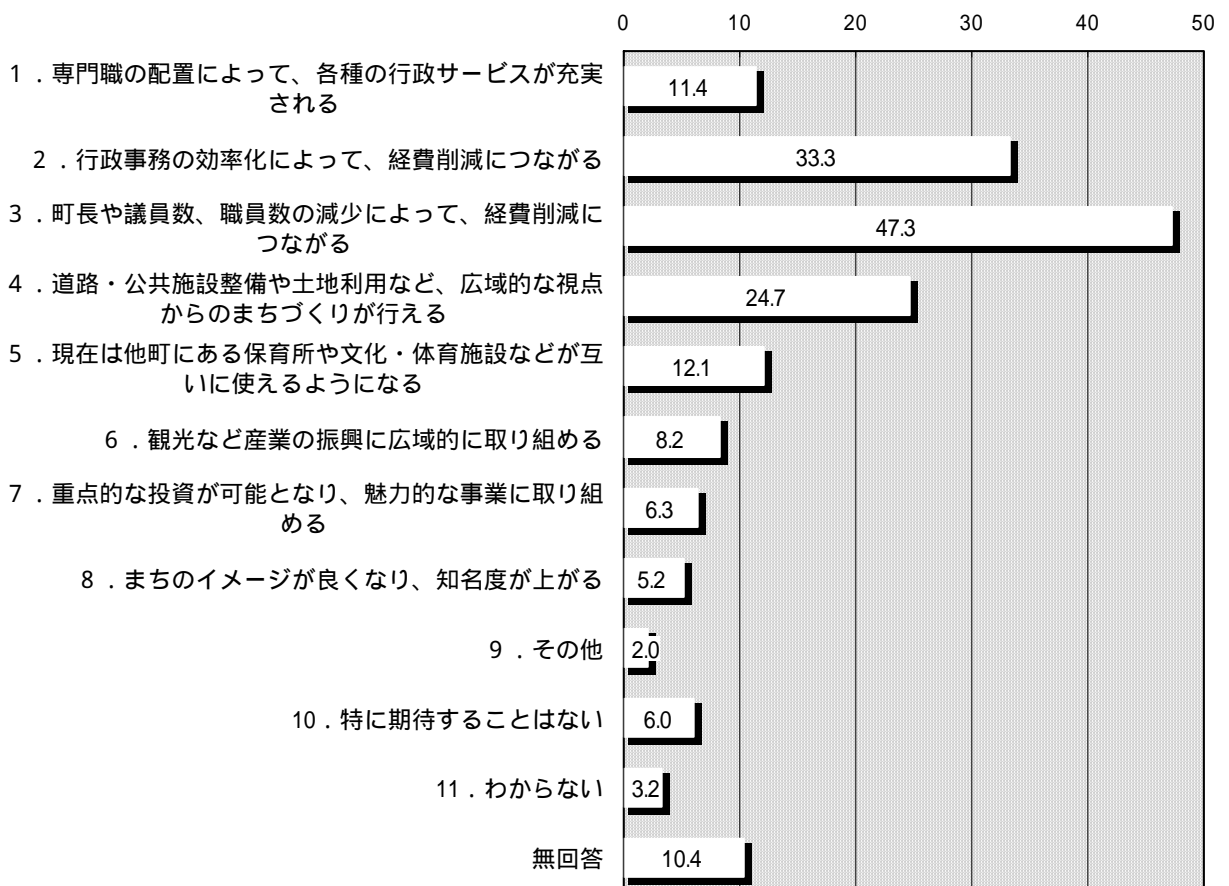
問7 那賀5町が合併するとしたら、あなたはどのような効果を期待しますか。(2つまで 印)

「3.町長や議員数、職員数の減少によって、経費削減につながる」が47.3%で最も高い。これに「2.行政事務の効率化によって、経費削減につながる」(33.3%)が続き、経費の削減に対する期待が大きい。第3位は「4.道路・公共施設整備や土地利用など、広域的な視点からのまちづくりが行える」(24.7%)となっている。

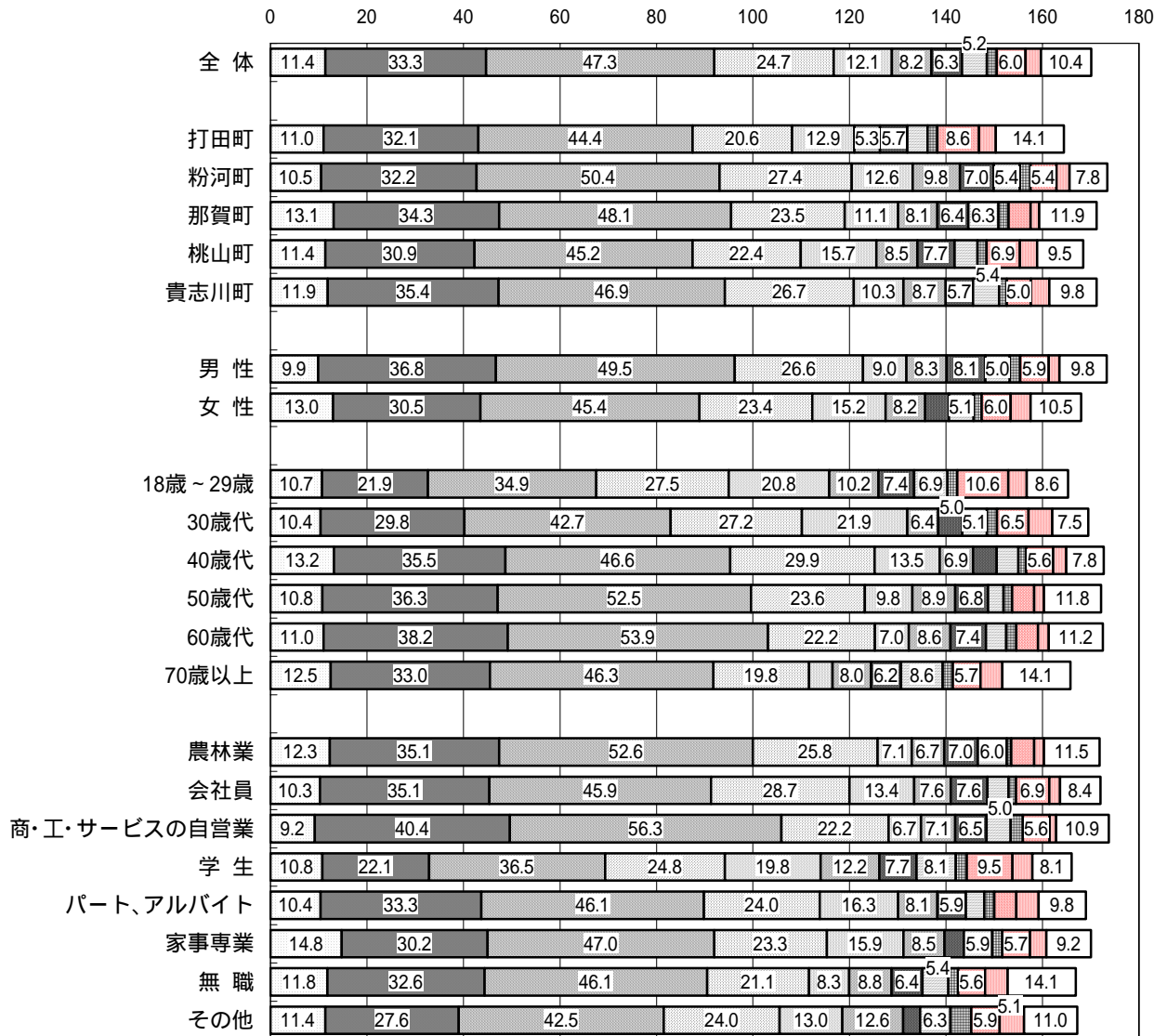
居住地別には顕著な差はない。

年齢別では、18～29歳および30歳代では「3.町長や議員数、職員数の減少によって、経費削減につながる」と「2.行政事務の効率化によって、経費削減につながる」の割合は比較的低く、「5.現在は他町にある保育所や文化・体育施設などが互いに使えるようになる」が20%以上で、公共施設が自由に利用できるようになることに対する期待が高くなっている。

合併に期待する効果



合併に期待する効果



- 1 . 専門職の配置によって、各種の行政サービスが充実される
- 2 . 行政事務の効率化によって、経費削減につながる
- 3 . 町長や議員数、職員数の減少によって、経費削減につながる
- 4 . 道路・公共施設整備や土地利用など、広域的な視点からのまちづくりが行える
- 5 . 現在は他町にある保育所や文化・体育施設などが互いに使えるようになる
- 6 . 観光など産業の振興に広域的に取り組める
- 7 . 重点的な投資が可能となり、魅力的な事業に取り組める
- 8 . まちのイメージが良くなり、知名度が上がる
- 9 . その他
- 10 . 特に期待することはない
- 11 . わからない
- 無回答

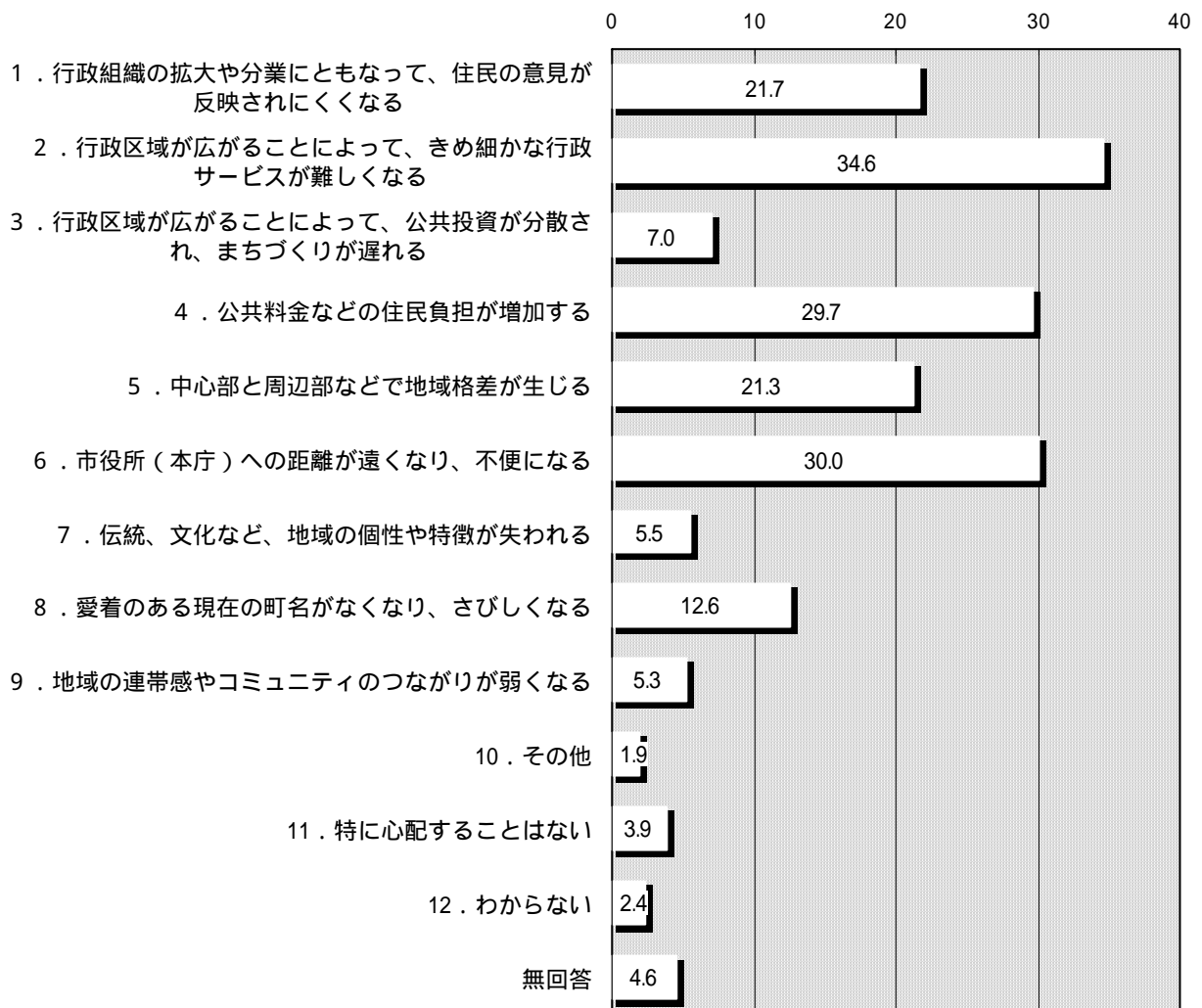
問8 那賀5町が合併するとしたら、あなたはどのようなことが心配ですか。（2つまで印）

合併に対する不安としては「2．行政区域が広がることによって、きめ細かな行政サービスが難しくなる」が34.6%で最も高く、これに「6．市役所（本庁）への距離が遠くなり、不便になる」(30.0%)が続き、行政圏の広域化にともなうサービス低下を懸念する声が強い。また「4．公共料金などの住民負担が増加する」など経済的負担に関する不安も第3位となっている。

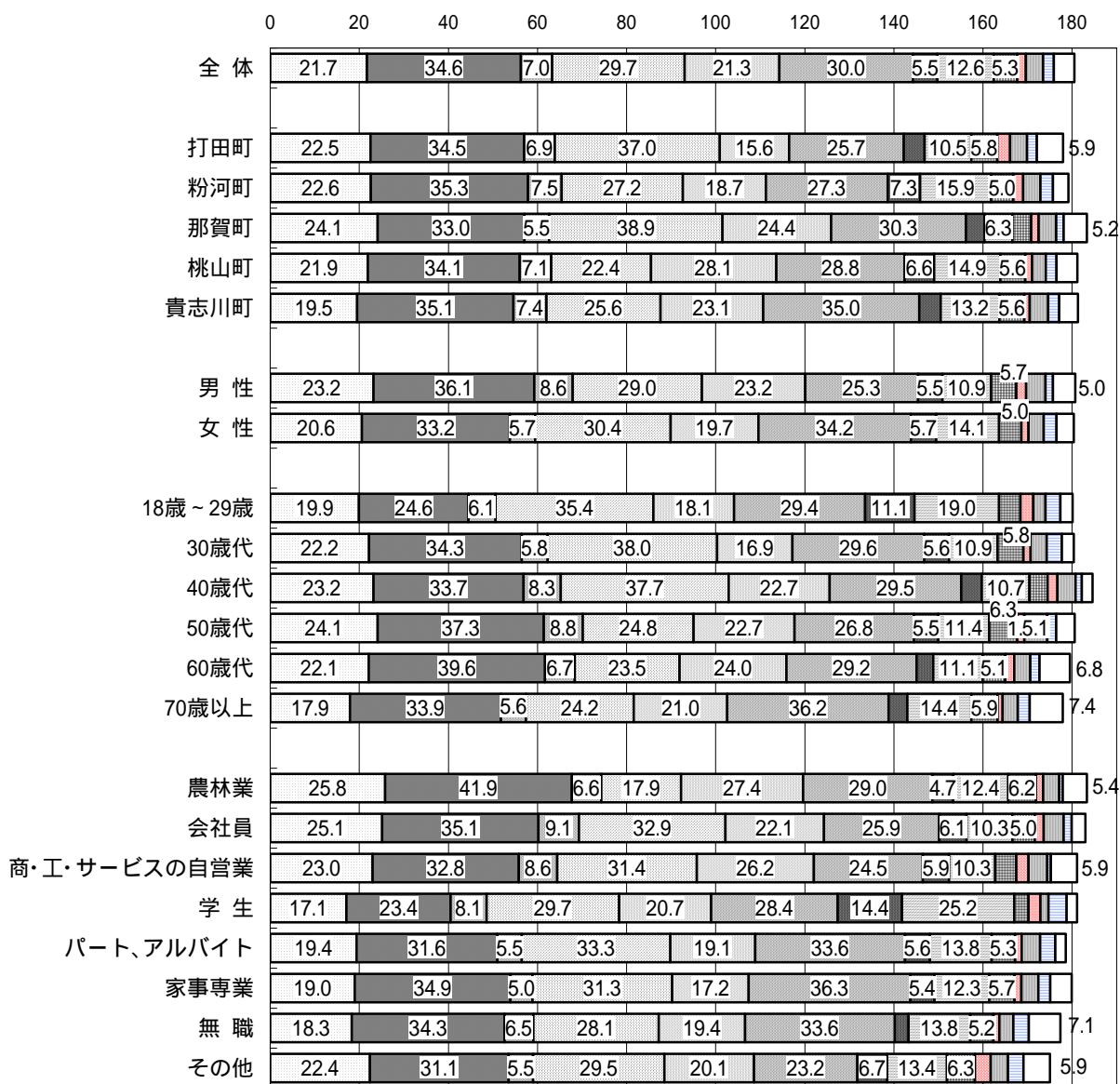
居住地別にみると、貴志川町で「6．市役所（本庁）への距離が遠くなり、不便になる」がやや高い。また「4．公共料金などの住民負担が増加する」について、那賀町では全体より9ポイント、打田町では7ポイント高く、両町とも第1位となっている。桃山町では「5．中心部と周辺部などで地域格差が生じる」が高い。

年齢別では、40歳代以下の層で「4．公共料金などの住民負担が増加する」が高い。

合併への不安



合併への不安

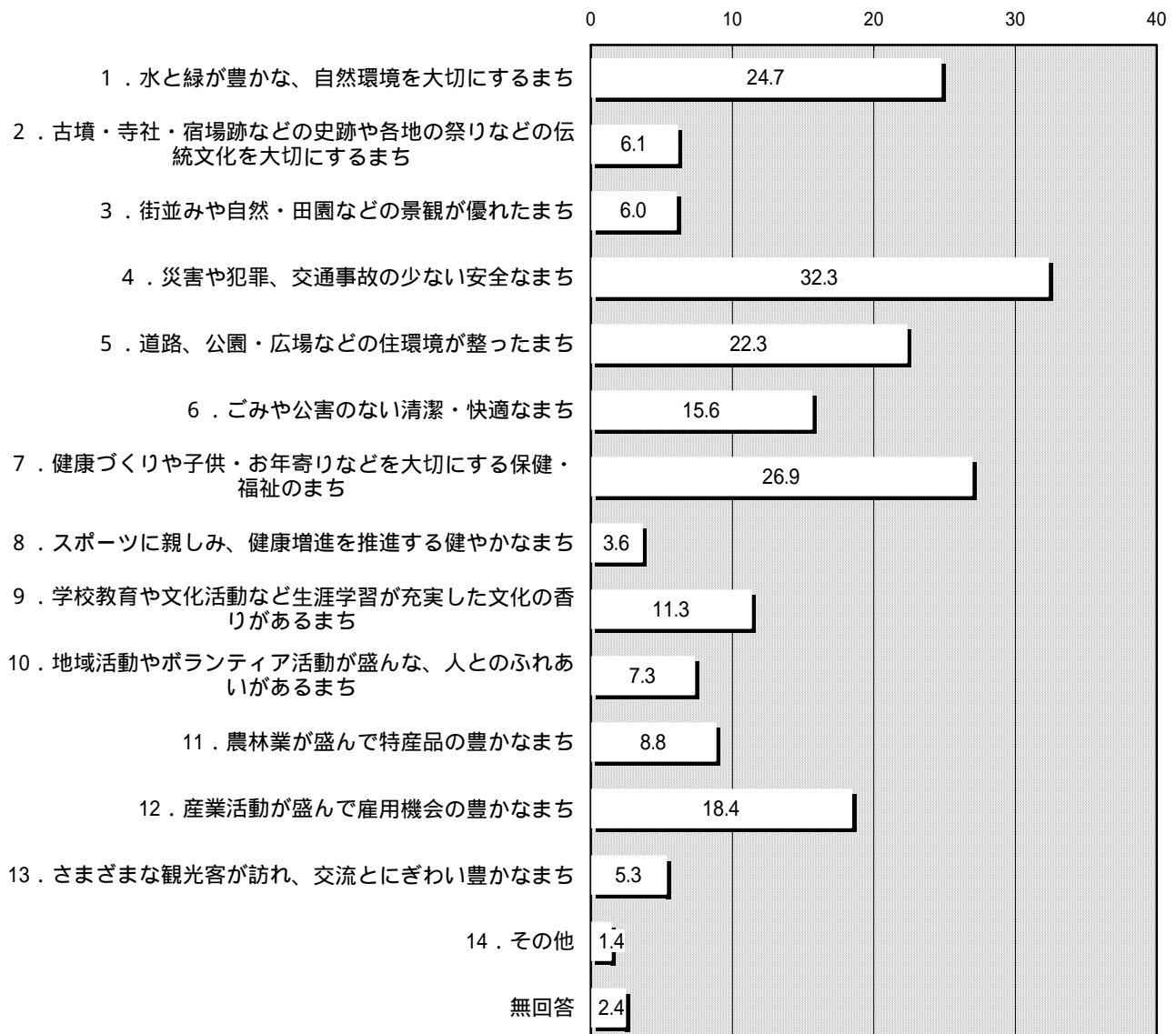


- 1. 行政組織の拡大や分業にともなって、住民の意見が反映されにくくなる
- 2. 行政区域が広がることによって、きめ細かな行政サービスが難しくなる
- 3. 行政区域が広がることによって、公共投資が分散され、まちづくりが遅れる
- 4. 公共料金などの住民負担が増加する
- 5. 中心部と周辺部などで地域格差が生じる
- 6. 市役所（本庁）への距離が遠くなり、不便になる
- 7. 伝統、文化など、地域の個性や特徴が失われる
- 8. 愛着のある現在の町名がなくなり、さびしくなる
- 9. 地域の連帯感やコミュニティのつながりが弱くなる
- 10. その他
- 11. 特に心配することはない
- 12. わからない
- 無回答

**問9 那賀5町が合併した場合、将来どのような町になればよいとあなたは思いますか。
(2つまで 印)**

合併に期待するまちのすがたの第1位は「4. 災害や犯罪、交通事故の少ない安全なまち」(32.3%)で、約3分の1の回答者が支持している。第2位は「7. 健康づくりや子供・お年寄りなどを大切にする保健・福祉のまち」(26.9%)で、健康と福祉にすぐれたまちを求めている。これに「1. 水と緑が豊かな、自然環境を大切にするまち」(24.7%)、「5. 道路、公園・広場などの住環境が整ったまち」(22.3%)、「12. 産業活動が盛んで雇用機会の豊かなまち」(18.4%)が続く。

合併に期待するまちのすがた(将来像)



上位の5項目を居住地別にみると、2～4位の順位はやや異なるものの、全体とほぼ同様の結果となっている。

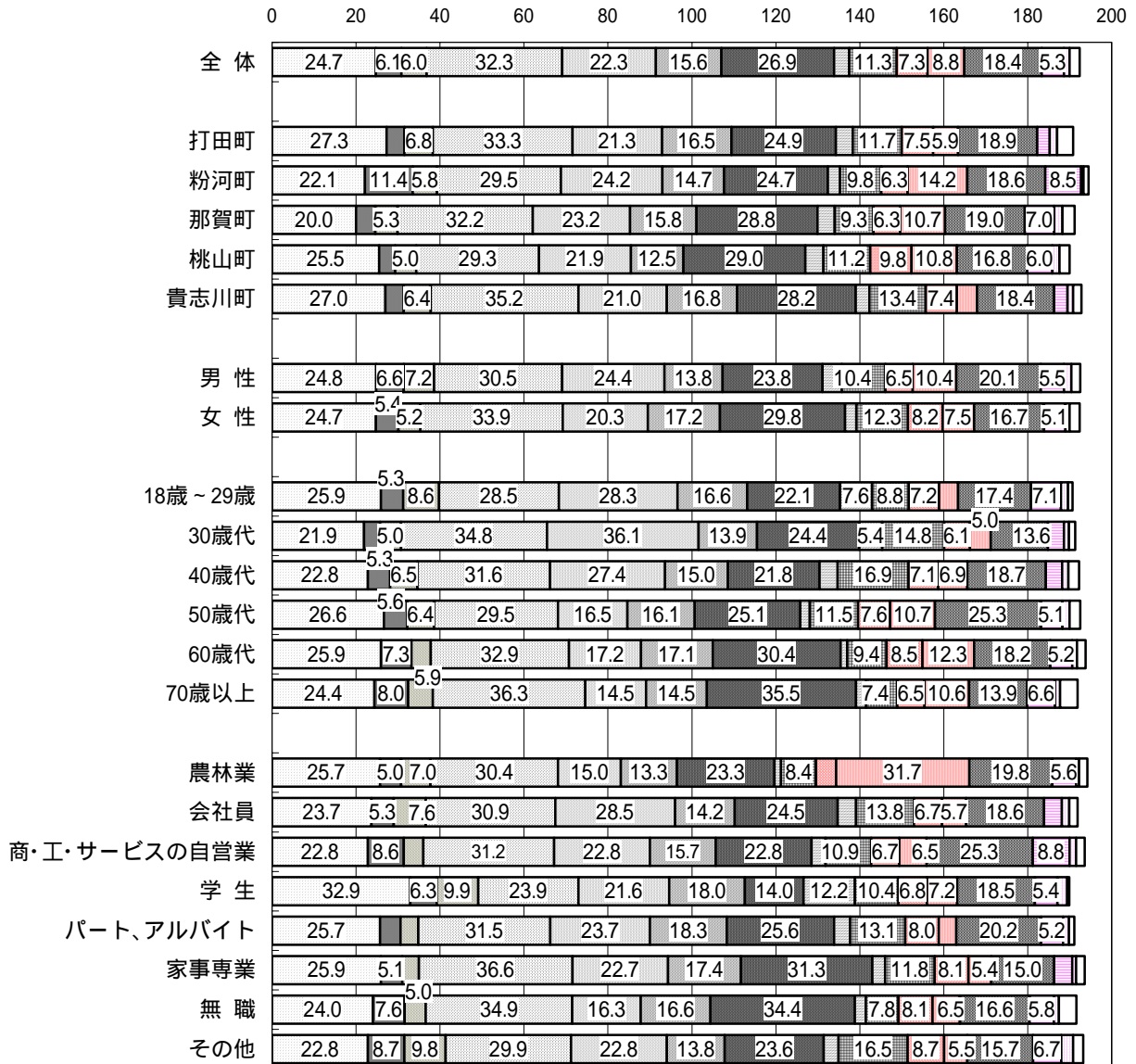
年齢別には、18～40歳代の層では「5.道路、公園・広場などの住環境が整ったまち」が1～2位の上位に位置していること、30歳代では全体の上位5項目に入らなかった「9.学校教育や文化活動など生涯学習が充実した文化の香りがあるまち」が第5位となっていること、70歳以上では「6.ごみや公害のない清潔・快適なまち」が「5.道路、公園・広場などの住環境が整ったまち」と並んで第4位に入っていることなどが特徴的である。

合併に期待するまちのすがた（将来像）

（明朝体文字は、全体では1～5位に該当していない項目）

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体		4.災害や犯罪、交通事故の少ない安全なまち	7.健康づくりや子供・お年寄りなどを大切にする保健・福祉のまち	1.水と緑が豊かな、自然環境を大切にするまち	5.道路、公園・広場などの住環境が整ったまち	12.産業活動が盛んで雇用機会の豊かなまち
居住地	打田町	4.災害や犯罪、交通事故の少ない安全なまち	1.水と緑が豊かな、自然環境を大切にするまち	7.健康づくりや子供・お年寄りなどを大切にする保健・福祉のまち	5.道路、公園・広場などの住環境が整ったまち	12.産業活動が盛んで雇用機会の豊かなまち
	粉河町	4.災害や犯罪、交通事故の少ない安全なまち	7.健康づくりや子供・お年寄りなどを大切にする保健・福祉のまち	5.道路、公園・広場などの住環境が整ったまち	1.水と緑が豊かな、自然環境を大切にするまち	12.産業活動が盛んで雇用機会の豊かなまち
	那賀町	4.災害や犯罪、交通事故の少ない安全なまち	7.健康づくりや子供・お年寄りなどを大切にする保健・福祉のまち	5.道路、公園・広場などの住環境が整ったまち	1.水と緑が豊かな、自然環境を大切にするまち	12.産業活動が盛んで雇用機会の豊かなまち
	桃山町	4.災害や犯罪、交通事故の少ない安全なまち	7.健康づくりや子供・お年寄りなどを大切にする保健・福祉のまち	1.水と緑が豊かな、自然環境を大切にするまち	5.道路、公園・広場などの住環境が整ったまち	12.産業活動が盛んで雇用機会の豊かなまち
	貴志川町	4.災害や犯罪、交通事故の少ない安全なまち	7.健康づくりや子供・お年寄りなどを大切にする保健・福祉のまち	1.水と緑が豊かな、自然環境を大切にするまち	5.道路、公園・広場などの住環境が整ったまち	12.産業活動が盛んで雇用機会の豊かなまち
年齢	18歳～29歳	4.災害や犯罪、交通事故の少ない安全なまち	5.道路、公園・広場などの住環境が整ったまち	1.水と緑が豊かな、自然環境を大切にするまち	7.健康づくりや子供・お年寄りなどを大切にする保健・福祉のまち	12.産業活動が盛んで雇用機会の豊かなまち
	30歳代	5.道路、公園・広場などの住環境が整ったまち	4.災害や犯罪、交通事故の少ない安全なまち	7.健康づくりや子供・お年寄りなどを大切にする保健・福祉のまち	1.水と緑が豊かな、自然環境を大切にするまち	9.学校教育や文化活動など生涯学習が充実した文化の香りがあるまち
	40歳代	4.災害や犯罪、交通事故の少ない安全なまち	5.道路、公園・広場などの住環境が整ったまち	1.水と緑が豊かな、自然環境を大切にするまち	7.健康づくりや子供・お年寄りなどを大切にする保健・福祉のまち	12.産業活動が盛んで雇用機会の豊かなまち
	50歳代	4.災害や犯罪、交通事故の少ない安全なまち	1.水と緑が豊かな、自然環境を大切にするまち	12.産業活動が盛んで雇用機会の豊かなまち	7.健康づくりや子供・お年寄りなどを大切にする保健・福祉のまち	5.道路、公園・広場などの住環境が整ったまち
	60歳代	4.災害や犯罪、交通事故の少ない安全なまち	7.健康づくりや子供・お年寄りなどを大切にする保健・福祉のまち	1.水と緑が豊かな、自然環境を大切にするまち	12.産業活動が盛んで雇用機会の豊かなまち	5.道路、公園・広場などの住環境が整ったまち
	70歳以上	4.災害や犯罪、交通事故の少ない安全なまち	7.健康づくりや子供・お年寄りなどを大切にする保健・福祉のまち	1.水と緑が豊かな、自然環境を大切にするまち	5.道路、公園・広場などの住環境が整ったまち 6.ごみや公害のない清潔・快適なまち	

合併に期待するまちのすがた（将来像）



- 1. 水と緑が豊かな、自然環境を大切にするまち
- 2. 古墳・寺社・宿場跡などの史跡や各地の祭りなどの伝統文化を大切にするまち
- 3. 街並みや自然・田園などの景観が優れたまち
- 4. 災害や犯罪、交通事故の少ない安全なまち
- 5. 道路、公園・広場などの住環境が整ったまち
- 6. ごみや公害のない清潔・快適なまち
- 7. 健康づくりや子供・お年寄りなどを大切にする保健・福祉のまち
- 8. スポーツに親しみ、健康増進を推進する健やかなまち
- 9. 学校教育や文化活動など生涯学習が充実した文化の香りがあるまち
- 10. 地域活動やボランティア活動が盛んな、人とのふれあいがあるまち
- 11. 農林業が盛んで特産品の豊かなまち
- 12. 産業活動が盛んで雇用機会の豊かなまち
- 13. さまざまな観光客が訪れ、交流とにぎわい豊かなまち
- 14. その他
- 無回答

問10 那賀5町が合併するとしたら、あなたはどの施策を重点的に進めてほしいと思いますか。(5つまで 印)

「4. 交通の便の充実(鉄道・バス路線等の充実促進)」が45.0%、「10. 保健・医療対策の充実(病院や救急医療体制の充実など)」が44.9%で、交通問題と保健・医療対策が上位に位置する。また第3位の「3. 道路の整備(舗装、拡幅、歩道設置、基幹道路の整備促進など)」(38.9%)も交通問題であり、地域共通の重点課題となっている。これに、「6. 下水道・排水処理施設の整備」(36.0%)、「2. 防災・安全対策の充実(治山治水、消防、防犯、交通安全など)」(34.0%)が続く。

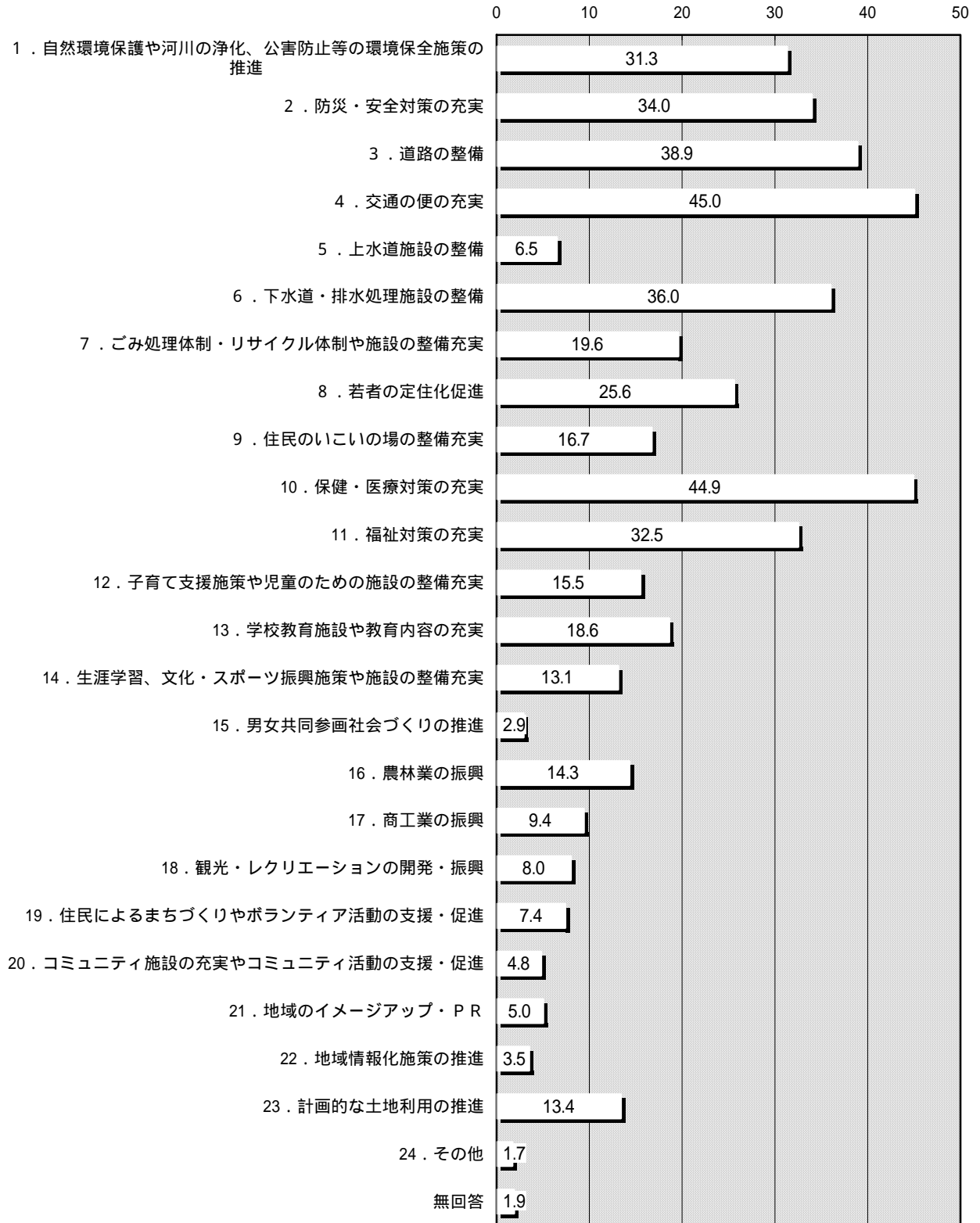
居住地別にみると、打田町、粉河町、那賀町では、全体で第1位であった「4. 交通の便の充実」は3~4位になり、代わって打田町では「6. 下水道・排水処理施設の整備」と「2. 防災・安全対策の充実」が、粉河町と那賀町では「3. 道路の整備」が上位に位置している。

那賀町、桃山町、貴志川町では「11. 福祉対策の充実(高齢者福祉、障害者福祉など)」が4位または5位に位置し、さらに桃山町では全体では第8位であった「8. 若者の定住化促進(公営住宅の整備、UIJターンの推進など)」が第5位となっている。

年齢別では、18~29歳では「6. 下水道・排水処理施設の整備」が上位5項目から消え、代わって、全体では第7位であった「1. 自然環境保護や河川の浄化、公害防止等の環境保全施策の推進」が第4位となっている。30歳代では同様に「6. 下水道・排水処理施設の整備」が上位5項目から消え、代わりに「12. 子育て支援施策や児童のための施設の整備充実」が第5位となっている。

30歳代および50歳以上の層では、「10. 保健・医療対策の充実」が第1位を占めるとともに、50歳以上では「11. 福祉対策の充実」が上位5位に入っており、60歳代では第3位に、また70歳以上では第2位となっている。

合併後の重点施策



合併後の重点施策

(明朝体文字は、全体では1～5位に該当していない項目)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	
全 体	4. 交通の便の充実	10. 保健・医療対策の充実	3. 道路の整備	6. 下水道・排水処理施設の整備	2. 防災・安全対策の充実	
居住地	打田町	6. 下水道・排水処理施設の整備	10. 保健・医療対策の充実	2. 防災・安全対策の充実	4. 交通の便の充実	3. 道路の整備
	粉河町	3. 道路の整備	10. 保健・医療対策の充実	4. 交通の便の充実	6. 下水道・排水処理施設の整備	2. 防災・安全対策の充実
	那賀町	10. 保健・医療対策の充実	3. 道路の整備	6. 下水道・排水処理施設の整備	4. 交通の便の充実	11. 福祉対策の充実
	桃山町	4. 交通の便の充実	10. 保健・医療対策の充実	3. 道路の整備	11. 福祉対策の充実	8. 若者の定住化促進
	貴志川町	4. 交通の便の充実	10. 保健・医療対策の充実	3. 道路の整備	2. 防災・安全対策の充実	11. 福祉対策の充実
年齢	18歳～29歳	4. 交通の便の充実	3. 道路の整備	10. 保健・医療対策の充実	1. 自然環境保護や河川の浄化、公害防止等の環境保全施策の推進	2. 防災・安全対策の充実
	30歳代	10. 保健・医療対策の充実	4. 交通の便の充実	3. 道路の整備	2. 防災・安全対策の充実	12. 子育て支援施策や児童のための施設の整備充実
	40歳代	4. 交通の便の充実	10. 保健・医療対策の充実	3. 道路の整備	6. 下水道・排水処理施設の整備	2. 防災・安全対策の充実
	50歳代	10. 保健・医療対策の充実	6. 下水道・排水処理施設の整備	4. 交通の便の充実	3. 道路の整備	11. 福祉対策の充実
	60歳代	10. 保健・医療対策の充実	6. 下水道・排水処理施設の整備	11. 福祉対策の充実	4. 交通の便の充実	3. 道路の整備
	70歳以上	10. 保健・医療対策の充実	11. 福祉対策の充実	4. 交通の便の充実	2. 防災・安全対策の充実	3. 道路の整備

那賀5町の将来のまちづくりに関する 住民意識調査

ご協力のお願い

平素は、行政運営推進にご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、国においては、税源委譲・補助金削減・交付税改革からなる、いわゆる三位一体の改革が具体的に推進されはじめ、地方分権はいよいよ本格的な実行の段階に入りました。これを受け、住民に対する行政サービス提供の責務を負う市町村には以前にもまして、自らの判断と責任のもとに、豊かで活力ある地域づくりを進めることが求められています。

このような時代の要請を受け、打田町・粉河町・那賀町・桃山町・貴志川町の那賀5町は、平成16年2月25日に「那賀5町合併協議会」を設置して合併に関する協議をはじめました。

そこで、5町にお住まいの18歳以上の方の中から14,000人を無作為に抽出させていただき、まちの将来のあり方を検討するため、ご意見やお考えをうかがうことにいたしました。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨、目的をご理解のうえ、本調査にご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

平成16年4月

那賀5町合併協議会
会長 服部 一

ご記入に際して

- 調査は無記名で、調査結果は統計的に処理しますので、ご迷惑をかけることは決してございません。ありのままをお答えください。
- 宛名のご本人さまがお答えください。ご本人さまが記入困難な場合には、ご家族等に代筆をお願いしていただければ幸いです。
- お答えは、設問ごとに(1つに 印)、(2つまで 印)などそれぞれ指定させていただいていますので、これに従ってご記入ください。
- ご記入いただいた調査票は**5月7日(金)**までに同封の返信用封筒に入れてポストに投函してください。(切手は不要です。)
- この調査票についてのお問い合わせは、下記にお願いします。

那賀5町合併協議会事務局
〒649-6531
粉河町大字粉河681番地の4
TEL (0736)-73-2020
FAX (0736)-73-2827

はじめに、あなたご自身のことについておたずねします。

問1 あなたご自身のことについて、それぞれの項目ごとにあてはまる番号を選んで1つに印をつけてください。

(1)あなたのお住まいは	1. 打田町 2. 粉河町 3. 那賀町 4. 桃山町 5. 貴志川町
(2)あなたの性別は	1. 男 2. 女
(3)あなたの年齢は	1. 18歳～29歳 2. 30歳代 3. 40歳代 4. 50歳代 5. 60歳代 6. 70歳以上
(4)あなたの職業は	1. 農林業(専業または農林業が主体) 2. 会社員(公務員・団体職員を含む) 3. 商・工・サービスの自営業 4. 学生 5. パート、アルバイト 6. 家事専業 7. 無職 8. その他(具体的に:)

あなたの生活行動の場所や交通手段についておたずねします。

問2 あなたの生活行動のうち(1)～(6)について、主な行き先とその時の交通手段について、それぞれあてはまる番号1つに印をつけてください。

	主な行き先(1つに)													主な交通手段(1つに)							
	打田町	粉河町	那賀町	桃山町	貴志川町	岩出町	和歌山市	橋本市・伊都郡	海南市・海草郡	その他和歌山県内	大阪府内	その他の地域	就学・就労していない	JR	バス	南海高野線	南海本線	南海貴志川線	自家用車・バイク	自転車・徒歩	その他
(1)通学先・勤務先	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.	9.	10.	11.	12.	13.	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.
(2)日用品の買物	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.	9.	10.	11.	12.	/	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.
(3)耐久消費財(テレビ・家具など)の購入	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.	9.	10.	11.	12.	/	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.
(4)映画・音楽などの娯楽	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.	9.	10.	11.	12.	/	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.
(5)スポーツ・レクリエーション	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.	9.	10.	11.	12.	/	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.
(6)病院や診療所	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.	9.	10.	11.	12.	/	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.

お住まいの町の現状についておたずねします。

問3 あなたは、お住まいの町の現状をどう思いますか。下記の(1)～(27)の各項目についてそれぞれあてはまる番号1つに印をつけてください。

	満足	満足や 不満	どちらとも いえない	不満	満足
(回答例)	1 .	2 .	3 .	4 .	5 .
まちの基礎や安全性	1 .	2 .	3 .	4 .	5 .
(1)自然環境の豊かさ	1 .	2 .	3 .	4 .	5 .
(2)火災や災害からの安全性	1 .	2 .	3 .	4 .	5 .
(3)犯罪や交通事故からの安全性	1 .	2 .	3 .	4 .	5 .
(4)道路の整備状況	1 .	2 .	3 .	4 .	5 .
(5)交通機関の便利さ	1 .	2 .	3 .	4 .	5 .
(6)騒音・振動・悪臭等の環境	1 .	2 .	3 .	4 .	5 .
(7)ごみの収集・処理の状況	1 .	2 .	3 .	4 .	5 .
(8)下水・排水の処理状況	1 .	2 .	3 .	4 .	5 .
(9)上水道の整備状況	1 .	2 .	3 .	4 .	5 .
(10)住宅の整備や開発への取り組み状況	1 .	2 .	3 .	4 .	5 .
(11)公園・緑地・広場の整備状況	1 .	2 .	3 .	4 .	5 .
(12)保健・医療サービスの状況	1 .	2 .	3 .	4 .	5 .
(13)福祉サービスの状況	1 .	2 .	3 .	4 .	5 .
(14)子育て支援の状況	1 .	2 .	3 .	4 .	5 .
(15)子どもの教育環境	1 .	2 .	3 .	4 .	5 .
(16)生涯学習活動や芸術・文化活動支援の状況	1 .	2 .	3 .	4 .	5 .
(17)生涯学習活動や芸術・文化活動施設整備の状況	1 .	2 .	3 .	4 .	5 .
(18)スポーツ・レクリエーション活動支援の状況	1 .	2 .	3 .	4 .	5 .
(19)スポーツ・レクリエーション施設整備の状況	1 .	2 .	3 .	4 .	5 .
(20)男女平等意識や女性の社会参画の状況	1 .	2 .	3 .	4 .	5 .
(21)農林業、商工業の振興状況	1 .	2 .	3 .	4 .	5 .
(22)観光の振興状況	1 .	2 .	3 .	4 .	5 .
(23)働きがいのある就業機会の状況	1 .	2 .	3 .	4 .	5 .
(24)国内外との交流活動	1 .	2 .	3 .	4 .	5 .
(25)食品や日常物資の選択の豊かさ	1 .	2 .	3 .	4 .	5 .
(26)人情味や地域の連帯感	1 .	2 .	3 .	4 .	5 .
(27)行政情報や催事情報の提供状況	1 .	2 .	3 .	4 .	5 .

問4 問3であげた(1)～(27)のうち、現在の町行政で「よくやっている」と思われるものと、「もっとしっかりやって欲しい」と思われるものをそれぞれ3つづつ選び、その番号を下の の中にご記入ください。(番号を記入)

問4-1 よくやっている行政分野

問4-2 もっとしっかりやって欲しい行政分野

合併についておたずねします。

問5 打田町・粉河町・那賀町・桃山町・貴志川町では、共同して「那賀5町合併協議会」を設置し、合併に関する協議・検討を行っています。あなたはこのような動きについてご存じですか。(1つに 印)

- | | |
|------------|------------|
| 1. よく知っている | 2. 多少知っている |
| 3. 知らない | |

問6 あなたは、このような動きにどの程度関心がありますか。(1つに 印)

- | | |
|-------------|------------|
| 1. 非常に関心がある | 2. 多少関心がある |
| 3. あまり関心がない | 4. 全く関心がない |

問7 那賀5町が合併するとしたら、あなたはどのような効果を期待しますか。(2つまで 印)

- | |
|--|
| 1. 専門職の配置によって、各種の行政サービスが充実される |
| 2. 行政事務の効率化によって、経費削減につながる |
| 3. 町長や議員数、職員数の減少によって、経費削減につながる |
| 4. 道路・公共施設整備や土地利用など、広域的な視点からのまちづくりが行える |
| 5. 現在は他町にある保育所や文化・体育施設などが互いに使えるようになる |
| 6. 観光など産業の振興に広域的に取り組める |
| 7. 重点的な投資が可能となり、魅力的な事業に取り組める |
| 8. まちのイメージが良くなり、知名度が上がる |
| 9. その他(具体的に: _____) |
| 10. 特に期待することはない |
| 11. わからない |

問8 那賀5町が合併するとしたら、あなたはどのようなことが心配ですか。(2つまで印)

1. 行政組織の拡大や分業にともなって、住民の意見が反映されにくくなる
2. 行政区域が広がることによって、きめ細かな行政サービスが難しくなる
3. 行政区域が広がることによって、公共投資が分散され、まちづくりが遅れる
4. 公共料金などの住民負担が増加する
5. 中心部と周辺部などで地域格差が生じる
6. 市役所(本庁)への距離が遠くなり、不便になる
7. 伝統、文化など、地域の個性や特徴が失われる
8. 愛着のある現在の町名がなくなり、さびしくなる
9. 地域の連帯感やコミュニティのつながりが弱くなる
10. その他(具体的に:)
11. 特に心配することはない
12. わからない

問9 那賀5町が合併した場合、将来どのような町になればよいとあなたは思いますか。(2つまで印)

1. 水と緑が豊かな、自然環境を大切にするまち
2. 古墳・寺社・宿場跡などの史跡や各地の祭りなどの伝統文化を大切にするまち
3. 街並みや自然・田園などの景観が優れたまち
4. 災害や犯罪、交通事故の少ない安全なまち
5. 道路、公園・広場などの住環境が整ったまち
6. ごみや公害のない清潔・快適なまち
7. 健康づくりや子供・お年寄りなどを大切にする保健・福祉のまち
8. スポーツに親しみ、健康増進を推進する健やかなまち
9. 学校教育や文化活動など生涯学習が充実した文化の香りがあるまち
10. 地域活動やボランティア活動が盛んな、人とのふれあいがあるまち
11. 農林業が盛んで特産品の豊かなまち
12. 産業活動が盛んで雇用機会の豊かなまち
13. さまざまな観光客が訪れ、交流とにぎわい豊かなまち
14. その他(具体的に:)

問10 那賀5町が合併するとしたら、あなたはどの施策を重点的に進めてほしいと思いますか。(5つまで 印)

- 1 . 自然環境保護や河川の浄化、公害防止等の環境保全施策の推進
- 2 . 防災・安全対策の充実(治山治水、消防、防犯、交通安全など)
- 3 . 道路の整備(舗装、拡幅、歩道設置、基幹道路の整備促進など)
- 4 . 交通の便の充実(鉄道・バス路線等の充実促進)
- 5 . 上水道施設の整備
- 6 . 下水道・排水処理施設の整備
- 7 . ごみ処理体制・リサイクル体制や施設の整備充実
- 8 . 若者の定住化促進(公営住宅の整備、UIJターンの推進など)
- 9 . 住民のいこいの場の整備充実(公園、緑地、水辺など)
- 10 . 保健・医療対策の充実(病院や救急医療体制の充実など)
- 11 . 福祉対策の充実(高齢者福祉、障害者福祉など)
- 12 . 子育て支援施策や児童のための施設(保育所や学童保育など)の整備充実
- 13 . 学校教育施設や教育内容の充実
- 14 . 生涯学習、文化・スポーツ振興施策や施設の整備充実
- 15 . 男女共同参画社会づくりの推進
- 16 . 農林業の振興(ブランド化、担い手育成、生産基盤の整備など)
- 17 . 商工業の振興(既存企業の活性化支援など)
- 18 . 観光・レクリエーションの開発・振興
- 19 . 住民によるまちづくりやボランティア活動の支援・促進
- 20 . コミュニティ施設の充実やコミュニティ活動の支援・促進
- 21 . 地域のイメージアップ・PR
- 22 . 地域情報化施策の推進(インターネットの活用など)
- 23 . 計画的な土地利用の推進
- 24 . その他(具体的に:)

問11 次の項目について、ご意見や感想がありましたら、お聞かせください。

問11-1 那賀5町の将来についてのあなたの夢やアイデア

----- ----- ----- -----

問11-2 住民の自治やコミュニティづくりについての方向性

----- ----- ----- -----

問11-3 那賀5町の合併についてのご意見やご要望

----- ----- ----- -----

アンケートにご協力いただき、まことにありがとうございました。

この調査票を同封の返信用封筒に入れ、**5月7日(金)**までにポストに投函してください。(切手は不要です。)